

**KAWASAKI CITY MUSEUM
ANNUAL REPORT**

2015.4-2016.3

平成 27 年度

川崎市市民ミュージアム年報

平成 27 年度 川崎市市民ミュージアム年報

目 次

はじめに	3
概 要	4
平成 27 年度市民ミュージアム組織表	5
展示・上映	
1 企画展	6
2 アートギャラリー展示	13
3 博物館展示（考古・歴史・民俗）	14
4 マンスリー展示	16
5 特集展示	16
6 館外展示	16
7 ミュージアムライブラリー（映像・図書）	16
8 映画上映	17
9 ビデオ・DVD 上映	20
10 ミニホール ビデオ上映	21
11 他団体の展示等	22
収集・整理・保存	
1 収集	23
2 整理・保存・修復	24
3 収蔵品の貸出・他館への協力	24
調査研究	
1 調査研究	28
2 出 版	29
職員の派遣	30
教育・普及	
1 教育普及	31
2 実習生の受入れ	36
3 イベント	36
4 広報活動	37
5 友の会	37
資料	
川崎市市民ミュージアム条例	39
川崎市市民ミュージアム条例施行規則	42
企画展一覧	45
ギャラリー展示一覧	48
特別資料室展示一覧	52
企画上映一覧（映画）	52
平成 27 年度市民ミュージアム利用者統計表	58
平成 27 年度歳出予算	59
川崎市市民ミュージアム協議会	60
川崎市市民ミュージアム資料等収集委員会	60
川崎市市民ミュージアム資料等評価委員	61
かわさき市美術展運営委員会	61
施設概要	62
職 員	63

はじめに

川崎市市民ミュージアムは、博物館と美術館の複合施設として昭和63年（1988年）11月に開館して以来、博物館・美術館の2つの側面から収集されたコレクションと独自性のある企画を館の特色として、様々な事業を展開してきました。

平成27年度の企画展では、画業60年を迎えた川崎ゆかりの美術家・渡辺豊重初の回顧展「画業60年 渡辺豊重展」をはじめ、若手写真家の登竜門としてく写真界の芥川賞とも言われる木村伊兵衛写真賞の歴代受賞作品を一堂に展示した「木村伊兵衛写真賞40周年記念展」、日本の古代史・文化と深い関わりを持つ青銅鏡の貴重な資料を紹介した「古鏡 -その神秘の力-」、マンガ家・江口寿史の38年間の画業を多数のマンガ原稿やイラスト原画などで紹介した「江口寿史展 KING OF POP」など、様々な分野で多岐にわたる内容の企画展を開催いたしました。

また、平成27年は太平洋戦争の終戦70周年に当たることから、博物館展示では川崎大空襲や戦時下の川崎地域に関する資料を展示し、夏には「終戦70周年記念 戦争の記録と映画・戦争映画の視点」と題した特集上映を行いました。これらは今や消えつつある「戦後」を再認識する企画となりました。

さらに、幅広い層の方々に当館を楽しんでいただくため、子育て中の親同士が気軽に情報交換できる「ママカフェ」や、小さなお子様と一緒に展示を鑑賞いただける「ベビーカートゥアー」のほか、「福祉プログラム」として、視覚に障害がある方とない方が一緒に美術作品を鑑賞するワークショップや、高齢者福祉に関わる方などを対象に当館の収蔵資料の活用を目的とした「回想法体験講座」を開催しました。

施設面では、映像ホールの大規模な改修を行い、デジタルシネマに対応できる設備（4K対応プロジェクター、7.1chサラウンドシステムなど）を導入し、平成28年4月にリニューアルオープンいたしました。皆様には従来のフィルム上映に加えて、デジタルシネマの鮮やかな映像と迫力ある音響を御堪能いただければ幸いです。

市民ミュージアムは、これまで推進してきた「全国に発信できるミュージアム」、「市民文化の伝承と創造の発信拠点としてのミュージアム」、「地域の活性化に貢献できる拠点としてのミュージアム」の3つのめざす姿を再確認するとともに、市民ミュージアムがより皆様に愛され御利用頂けるよう、市民の文化芸術活動を振興するための拠点として、活力と魅力あふれる力強い都市づくりを推進する取組を展開してまいります。

皆様の御理解と御支援を賜りますよう、今後ともよろしくお願い申し上げます。

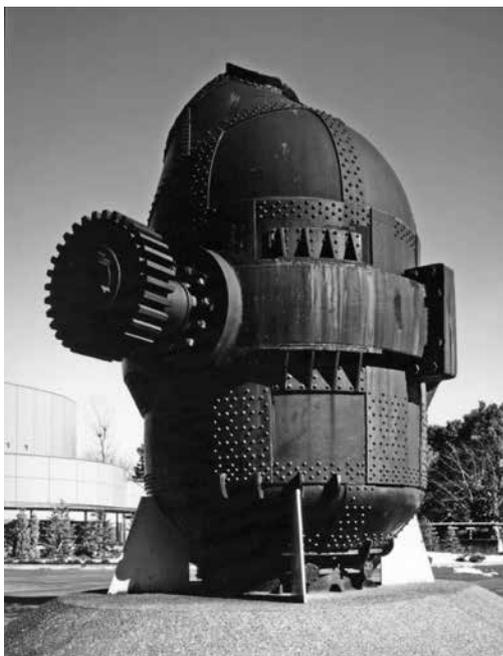
川崎市市民ミュージアム
館長 高田 智幸

概要

川崎市市民ミュージアムは1988（昭和63）年11月、「都市と人間」を基本テーマに開館した。

都市は、さまざまな人が集まり次々と新しい文化を生み出している。市民ミュージアムは、都市の発展過程やそこで生まれ育った文化を見つめるための資料や作品を収集・展示・調査・研究している。

特に、今日私たちの暮らしに深い関わりをもち、都市文化の形成に大きな役割を果たしてきたポスター、版画、写真、漫画、映画、ビデオといった複製技術による芸術作品、川崎に関連する考古・歴史・民俗資料及び芸術家の作品を対象に基本テーマを追求するほか、市民ミュージアムの情報を活用しながら、利用者が楽しく学習できるような学習講座も行っている。



トーマス転炉（日本鋼管 現 J F E 寄贈）

英国人シドニー・G・トーマスが発明した燐を含む鉄鉱石の製鋼炉。

1937年から1957年（昭和12年から32年）まで稼働。日本の鉄鋼業界の発展に大きく貢献。京浜工業地帯発展史のなかでも象徴的な産業遺産といえる。

沿革（開館まで）

1980年（昭和55年）

川崎市博物館構想委員会を設置（担当教育委員会）

漫画・写真・映像文化センター構想を発表（担当企画調整局）

1981年（昭和56年）

川崎市博物館基本構想を策定

現代映像文化センター基本構想を策定

1982年（昭和57年）

川崎市博物館建設調査委員会を設置（教育委員会）

し、同時に展示基本計画書を策定

現代映像文化センター基本計画委員会を設置（企画調整局）し、基本計画を策定

1983年（昭和58年）

川崎市博物館資料収集委員会（教育委員会）、現代映像文化センター収集委員会を設置（企画調整局）し、

収集事業がスタート両計画を一体化するため、仮称川崎市博物館・現代映像文化センター一体化に関わる委員会を設置（企画調整局）し、基本計画を策定

1985年（昭和60年）3月

建築基本設計を完了

1985年（昭和60年）3月

展示基本設計を完了

1985年（昭和60年）4月

教育委員会に市民ミュージアム準備事務室が発足

1985年（昭和60年）11月

建築実施設計を完了

1985年（昭和61年）3月

展示実施設計を完了

1986年（昭和61年）3月

建築工事着手

1987年（昭和62年）7月

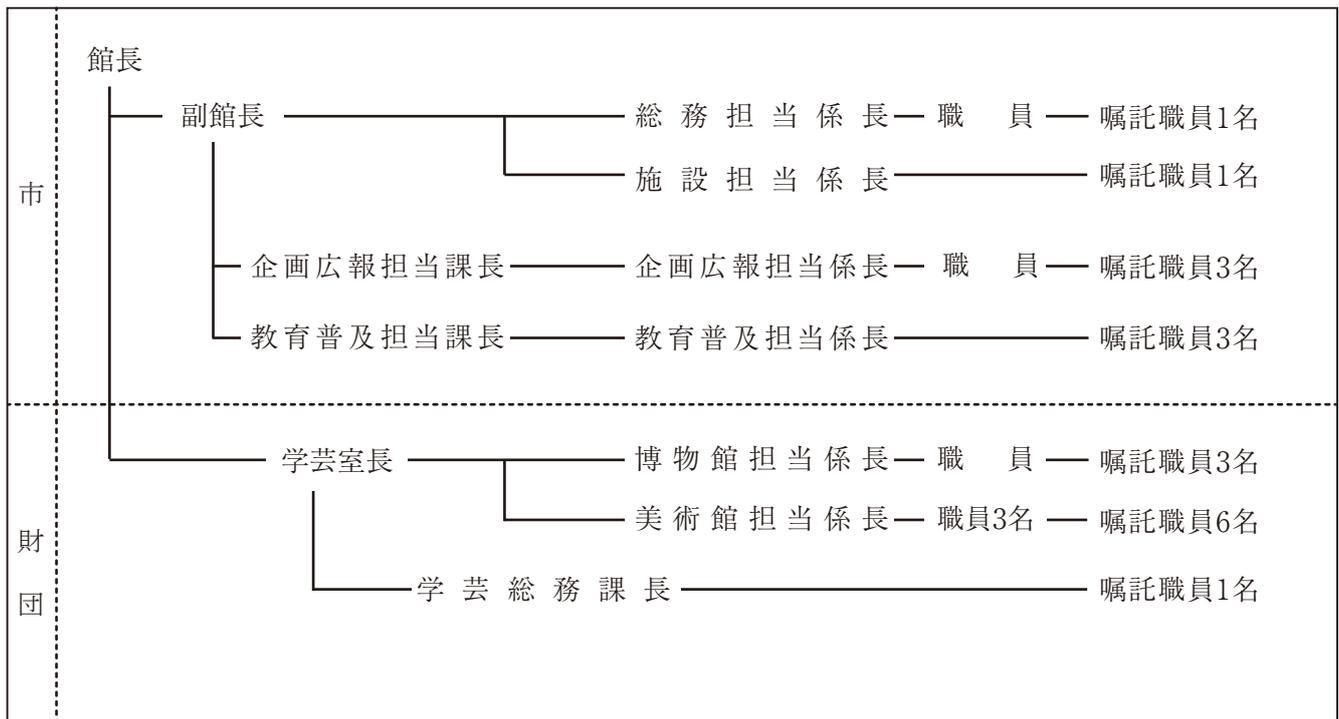
展示工事着手

川崎市市民ミュージアム条例を制定

1988年（昭和63年）11月

川崎市市民ミュージアム開館

平成27年度 市民ミュージアム組織表



展示・上映

1 企画展

画楽60年 渡辺豊重展

〔会 期〕 4月4日～6月21日

〔入 場 者〕 2,539 人

〔主 催〕 川崎市市民ミュージアム、読売新聞社、美術館連絡協議会

〔後 援〕 FM ヨコハマ、神奈川新聞社
かわさき FM (79.1MHZ)、東京新聞

〔協 賛〕 ライオン、清水建設、大日本印刷、損保ジャパン日本興亜、日本テレビ放送網

〔協 力〕 東海大学課程資格教育センター

〔観 覧 料〕 一般 600 円
学生・65 歳以上 500 円
中学生以下 無 料

〔開催趣旨〕

どこにも属することなく、時代を自由に、そして飄々と歩み続ける作家・渡辺豊重。赤、緑、オレンジといったあざやかな色と単純なかたち、明るくユーモラスでありながら、どこかエロスを漂わせる作品で一躍画壇に躍り出たのは 1960 年代のはじめのことだった。

以来 60 年に渡って、洗練された色とかたちは、油彩画、版画といった平面になったり、巨大な立体となってパブリックアートになったり、時には木彫や貝合わせとなって現れている。戦後間もない 1952 年から川崎に住み、2000 年に栃木県に拠点を移してからは、2つの場所を行き来するようになる。そして漆黒の墨による鬼が出現した 2009 年以降は 4m を超える大画面となるなど、今なお意欲的に制作を続けている。

油彩画、版画、デッサン、立体作品など約 130 点の作品をご紹介します本展覧会は、今年 84 歳を迎える渡辺豊重の初の回顧展となった。

〔主な展示品〕

- 「赤いモクモクと緑の長四角」
- 「四つの楕円と長四角《スイングシリーズ》」
- 「オレンジ色の楽園を見た」
- 「さあ、旅立ちだ！」
- 「鬼 その1」

〔印刷物〕

- 図 録：A4 変形判 127 頁
- チ ラ シ：A4 判
- ポスター：B1 判、B2 判、B3 判
- レセプション：招待状、封筒、FAX シート

〔関連イベント〕

◎オープニング・レセプション

日 程：4月3日

開会式 逍遥展示空間

内覧会 企画展示室 1・2

懇親会 ラウンジ

参加人数：177 名

◎連渡辺豊重 + 酒井忠康 記念対談

日 程：4月11日

会 場：企画展示室 1

講 師：渡辺豊重氏、酒井忠康氏（世田谷美術館館長）

料 金：無料

参加人数：42 名

◎豊重さんに聞く！

日 程：6月13日

会 場：企画展示室 1

料 金：無料

参加人数：64 名

◎ワークショップ「見て・触って・“かたち”を自由に表現しよう」

日 程：4月26日・5月3日・5月4日・5月17日・
6月7日・6月21日

会 場：逍遥展示空間

参 加 料：500 円

参加人数：135 名

◎学芸員による展示解説

日 程：4月18日・5月23日・6月6日・6月20日

参加人数：21 名

◎ベビーカーツアー

日 程：5月21日

参 加 料：無料

参加人数：7 組 15 名



木村伊兵衛写真賞40周年記念展

〔会 期〕 7月18日～ 9月23日

〔入 場 者〕 8,131 人

〔主 催〕 川崎市市民ミュージアム、朝日新聞社、朝日新聞出版

〔観 覧 料〕 一般 600 円
学生・65 歳以上 500 円
中学生以下 無 料

〔開催趣旨〕

木村伊兵衛（きむらいへい / 1901-1974）は、昭和初期から 1970 年代にかけ、日本近代写真の発展に大きく寄与した写真家である。功績が称えられ、朝日新聞社により木村伊兵衛写真賞が設立された。この賞は「写真界の芥川賞」とも呼ばれ、我が国の主要な写真賞の一つとなっている。

木村伊兵衛写真賞は、時代を切り開く優れた成果をあげた若い写真家に贈られており、これまでに、岩合光昭、中村征夫、星野道夫、蛭川実花、梅佳代など日本を代表する写真家たちが受賞している。

木村伊兵衛写真賞展は今までに 25 回、30 回、35 回と当館で開催しており、今回は 40 回目を迎える。この 40 年間に渡る日本の戦後から現在に至るまで写真表現を代表する作品が、展示を通して市民ミュージアムに収蔵されていることを、写真愛好家のみでなく、広まりつつある新たな写真愛好者にも広くアピールされた。

本展覧会では、第 1 回から最新受賞作品である第 40 回までの全受賞作品と、木村伊兵衛の作品を、企画展示室 1 とアートギャラリー 1, 2, 3 で展示した。

〔主な展示品〕

- 北井一夫「村へ」（第 1 回受賞）
- 岩合光昭「海からの手紙」（第 5 回受賞）
- 瀬戸正人「Living Room, Tokyo 1989-1994」（第 21 回受賞）
- 鷹野隆大「IN MY ROOM」（第 31 回受賞）
- 川島小鳥「明星」（第 40 回受賞）
- 石川竜一「絶景のポリフォニー」（第 40 回受賞）
- 木村伊兵衛「秋田」

〔印刷物〕

チ ラ シ：A4 判
ポスター：B2 判、B3 判

〔関連イベント〕

◎内覧会

日 程：7月17日
会 場：企画展示室 1

◎浅田政志トークイベント「木村伊兵衛もビックリ！新

しい家族写真を撮ろう」

日 程：8月5日

会 場：映像ホール

出 演：浅田政志（第 34 回 [2008 年度] 受賞者）

参 加 料：無料

参加人数：88 名

◎岩合光昭トーク

日 程：8月19日

会 場：映像ホール

出 演：岩合光昭（第 5 回 [1979 年度] 受賞者、木村伊兵衛写真賞選考委員）、佐々木広人（「アサヒカメラ」編集長）

参 加 料：無料

参加人数：204 名

◎いい写真撮ろう 初めてのデジタルカメラ

日 程：8月29日

会 場：体験学習室

講 師：坂本敦宏（カメラマン）

参 加 料：300 円

参加人数：24 名

◎ボランティアワークショップ 巨大カメラをつくろう！

日 程：9月20日

会 場：逍遥展示空間

講 師：ミュージアムボランティア

参 加 料：無料

参加人数：131 名

◎ポートフォリオレビュー

日 程：9月19日

会 場：逍遥展示空間

レビュアー：

瀬戸正人（第 21 回 [1995 年度] 受賞者、木村伊兵衛写真賞選考委員）

長島有里枝（第 26 回 [2000 年度] 受賞者、木村伊兵衛写真賞選考委員）

鷹野隆大（第 31 回 [2006 年度] 受賞者、木村伊兵衛写真賞選考委員）

佐々木広人（アサヒカメラ編集長）

林司（川崎市市民ミュージアム学芸員）

深川雅文（川崎市市民ミュージアム学芸員）

参 加 料：1,000 円（選出された方のみ）

参加人数：116 名（うち選出された方：16 名）

◎ベビーカートツアー

日 程：9月3日・9月15日

参 加 料：無料

参加人数：9組 20名

◎学芸員による展示解説

日 程：7月18日・7月26日・8月1日・
8月15日・9月6日・9月12日

参加料：無料

参加人数：230名



古鏡 - その神秘の力 -

〔会 期〕10月10日～11月23日

〔入 場 者〕3,934人

〔主 催〕川崎市市民ミュージアム

〔後 援〕神奈川県教育委員会、川崎市教育委員会

〔観 覧 料〕一般 500円
学生・65歳以上 400円
中学生以下 無 料

〔開催趣旨〕

弥生時代から古墳時代にかけて中国大陸から伝来した鏡は、日本列島の社会のなかで珍重された。

鏡は、光を放つ性質から神聖なものと同様に、中国王朝の権威を象徴する、舶載の貴重な財として取り扱われ、倭王権から大豪族へ、さらには地域首長へと贈与が繰り返され、各地にひろがっていった。そして、当時の人びとの心性と深いかわりをもつ、鏡をめぐる独特の文化が成立した。

本企画展では、この鏡にスポットをあて、中国における鏡の誕生とその展開、日本列島の社会のなかで鏡が果たした役割とその歴史、さらには鏡をめぐる心性の歴史を紹介した。またそうした全体性のなかで、川崎市幸区の白山古墳から出土した5面の鏡について、その位置づけを行った。

展示では、日本列島に大きな影響を与えた、前漢末から三国時代の鏡の様式と変遷、その製作地について議論がつづく三角縁神獣鏡、中国鏡を模倣しながら独自の紋様表現がみられる初期倭鏡の世界とともに、武蔵・相模

地域で出土した弥生・古墳時代の鏡を紹介した。東アジアの鏡の歴史を俯瞰しながら、地域で展開した鏡の世界を紹介することができた。

〔主な展示品〕

- 新発見の年号銘（建初八年・西暦83年）のある画像鏡（和気満堂コレクション）
- 連弧紋鏡（和気満堂コレクション）
- 方格規矩四神鏡（和気満堂コレクション）

〔印刷物〕

図 録：A4判 112頁
チ ラ シ：A4判
ポスター：B2判、B3判

〔関連イベント〕

◎内覧会

日 程：10月9日
会 場：企画展示室1

◎記念講演会

- 日 程：10月11日『三角縁神獣鏡をめぐる』
車崎正彦（早稲田大学）
- 10月18日『後漢鏡の作家たち』
岡村秀典（京都大学 人文科学研究所）
- 10月25日『倭の鏡』
森下章司氏（大手前大学）

参加料：無料
参加人数：340名

◎スゴすぎる古代鏡の技 - 実験で体感・鋳型作り -

日 程：11月14日
会 場：研修室2
講 師：三船温尚（富山大学）
参加料：500円
参加人数：29名

◎ワークショップ「鏡作り」

日 程：10月31日・11月1日
会 場：体験学習室
参加料：3,500円
参加人数：10名

◎ワークショップ「オリジナル鏡作り」

日 程：11月7日
会 場：体験学習室
参加料：1,000円
参加人数：13名

◎ベビーカーツアー

日 程：10月28日・11月19日
会 場：企画展示室1
参 加 料：無料
参加人数：6組12名

◎学芸員による展示解説

日 程：10月12日・10月17日・10月24日・
11月8日・11月15日・11月22日
参加人数：152名



江口寿史展 KING OF POP

〔会 期〕12月5日～平成28年1月31日
〔入 場 者〕10,310人
〔主 催〕川崎市市民ミュージアム
〔特別協力〕玄光社、フリースタイル
〔観 覧 料〕一般 700円
学生・65歳以上 600円
中学生以下 無 料

〔開催趣旨〕

マンガ家・江口寿史（1956年-）の38年間の画業を振り返る大規模な展覧会である。

江口寿史は、1977年の初連載作「すすめ!!パイレーツ」、1981年「ストップ!!ひばりくん!」の大ヒットにより、日本のギャグマンガを革新した。これを機に、ごく少ない線で立体感や質感を表現する江口独自のPOPな画風と卓越したデザインセンスを活かし、イラストレーションの世界にも進出していく。その多彩な活動は、ジャンルの垣根を超え、サブカルチャー全体に大きな影響を与えたといっても過言ではない。

今回は、その画業を集大成した画集『KING OF POP 江口寿史 全イラストレーション集』（玄光社）の刊行を記念し、300点以上の原画（高精度デジタル出力を含む）を一堂に集めて紹介した。

〔主な展示品〕

- 雑誌『週刊少年ジャンプ』連載「ストップ!!ひばりくん!」扉絵 / 集英社 / 1982
- 集英社文庫版『すすめ!!パイレーツ』第4巻カバー / 集英社 / 1979
- 「吉祥寺アニメワンダーランド」イベントポスター / 2000

〔印刷物〕

チ ラ シ：A4 判見開き
ポスター：B2判、B3判
レセプション：招待状、封筒、FAXシート

〔関連イベント〕

◎オープニング・レセプション

日 程：12月4日
開会式 逍遥展示空間
内覧会 企画展示室1
懇親会 ラウンジ
参加人数：108名

◎リスペクト対談「江口寿史×ちばてつや」

日 程：12月13日
会 場：映像ホール
出 演：江口寿史、ちばてつや、宮本大人
参 加 料：無料
参加人数：270名

◎列島縦断!5分スケッチ LIVE 川崎編

日 程：平成28年1月16日・1月24日
会 場：逍遥展示空間
出 演：江口寿史
参 加 料：2,000円
参加人数：30名

◎ベビーカーツアー

日 程：12月17日
会 場：企画展示室1
参 加 料：無料
参加人数：6組13名

◎学芸員による展示解説

日 程：12月6日・平成28年1月17日・1月23日・
1月31日
参 加 料：無料
参加人数：149名

◎特集上映 江口寿史と80年代日本映画

「ゆき」

日 程：12月19日
会 場：映像ホール
鑑賞人数：20名

「劇場版 あしたのジョー2」

日 程：12月19日
会 場：映像ホール
鑑賞人数：35名

「エイジ」

日 程：12月20日・平成28年1月10日
会 場：映像ホール
鑑賞人数：59名

「PERFECT BLUE (R-15)」

日 程：12月20日・平成28年1月9日
会 場：映像ホール
鑑賞人数：125名

「老人Z」

日 程：12月23日・平成28年1月10日
会 場：映像ホール
鑑賞人数：68名

「ぼくらマンガ家 トキワ荘物語」

日 程：12月23日
会 場：映像ホール
鑑賞人数：21名

「の・ようなもの」

日 程：12月26日
会 場：映像ホール
鑑賞人数：42名

「逆噴射家族」

日 程：12月26日
会 場：映像ホール
鑑賞人数：32名

「転校生」

日 程：12月27日
会 場：映像ホール
鑑賞人数：37名

「櫻の園」

日 程：12月27日
会 場：映像ホール
鑑賞人数：35名

「ノーライフキング」

日 程：平成28年1月9日
会 場：映像ホール
鑑賞人数：36名



2015 川崎フロンターレ展

〔会 期〕12月12日～平成28年1月11日
〔入 場 者〕4,801人（AG2 会員限定ゾーンのみ）
〔主 催〕川崎フロンターレ、川崎フロンターレ後援会
〔共 催〕川崎市市民ミュージアム
〔協 賛〕株式会社ピクトリコ
〔観 覧 料〕無料

〔開催趣旨〕

川崎フロンターレの2015年度の戦いの軌跡を写真・映像で紹介するとともに、フロンターレ関連資料（ユニフォーム、スパイク、タペストリー等）を用いてバラエティに富む展示を行った。また、展示だけでなく、市民が参加でき、楽しめる多彩なイベント（選手トークショー等）を開催した。

〔主な展示品〕

- 川崎フロンターレの2015年シーズンの戦いを記録した写真と映像
- 選手たちのユニフォームやスパイク、7月に対戦したドルトムントのプレミアムグッズなどの展示
- 各種スタジアムイベントやプロモーション活動の紹介、20周年に向けた内容など、フロンターレ関連のギャラリー
- ふろん太くん似顔絵展（ミュージアムギャラリー）
- 「わたしの川崎フロンターレ」フォトコンテスト受賞作品（ミュージアムギャラリー）

〔印刷物〕

チ ラ シ：A4判
ポスター：B2判、B3判

〔関連イベント〕

◎選手チャリティトークショー（2016年度後援会会員限定）
日 程：12月12日

会 場：映像ホール
参加選手：中村憲剛選手
参加料：無料
参加人数：232名

◎「段ボールパーク」開園！

日 程：12月12日・12月13日
会 場：アートギャラリー 3
入 場 料：200円（2016年度後援会会員100円）
「段ボール電車」作り：600円（2016年度後援会会員400円）
参加人数：63名
協 力：株式会社田村工機

◎「エコプラ工作」&「ロボット操作体験」

日 程：12月19日
会 場：アートギャラリー 3
参加料：「ロボット操作体験」無料
「エコプラ工作」600円
（2016年度後援会会員400円）
参加人数：39名
協 力：株式会社バンダイ、川崎市産業振興財団

◎「ひつじのショー」粘土工作

日 程：12月20日
会 場：アートギャラリー 3
参加料：600円（2016年度後援会会員400円）
参加人数：43名
協 力：株式会社東北新社

◎「望遠鏡」&「星座早見盤」作り

日 程：12月23日
会 場：アートギャラリー 3
参加料：「望遠鏡」作り600円（2016年度後援会会員400円）
「星座早見盤」作り500円（2016年度後援会会員300円）
参加人数：39名
協 力：株式会社ビクセン

◎フロンターレの人気マスコット「ふろん太&カブレラ」登場！

日 程：12月23日・平成28年1月11日
参加料：無料
※平成28年1月11日 映像ホールロビーにて記念撮影会
参加人数：205組

◎ゲーフラ作り体験

日 程：平成28年1月9日
会 場：逍遥展示空間

参加料：無料
参加人数：30名
協 力：有限会社染太郎

◎ヒロキー presents OB選手をさがせ！

日 程：平成28年1月9日・1月10日・1月11日
会 場：アートギャラリー 3
参加料：無料
参加人数：558名

◎「カワサキのホコサキ」公開収録

日 程：平成28年1月11日
参加料：無料
参加人数：約50名

◎「今見たいOB選手・ベストゲーム」投票【2016年度後援会会員限定】

日 程：12月12日～平成28年1月11日
会 場：アートギャラリー 2
参加料：無料



くらしの道具 いま・むかし

〔会 期〕平成28年1月23日～3月27日
〔入 場〕9,089人
〔主 催〕川崎市市民ミュージアム
〔観 覧 料〕無料

〔開催趣旨〕

小学校三年生の社会科のカリキュラムにある「昔の道具と人びとの暮らし」をテーマとした展覧会。明治から現代までの約150年間、日常生活に欠かせない生活用具の多くは時代とともに人々の暮らしに合わせて、さまざまな工夫と改良がなされてきた。展示では、こうした人と生活用具の関係を意識しながら、明治、大正、昭和から現代にかけて、人びとの暮らしがどのように変化してきたのか、生活用具の移り変わりから紹介した。

また、特集展示として「1960年代の子どもたち」を合わせて開催し、50年前の子どもの身の回りにあった品々から、当時の生活を振り返った。

〔主な展示品〕

- 囲炉裏、昭和33年（1958）の茶の間（復元）
- 足踏みミシン、かまど、白黒テレビ、ランプ、炭火アイロン
- 氷冷蔵庫、タライ、洗濯板、羽釜 など

〔印刷物〕

- チラシ：A4判
- ポスター：B2判、B3判

〔関連イベント〕

◎ベビーカーツアー

- 日程：平成28年2月4日
- 会場：企画展示室2
- 参加料：無料
- 参加人数：6組11名

◎学芸員による展示解説

- 日程：平成28年1月24日・1月31日・2月7日・2月14日・2月21日・2月28日・3月6日・3月13日・3月20日・3月27日
- 参加人数：200名

◎学校見学

- 参加学校：17校
- 参加人数：1941名



第49回かわさき市美術展

- 〔会期〕平成28年3月5日～3月20日
- 〔会場〕企画展示室1
- 〔主催〕川崎市、かわさき市美術展運営委員会
- 〔後援〕川崎市教育委員会

- 〔協賛〕川崎信用金庫、セレサ川崎農業協同組合
- 〔観覧料〕無料
- 〔入場者〕2,181人

〔開催趣旨〕

市民による文化創造を奨励するため、第49回をむかえ、平面、彫刻・立体造形、工芸、書、写真、中高生の各部門の応募作品で審査、講評し、入賞・入選作品を展示することで、多くの市民への鑑賞の機会を創出し、本市の美術分野における文化的な質を高め、市民ミュージアムと市内の美術家、教育機関、各種団体の相互交流、連携を図った。

〔主な展示品〕

第49回かわさき市美術展 入賞作品

- 最優秀賞：工芸《はなのいろは…》福田典子
- 特選：平面《森の音（木霊）》松田洋子
彫刻・立体造形《Paulusの希望》田平徹
書《杜甫七言律詩六首》仲島秀峰
写真《お正月》東栄子
- ヤング大賞：中高生《僕のおばあちゃん》永井武志

〔印刷物〕

- 応募用紙：A4判
- チラシ：A4判
- ポスター：B3判
- 入賞・入選作品集：B5判
- 案内葉書

〔関連イベント〕

◎表彰式・講評会

- 日程：平成28年3月20日
- 参加人数：496人



2 アートギャラリー展示

「スピード太郎」とその時代 ～市民ミュージアム所蔵・宍戸左行遺品資料を中心に～

〔会 期〕 4月4日～7月5日
〔会 場〕 アートギャラリー1
〔観 覧 料〕 無料

〔開催趣旨〕

戦前から子どもたちをドキドキ・ハラハラさせてきた“冒険”というテーマは、日本のストーリー漫画の歴史のなかで大きな役割を果たしてきた。昭和5年から9年にかけて新聞に連載された「スピード太郎」は、少年が海に空に、はたまた外国までも股にかけ、悪党とたたかう連続冒険活劇である。この作品は宍戸左行の代表作であり、その大胆なストーリーや斬新なコマ割りで高く評価されている。本展では、当館に収蔵されている「スピード太郎」の肉筆原稿の展示をはじめ、宍戸のストーリー漫画家としての活動を、同時代の子ども漫画の様相をまじえて紹介した。

〔主な展示品〕

- 宍戸左行「スピード太郎」原画
- 宍戸左行「スピード太郎」単行本（第一書房）

〔関連イベント〕

◎「光学パラパラ マンガで人を走らせよう さかさまにね!」

日 程：5月5日
会 場：逍遙展示空間
講 師：松田水緒（イラストレーター）
参 加 料：300円
参加人数：6名

◎学芸員による展示解説

日 程：4月18日・5月16日・6月6日・7月4日
参加人数：35名

一連のものがたり、一枚のモノガタリ

〔会 期〕 4月4日～7月5日
〔会 場〕 アートギャラリー2・3
〔観 覧 料〕 無料

〔開催趣旨〕

当館の美術コレクションの中から、「物語」と関わりの深い現代版画やポスター、現代写真を紹介した。展示作

品は、ホックニー《『放蕩息子一代記』》、バルビエ《ニジンスキーのダンス・デッサン》、ベン・シャーン《版画集「リルケ『マルテの手記』より 一行の詩のためには》、シュレ《エミール・ゾラの小説『大地』》などで、伝統的な逸話を連作で表現したもの、ひとつの物語を象徴する一場面を切り取って一枚で表したもの、詩を創作の源泉としているものなど、作品によって物語性やその表現のあり方も様々である。また、サン＝ジェルマン＝デ＝プレ地区の一夜を「ロード・ムービー」のように撮影したエルステンの写真連作は、眺めているとひとつのストーリーが脳裏に思い浮かんでくるような詩情あふれるシリーズ作品で、今回は全35点を一堂に展示した。

〔主な展示品〕

- ホックニー《『放蕩息子一代記』》
- バルビエ《ニジンスキーのダンス・デッサン》
- ベン・シャーン《版画集「リルケ『マルテの手記』より 一行の詩のためには》
- シュレ《エミール・ゾラの小説『大地』》
- エルステン 写真連作

〔関連イベント〕

◎学芸員による展示解説

日 程：5月2日・5月30日・6月20日
参加人数：14名

鏡—Reflected Images

〔会 期〕 10月3日～11月29日
〔会 場〕 アートギャラリー1・2
〔観 覧 料〕 無料

〔開催趣旨〕

「鏡」をテーマに、当館所蔵のビデオ・アートと写真作品のなかから、反射や鏡面を表現に用いた作品を展示。鏡と同様に、現実の姿をうつす機能を持ったカメラから生み出される視点や光の表現の魅力に迫った。

〔主な展示品〕

- 横須賀功光《射》
- 森永純《河・累影》
- ビル・ヴィオラ《映り込む池》
- ヴィト・アコンチ《テーマソング》

〔関連イベント〕

◎学芸員による展示解説

日 時：10月17日・11月7日
参加人数：12名

◎水面に自分を映してセルフポートレートを撮ってみよう

日 程：10月24日

会 場：体験学習室

講 師：南條敏之（写真家）

参加料：無料

参加人数：6名

新収蔵作品展

〔会 期〕10月3日～11月29日

〔会 場〕アートギャラリー3

〔観 覧 料〕無料

〔開催趣旨〕

購入、寄贈などによって作品を所蔵し、保存、公開していくことは美術館の使命の一つである。本展は、新たに収蔵された作品のなかから、童謡「ぞうさん」で知られる、まど・みちおの「100歳の画集」80点の作品を中心に、グラフィックデザイナーの里見宗次、川崎市ゆかりの作家である久保田孝司、鈴木俊輔、深見隆、井上俊郎などの作品を紹介した。

〔主な展示品〕

○まど・みちお「100歳の画集」より

〔関連イベント〕

◎学芸員による展示解説

日 程：10月3日・10月31日・11月21日

参加人数：21名

コレクション展 ：収蔵品ピックアップ

〔会 期〕平成28年1月23日～4月3日

〔会 場〕アートギャラリー1・2・3

〔観 覧 料〕無料

〔開催趣旨〕

映画監督・実相寺昭雄の「帝都物語」の台本や製作資料、企業や作家による稀有なポスターや版画などのグラフィック作品、写真家・村岡秀男の作品、「都市の表象」をめぐる作品、明治時代に漫画が発展していった過程をたどる雑誌など、当館独自の視点で、テーマ毎に収蔵品を紹介した。

〔主な展示品〕

○トゥールーズ＝ロートレック《ジャヌ・アヴリル》1893年

○「川崎区 臨海工業地帯の運河(1960年)」村岡秀男 撮影

〔関連イベント〕

◎学芸員による展示解説

日 程：平成28年1月30日・2月6日・2月20日・3月5日・3月19日

参加人数：87名

◎対話型鑑賞会

日 程：平成28年3月27日

参加人数：17名

協 力：アート・コミュニケータ東京

3 博物館展示(考古・歴史・民俗)

常設展示「博物館展示」

2007年（平成19年）4月から、時系列に沿って川崎市域の歴史と文化を紹介する展示場としてリニューアルオープンした博物館展示室は、「民俗」、「原始」、「古代」、「中世・近世1」、「近世2」、「近・現代」（「文化財シアター」を改修し2012年（平成24年）5月にリニューアルオープンした）の6室で構成している。展示場の壁面に設置した大きな年表を参照しながら、それぞれの時代を特徴付ける展示資料を観覧できる。

また、展示資料も、現在の調査研究成果を踏まえたものに変更し、新収集品の積極的な公開にも努めている。

第1室「民俗」

川崎市が商工業の発達にともなって都市化への道を歩み始めた頃、多摩川沿いに広がる農村部では稲作を中心とした暮らしが営まれていた。民俗展示室では、そのような村の人々の日常生活、行事、信仰、生産活動を振り返り、どのような地域社会が形成されていったのか、往時の共同体意識・村意識について考察している。導入部に復元されている登戸台和地区の「セエノカミのオコモリ小屋」は、現在では見ることができなくなっているもので、貴重な資料として展示している。

〔主な展示品〕

セエノカミのオコモリ小屋（多摩区登戸・台和地区）的祭りの的・弓・矢（中原区・日枝神社、多摩区・子之神社）、平の初卯祭「蛇」（宮前区平・白幡八幡大神）、大山講御神酒杵箱、念仏講道具、講中の掛軸、宮内の雨乞い「ジャ・雷・蛙・オタマジャクシ」（中原区宮内）獅子頭（宮前区初山・菅生神社）、屋根替模型、稲作農具（唐箕、足踏式脱穀機など）など

第2室「原始」

川崎に人類が住み始めた旧石器時代は、いわゆる氷河時代で、日本列島は大陸と南北でつながっていた。この時代、川崎にも小規模ながらいくつかの遺跡が確認されている。約13000年前頃から地球規模で温暖化が始まり、それとともに土器や弓矢が発明された。縄文時代の始まりである。約1万年間つづいた縄文時代は、狩猟・採集に基礎をおきながら、後半は植物の管理・栽培も行われていた社会だ。川崎には最も古い段階から、縄文時代終焉までの集落や貝塚などの遺跡が豊富である。農耕が本格化する弥生時代は、集落を溝で囲む環壕集落が登場し、階級社会への歩みを始める時代。第2室では、こうした時代の資料を展示している。

〔主な展示品〕

旧石器時代資料（宮前区鷺ヶ峰遺跡）、貝塚出土資料（高津区子母口貝塚・新作貝塚）、貝層剥取り標本（子母口貝塚）、植物調理資料（多摩区No.61遺跡）、草創期～晩期の土器・石器、弥生時代の土器・石器・ガラス製品など

第3室「古代」

原始農耕社会が円熟してくると、人びとの地域的なまとまりが強くなり、階級が生じてくる。その一つの象徴が古墳である。特定の個人のために大きな墓を作る古墳時代は、川崎周辺では4世紀になって登場するようになった。その後6世紀後半になると古墳の築造が多くなり、崖面に横穴を掘り、これを古墳とする横穴墓も7世紀まで盛んに作られるようになる。しかし、律令国家・仏教思想の進展とともに、次第に古墳築造にかわり、寺院の建立や国衙・郡家の創設とその支配を受けるようになる。川崎の大部分は武蔵国橘樹郡（評）であり、影向寺と千年周辺が、橘樹郡の中心地となった。

〔主な展示品〕

幸区白山古墳出土品（複製）、埴輪（高津区久本山古墳・稲荷塚古墳）、横穴墓出土品（多摩区長者穴横穴墓群、麻生区早野遺跡など）、瓦（宮前区影向寺、麻生区岡上4遺跡、麻生区宮添）、骨蔵器（多摩区鷺鷥沼）、橘樹郡家ジオラマなど（複製）

第4室「中世・近世1」

古代律令国家が崩壊し、11世紀になると多くの土地が荘園・公領に編成される。川崎市域にも荘園・公領が確認されるが、ここでは中でも比較的伝来のわかる稲毛荘に関わる資料を展示している。一方、戦国時代になると、川崎市域は小田原城を拠点とする北条氏の支配地となるが、北条氏の滅亡に伴い、徳川氏の領地となり、近世を

むかえることとなる。

近世の川崎市域は、江戸近郊に位置することもあり、大部分が幕府直轄領と、旗本の領地となった。しかし、平野部以外に臨海部、丘陵部、河川部など、その地理的条件により、村のくらしは異なっている。これら領主に関わる資料、人々の生業に関わる資料、平野部の耕作を支えた二ヶ領用水に関する資料を展示している。

〔主な展示品〕

多摩川流域絵図（複製）、稲毛本荘検注目録（複製）、鰐口（複製）、鎌倉將軍家寄進状（複製）、北条氏政判物（複製）、岡上村御縄打水帳、大師河原村塩浜耕地絵図（複製）、稲毛川崎二ヶ領用水絵図上流部・下流部（複製）、小杉・等々力地境争論裁許状（複製）など

第5室「近世2」

江戸時代の川崎を代表する場所として、川崎宿があげられる。東海道の宿場である川崎宿には本陣や問屋場などの機能が備えられ、多くの人々が行き交った。また、江戸より川崎宿に入る手前には多摩川を渡る「六郷の渡し」があり、渡船場が設けられていた。これら街道に関わる資料のほか、幕末の動乱に巻き込まれてゆく、地域の様子がわかる資料を展示している。

〔主な展示品〕

川崎宿ジオラマ、川崎宿問屋記録、宿方明細帳、万年屋模型、松平肥前守様御関札一件、横浜開港関係瓦版、外国人遊歩区域地図（複製）など

第6室「近代・現代」

明治政府による改革によって近代化が進められる中、官設鉄道の一停車場として川崎駅も新設される。そして東日本で最初の電気鉄道である京浜電気鉄道が開通し、昭和時代に入ると南武鉄道も開業し徐々に路線を拡大していく。これにより川崎駅から川崎大師にかけての都市化や、京浜工業地帯の発展の礎が築かれていくのである。川崎地域の近代化の始まりから、工業地帯の埋立地の拡大、戦時下の軍需産業に沸いた時期、そして高度経済成長期の川崎に関連する資料を展示している。

〔主な展示品〕

京浜電気鉄道車両模型、東京郊外電車回遊図絵、書簡図絵「工場は川崎へ」、浅野総一郎地先埋立予定地内池上家所有地実測図、川崎港案内など

4 マンスリー展示

2003年（平成15年）7月から、博物館展示室第5室の一部にマンスリー展示のコーナーを設置。マンスリー展示では、毎月テーマを設定して収蔵品を中心に資料紹介をしている。また、学芸員によるマンスリートーク（展示解説）を月1回土曜日に開催している。

3月17日～4月17日	江戸時代の海難事故－川崎沖難破一件－
4月18日～5月22日	八州様のお見まわり－川崎市域の改革組合村－
5月23日～6月26日	『吾妻鏡』にみる稲毛三郎重成
6月27日～7月24日	江戸時代の“かけおち”事情
7月25日～8月28日	夏休み子どもマンスリー 江戸時代の教科書
8月29日～9月25日	波除堤－海岸線に築かれた堤防－
9月26日～10月30日	村を訪れる人々
10月31日～11月27日	新収蔵資料展 2015
11月28日～12月27日	戦国武将・吉良頼康－泉沢寺文書からさぐる－
1月5日～1月29日	初春マンスリー 申・さる・サル
1月30日～3月4日	村の中の村－複雑な近世村落の実態－
3月5日～4月1日	相給村落－複数の領主を持つ村－

5 特集展示

2012年（平成24年）5月から、博物館常設展示室「近代・現代」の一部に特集展示コーナーを設置し、川崎地域の近現代史におけるさまざまなテーマを設定し、収蔵品を中心にトピックス的な展示を行っている。

3月17日～5月22日	終戦70周年～PART I「川崎大空襲」
5月23日～8月21日	終戦70周年～PART II「戦時下の川崎」
8月22日～11月20日	郵便局のはじまり
11月21日～2月19日	町内会の成り立ち
2月20日～5月20日	多摩川架橋の歴史

6 館外展示

市役所第三庁舎一階ロビーでは、「川崎の歴史と文化」をメインテーマとして、川崎市市民ミュージアムの収蔵品の中から地域に根差したテーマを選んでサテライト展

示を行っている。

また、7月には、フロンターレの多摩川クラシコイイベントで実相寺昭雄のパネル展示をグランド横の公園内のフロンパークで実施した。

第14期	3月30日～6月26日 「シリーズ川崎の遺跡Ⅲ 初山移籍の縄文ムラ」
第15期	6月29日～8月28日 「戦時下の暮らし」
第16期	8月31日～11月27日 「考古発掘速報展 2015 上半期」
第17期	11月30日～平成28年1月29日 「昭和30年代の川崎 写真に残された川崎駅前・登戸駅前の街並み」
第18期	平成28年2月1日～4月1日 「考古発掘速報展 2015 下半期」

7 ミュージアムライブラリー (映像・図書)

映像

3階のミュージアムライブラリーでは、VHSテープの邦画と洋画、レーザーディスクを新たに公開し、テレビドキュメンタリー、ニュースを個人の研究視聴として公開している。

個人視聴ブース10台、15インチの液晶テレビでDVDとVHSに対応している。

〔公開映像一覧〕

- 牛山純一のテレビドキュメンタリー作品
 - 〈ノンフィクション劇場〉シリーズ
 - 〈すばらしい世界旅行〉シリーズ
 - 〈20世紀アワー〉シリーズ
 - 〈たのしい歴史旅行〉シリーズ
 - 〈ナブ号の世界動物探検〉シリーズ
 - 〈生きている人間旅行〉シリーズ
 - 〈知られざる世界〉シリーズ
 - 〈ドキュメント人生の劇場〉シリーズ
 - 〈ナゾの海底探検〉シリーズ
 - 〈ワールドスペシャル〉シリーズ
 - 〈牛山純一の世界〉シリーズ
 - 〈牛山純一と仲間たち〉シリーズ
 - 〈スペシャル番組〉シリーズ
- 日本ニュース映画（1940～1951）
- 神奈川ニュース映画 市政ダイジェスト

○米国制作の戦争のドキュメンタリー

○祭りの記録映像

図書

来館者の利用を主眼とした図書室で、約8万冊の書籍の閲覧が可能。また、各分野に関する専門図書をコンピュータによって検索することもできるほか、一部の図書は開架式で自由に閲覧も可能である。

8 映画上映

〔会場〕映像ホール

〔主催〕川崎市市民ミュージアム

〔鑑賞人数〕5,212人

〔上映回数〕120回

●フランス映画特集

ボールガールにおける愛と政治

4月4日

11:00 ～ ジョルジュ・ド・ボールガールという名のプロデューサー／大通り

14:00 ～ クラブ・タンブール

4月5日

11:00 ～ 悪意の眼

14:00 ～ モラン神父

4月11日

11:00 ～ 絹の瞳

14:00 ～ 317小隊

4月12日

11:00 ～ クラブ・タンブール

14:00 ～ ジョルジュ・ド・ボールガールという名のプロデューサー／大通り

4月18日

11:00 ～ モラン神父

14:00 ～ 悪意の眼

4月19日

11:00 ～ 317小隊

14:00 ～ 絹の瞳

●MoMA ニューヨーク近代美術館

映画コレクション

4月25日

11:00 ～ 暗黒の恐怖

14:00 ～ ビッグ・トレイル

4月26日

11:00 ～ 悲しみよこんにちは

14:00 ～ バンド・ワゴン

4月29日

11:00 ～ 《アンディ・ウォーホル プログラム》

スクリーンテスト アンディ・ウォーホルの最も美しい女性たち（4人版）

／ヴェルヴェット・アンダーグラウンド・アンド・ニコ

14:00 ～ スウィート・スウィートバック

5月2日

11:00 ～ イタリアン・アメリカン

14:00 ～ ニューヨークの地下鉄／ツーリスト／ニューマン劇場のお笑い漫画／

フラッシング・メドウズ／女の叫び／男の友情

5月3日

11:00 ～ ビッグ・トレイル

14:00 ～ 暗黒の恐怖

5月4日

11:00 ～ バンド・ワゴン

14:00 ～ 悲しみよこんにちは

5月5日

11:00 ～ スウィート・スウィートバック

14:00 ～ 《アンディ・ウォーホル プログラム》

スクリーンテスト アンディ・ウォーホルの最も美しい女性たち（4人版）

／ヴェルヴェット・アンダーグラウンド・アンド・ニコ

5月6日

11:00 ～ ニューヨークの地下鉄／ツーリスト／ニューマン劇場のお笑い漫画／

フラッシング・メドウズ／女の叫び／男の友情

14:00 ～ イタリアン・アメリカン

5月9日

11:00 ～ 暗黒の恐怖

14:00 ～ ビッグ・トレイル

5月10日

11:00 ～ 悲しみよこんにちは

14:00 ～ バンド・ワゴン

5月16日

11:00 ～ 《アンディ・ウォーホル プログラム》

スクリーンテスト アンディ・ウォーホルの最も美しい女性たち（4人版）

／ヴェルヴェット・アンダーグラウンド・アンド・ニコ

14:00 ～ スウィート・スウィートバック
5月17日
11:00 ～ イタリアン・アメリカン
14:00 ～ ニューヨークの地下鉄／ツーリスト／ニュー
マン劇場のお笑い漫画／
フラッシング・メドウズ／女の叫び／男の友情

●終戦 70 周年記念

戦争の記録と映画・戦争映画の視点

7月12日 2・26 とは何だったのか
11:00 ～ 叛乱
14:00 ～ 戒厳令
上映後、吉田喜重監督トーク
7月18日 ミリタリー・ディシプリン
11:00 ～ 真空地帯
14:00 ～ ゆきゆきて、神軍
上映後、原一男監督トーク
7月19日 戦争末期の青春
11:00 ～ 雲ながるる果てに
14:00 ～ 肉弾
7月20日 もうひとつの戦禍
11:00 ～ 硫黄島
14:00 ～ 飼育
8月1日 午前：親子で見る平和のためのアニメーション
午後：戦争と子供たち
11:00 ～ 《木下蓮三・木下小夜子作品集》
最後の空襲くまがや／琉球王国-MADE IN
OKINAWA／ピカドン
上映の前後に、木下小夜子による解説トーク
14:00 ～ 蜂の巣の子供たち
8月2日 午前：親子で見る平和のためのアニメーション
午後：戦争と子供たち
11:00 ～ かんからさんしん
14:00 ～ 二つのハーモニカ
8月8日 戦時下の娯楽映画
11:00 ～ ハナコサン
14:00 ～ 愉しき哉人生
8月9日 その後のヒロシマ
11:00 ～ 平和祈念都市ひろしま／原爆の子
14:00 ～ 鏡の女たち
8月15日 あの日からの人生
11:00 ～ 近頃なぜかチャールストン
14:00 ～ 大誘拐
8月16日 プロパガンダと映画～セレベスをめぐって
11:00 ～ 日本ニュース第 88 号／桃太郎 海の神兵
14:00 ～ セレベス 海軍報道班員の記録版

9月5日 ソ連の戦争・もうひとつの視点
11:00 ～ 海に出た夏の旅
14:00 ～ トルペド航空隊
9月6日 アジアの戦争・もうひとつの視点
11:00 ～ グッド・バッド・ウィアード
14:00 ～ あの旗を撃て
9月12日 ナチス占領下のフランス
11:00 ～ 黄色い星の子供たち
14:00 ～ 精神の武器
9月13日 ナチスを再考する視点
11:00 ～ ハンナ・アーレント
14:00 ～ 死神博士の栄光と没落

●クロード・ランズマン特集

9月19日
11:00 ～ SHOAH ショア第 1 部
14:00 ～ SHOAH ショア第 2 部
9月20日
11:00 ～ SHOAH ショア第 3 部
14:00 ～ SHOAH ショア第 4 部
9月21日
11:00 ～ SHOAH ショア第 1 部
14:00 ～ SHOAH ショア第 2 部
9月22日
11:00 ～ SHOAH ショア第 3 部
14:00 ～ SHOAH ショア第 4 部
9月23日
11:00 ～ SHOAH ショア第 1 部
14:00 ～ SHOAH ショア第 2 部
9月26日
11:00 ～ SHOAH ショア第 3 部
14:00 ～ SHOAH ショア第 4 部
9月27日
11:00 ～ ソビブル、1943 年 10 月 14 日午後 4 時
14:00 ～ 不正義の果て

●“かわさきシネマアワード” 映画で見るかわさ きの物語 ノミネート作品上映会

10月24日
11:00 ～ どぶ
14:00 ～ アッシィたちの街
10月31日
11:00 ～ 彼女と彼
14:00 ～ 探偵事務所 5 カインとアベル

●シネマテーク・コレクション

ATG 特集 役者の引力!

- 11月1日
11:00 ~ あらかじめ失われた恋人たちよ
14:00 ~ もう頬杖はつかない
- 11月7日
11:00 ~ 風の歌を聴け
14:00 ~ 青春の殺人者
- 11月8日
11:00 ~ PLAYBACK
14:00 ~ ミスター・ミセス・ミス・ロンリー
- 11月14日
11:00 ~ 竜馬暗殺
14:00 ~ ツイゴイネルワイゼン
- 11月15日
11:00 ~ 原子力戦争 Lost Love
14:00 ~ 祭りの準備
- 11月21日
11:00 ~ 曾根崎心中
14:00 ~ TATOO 〈刺青〉あり
- 11月22日
11:00 ~ サード
14:00 ~ 遠雷
- 11月23日
11:00 ~ ヒボクラテスたち
14:00 ~ 家族ゲーム
- 11月28日
11:00 ~ 告白的女優論
14:00 ~ 黒木太郎の愛と冒険
- 11月29日
11:00 ~ 薔薇の葬列
14:00 ~ ガキ帝国

●映像芸術の世界 松本俊夫 特集

- 12月5日
11:00 ~ 《プログラム A (1959年～1974年)》
春を呼ぶ子ら 進路指導シリーズ展望篇／安
保条約／石の詩／メタスタシス＝新陳代謝／
エクспанション＝拡張／モナ・リザ／アン
デイ・ウォーホル＝複々製
- 14:00 ~ 《プログラム B (1975年～1982年)》
ファントム＝幻妄／色即是空／アートマン
／ホワイトホール／氣＝BREATHING／
CONNECTION／シフト＝断層／フォーメー
ション＝形成／スウェイ＝ゆらぎ／エンゲ
ラム＝記憶痕跡

12月6日

- 11:00 ~ 《プログラム B (1975年～1982年)》
ファントム＝幻妄／色即是空／アートマン
／ホワイトホール／氣＝BREATHING／
CONNECTION／シフト＝断層／フォーメー
ション＝形成／スウェイ＝ゆらぎ／エンゲ
ラム＝記憶痕跡
- 14:00 ~ 《プログラム A (1959年～1974年)》
春を呼ぶ子ら 進路指導シリーズ展望篇／安
保条約／石の詩／メタスタシス＝新陳代謝／
エクспанション＝拡張／モナ・リザ／アン
デイ・ウォーホル＝複々製

●江口寿史と 80 年代日本映画

- 12月19日 ちばてつや対談特別上映
11:00 ~ 〈ちばてつやキャラクターデザイン〉ゆき
14:00 ~ 〈ちばてつや原作〉劇場版 あしたのジョー 2
- 12月20日
11:00 ~ 〈江口寿史原作〉「エイジ」
14:00 ~ 〈江口寿史キャラクター原案〉PERFECT
BLUE
- 12月23日
11:00 ~ ぼくらマンガ家 トキワ荘物語
14:00 ~ 〈江口寿史キャラクター原案〉老人 Z
11:00 ~ の・ようなもの
14:00 ~ 逆噴射家族
- 12月27日
11:00 ~ 転校生
14:00 ~ 櫻の園
- 2016年1月9日
11:00 ~ ノーライフキング
14:00 ~ 〈江口寿史キャラクター原案〉PERFECT
BLUE
- 平成28年1月10日
11:00 ~ 〈江口寿史原作〉「エイジ」
14:00 ~ 〈江口寿史キャラクター原案〉老人 Z
※平成28年1月中旬～3月末までリニューアル工事の
ため休館

9 ビデオ・DVD上映

〔会場〕映像ホール
〔主催〕川崎市市民ミュージアム
〔入場者〕896人
〔上映回数〕46回
〔日程〕毎週水曜日 14:00～

●市民ミュージアム収蔵品 テレビドキュメンタリー '80年代からの検証

5月23日

11:00～ 甲信越とところどころ 企業移転
14:00～ さよなら国鉄 民営三陸鉄道株式会社の誕生
／国鉄は精算されたか 検証・分割民営化から2年

5月24日

11:00～ あしたを創る 活力ある地場産業群
14:00～ 吉野杉箸白書 岐路に立つ地場産業／ザ・サバイバル 技術革新の嵐の中で

5月30日

11:00～ ドキュメンタリー わが故郷は消えても
14:00～ ドキュメンタリー 消える村／天狗のすむ山

5月31日

11:00～ 破産 ある畜産農家の光と影
14:00～ 負債の構造 ある農民の死／蒲田・町工場物語／五平太流転 高島礦閉山の記録

●テレビドキュメンタリー 80年代からの検証

6月6日 学校がなくなるとき

11:00～ てっぽんかっぽんの咲く分校／てっぽんかっぽんの詩 大谷分校の春
14:00～ てっぽんかっぽん物語 サヨナラ大谷分校／学校がなくなる 山形県温海小巖川分室／さよなら山瀬分校

6月7日 やすらかな死をもとめて

11:00～ 老いてひとり／老いの村 伊那谷からの報告
14:00～ 生きる 聖隷三方原病院 ホスピス病棟／しんぼう 死をみすえて川口武久／ここに家族あり

6月13日 生きていくために大切なもの

11:00～ 産声が聞きたい／鈴のあしおと
14:00～ 終の家 託老施設 アタゴ学園日記／明日への道 遥かなるベーター

6月14日 たすけあう社会

11:00～ '81国際障害者年によせて ともに生きる 2人の中学生／かるたの青春ろう教育への挑戦
14:00～ 鐘の音よ響け／くちびるの詩／のぞみ5歳

手さぐりの子育て日記

6月20日 生きるちから

11:00～ 姉妹 六歳 春／良司君の一年 光なき障害をこえて
14:00～ テレビあかるいまち 脳性マヒ文恵の熱い夏／直宏くんの挑戦

6月21日 信頼の喪失

11:00～ その時 老人は買った 高知市でのSF商法／そして山は荒廃した 山林切り売り商法を追う
14:00～ 信頼 一枚の診療明細書から／おっちゃんの裁判 身振り手振りの11年

6月27日 故郷へのつよい思い

11:00～ 君は故郷が好きか 今 一村一品運動は／当世 里の味 ある山間の町と村から
14:00～ 尋ねまほしき 県歌・信濃の国／清ら島や奄美 関西・望郷の島唄

6月28日 外国人といわれる住民

11:00～ 国際化って何だ／閉ざされた海 再入国不許可の帰国
14:00～ ゴーさん一家の春 カンボジア難民定住記／三年目の旅立ち ゴーさん一家のニッポン

7月4日 町おこし村おこし

11:00～ TOGA・世界を演じた小さな村／川上からのメッセージ
14:00～ 土門 拳の世界／天下無敵 綱引き日本一 置戸町／沸きたつ町に触れ太鼓 大相撲川根場所／再現！ こんぴら大芝居

7月5日 原発の民意

11:00～ ドキュメント 窪川原発の審判／ドキュメント '83 続 窪川原発の審判
14:00～ 核と過疎 幌延町の選択／原発に映る民主主義 巻町民25年目の選択／ブルトニウム元年ヒロシマ 日本が核大国になる…！？

7月11日 原発建設計画の現実

11:00～ はずれの末えいたち／核汚染の原野 ソ連核実験場セミパラチンスクはいま
14:00～ 能登の海 風だより／ノーモア ニュークス アメリカにみる核意識

●終戦70周年記念 戦争の記録と映画・戦争映画の視点

7月25日 戦争を記録したTVドキュメンタリー

11:00～ 東京大空襲 最後の攻撃／福岡大空襲
14:00～ 沖縄攻防戦 神風特攻隊／神風特別攻撃隊(前)(後)

7月26日 戦争を記録したTVドキュメンタリー

- 11:00 ～ ヒロシマと江田島 二人の語り部／志願兵たちの昭和 最後の兵隊先生
- 14:00 ～ 子供たちは戦争を見つめた／チエと空襲 平成元年の銃後
- 8月29日 戦争を記録した TV ドキュメンタリー
- 11:00 ～ 沈黙の海 追跡 徴用船湖南丸／沈黙の洞窟 伊江島 38年目の収骨
- 14:00 ～ いくさ世の画譜 丸木位里・丸木俊 おきなわを描く／遅すぎた聖断 検証 沖縄戦への道
- 8月30日 戦争を記録した TV ドキュメンタリー
- 11:00 ～ 祖国へのはるかな旅 中国残留婦人の帰国
- 14:00 ～ 凍土に生きて／大地は知っている 中国へ残された婦人たち

●収蔵ビデオ作品上映

- 10月3日 ふるさと発信シリーズ
- 11:00 ～ 木田金次郎 心のかたち／角館・わが祭りおやまばやし／萬鉄五郎の生涯／萬鉄五郎の世界／うみねこが選んだまち／柏崎グラフィティ～小竹忠三郎絵はがきコレクションから～
- 14:00 ～ わとはな 雪の結晶と文様／鉾山の煙突と市民たち／海業創生 フィッシャリーナ・タウン／油が淵 24時／いらかの風 石原熊治郎の偉業
- 10月4日 ふるさと発信シリーズ
- 11:00 ～ 天使の降り立つ邑／おわら風の盆／祭りの日々 志賀／歴史街道 宇治浪漫／感 日本海の風
- 14:00 ～ 叙情詩 かぐらの里／星ふるまち 下松／カヌーの里おおち／わがまち 相生／賀来の大名行列 大分の風祭・卯西の神事
- 10月10日 ふるさと発信シリーズ
- 11:00 ～ 大空・大地・夢気球／真澄の夢 六ヶ所歌紀行／海鳴りの町 大間町／鬼を見た／野口雨情 童謡のふるさと
- 14:00 ～ 水 水上 水のミラージュ／小さき神のぬくもりに／笠ヶ岳 日本人と山／万葉の夢 未来の夢／長谷川等伯 画筆の軌跡
- 10月12日 牛山純一 テレビドキュメンタリー
- 11:00 ～ 千年を生きる日本人 中国 船山郡島のナゾ／津軽の唄と旅芸人／淡路人形芝居
- 14:00 ～ 正丸峠の刀鍛冶／刺青 生きている浮世絵／鬼太鼓一筋 御陣乗太鼓

10 ミニホール ビデオ上映

ミニホールでは、「日本の伝統・工芸品・極める匠の世界」「祭りの記録映像」「日本の国宝・至宝シリーズ」「日本映画傑作選」を定期的に上映し、市民のホームシアターとして所蔵するビデオやDVDを活用した。

〔利用者数〕934人

〔上映回数〕43回

●日本の伝統・工芸品・極める匠の世界

4月7日

陶磁器「赤い土と炎の里」「色絵磁器のシンフォニー」

5月5日

陶磁器「千 300度の炎を操る」「白い磁肌に挑む」

6月2日

陶磁器「緋の景色・土と炎のシンフォニー」「青空の雲のごとくに」

7月7日

陶磁器「みだりに昔をくずさぬように」「現代の鬼師」

8月4日

漆工芸「漆芸の完成を求めて」「奥能登、風雪に生きる」

9月1日

漆工芸「華を蒔く」「色漆の心を彫る」

10月6日

漆工芸「飾りなき漆の美」「甦る女の髪」

11月3日

漆工芸「漆箱の宇宙」「古都奈良、雅を守る漆芸」

12月1日

漆工芸「強くしなやかに」「木肌の美・透き漆の艶」「漆の美を支えて」

1月5日

木工芸「木に魅入られて」「桐くり物に賭ける」

2月2日

木工芸「かしらに生命をこめる」「竹と語り美を編む」

3月1日

木工芸「樹を語る匠」「歴史の美を守る」

●祭りの記録映像

日程：毎月第2火曜日 14:00～

4月14日

賑わいの市「前橋初市まつり」「輪島の朝市」「世田谷のボロ市」

5月12日

火渡りの祭り「高尾山の大火渡り祭」「大山寺の力餅」「那須波切不動尊の火まつり」

6月9日
鬼が出て来る祭り「陀々堂の鬼走り」「上野天神祭」「鬼剣舞」「長田神社の追儺式」

7月14日
怪物が出て来る祭り「八代妙見祭の神幸行事」「牛鬼」「八朔 太鼓踊り」「市來の七夕踊り」

8月11日
花火の祭り「長岡の花火」「椋神社の龍勢」「炎の祭典」「篠田の花火」「綱火」

9月8日
華麗な火の祭り「寺野のひよんどり」「松明あかし」「那智の火祭り」と田楽」

11月10日
操り人形の祭り「真桑人形浄瑠璃」他

12月8日
子供が主役の祭り「栗生のおも講と堂徒式」他

2月9日
船が出て来る祭り「おしぐらんこ」「糸満ハーレー」「常陸大津の御船祭」「大江八幡神社の御船行事」

3月8日
風揚げの祭り「相模の大凧まつり」「白根大凧合戦」「庄和の大凧あげ祭り」「近江八日市の大凧まつり」

●日本の国宝・至宝シリーズ

4月21日
「日本美の黎明 古代人の祈り」「寺と仏の始まり 法隆寺・西院伽藍」

5月19日
「祈りの造形 ～法隆寺・太子ゆかりの寺々」「西域の香り ～薬師寺」

6月16日
「天平の幕開け 東大寺・法華堂」「天平の華 東大寺・大仏開眼」

8月18日
「天平の薨 唐招提寺」「南都鹿鳴 青丹よし奈良の寺々」

9月15日
「密教森巖 教王護国寺（東寺）」「深山に祈る 山岳信仰のひろがり」

10月20日
「神道の造形 神々の息吹」「浄土憧憬」

11月17日
「地方美術の興隆 陸奥から豊後まで」「絵巻の黄金時代 源氏物語絵巻」

12月15日
「絵巻の黄金時代 伴大納言絵巻」「絵巻の黄金時代 信

貴山縁起絵巻」

1月19日
「絵巻の黄金時代 鳥獣人物戯画」「平家残照 巖島神社」

2月16日
「南都復興 運慶・快慶」「地獄をめぐる 六道絵の世界」

3月15日
「書の世界 三筆・三蹟・かな」「仏像の変遷 時代を映す仏たち」

●日本映画傑作選シリーズ

4月28日
「放浪記」昭和10年/モノクロ/89分

5月26日
「坊ちゃん」昭和10年/モノクロ/80分

6月23日
「宗方姉妹」昭和25年/モノクロ/112分

7月28日
「煙突の見える場所」昭和28年/モノクロ/108分

8月25日
「嵐」昭和31年/モノクロ/105分

9月22日
「渡り鳥いつ帰る」昭和30年/モノクロ/129分

10月27日
「雁」昭和28年/モノクロ/104分

12月22日
「雪国」昭和32年/モノクロ/134分

1月26日
「智恵子抄」昭和32年/モノクロ/102分

2月23日
「憂愁平野」昭和38年/カラー/114分

11 他団体の展示等

MOA 美術館川崎市児童作品展

〔会 期〕11月6日～11月8日

〔会 場〕企画展示室2、ミュージアムギャラリー

〔入 場 者〕2,224人

〔主 催〕MOA 美術館川崎市児童作品展実行委員会

収集・整理・保存

1 収集

(1) 考古担当

[収集方針]

川崎市域で発掘・発見された考古資料を中心に、周辺地域の関係資料の収集活動を行っている。

[寄贈資料]

角田隆茂氏寄贈資料 1点 (板碑)

(2) 歴史担当

[収集方針]

川崎市域史に関わる歴史資料、および川崎を描いた絵画資料 (絵図類・錦絵など)、また近現代の都市生活資料を中心に収集活動を行っている。

[寄贈資料]

小林美年子氏寄贈資料 一括 (小杉村関係資料、川崎新聞ほか)

旧細山郷土資料館寄贈資料 一括 (俳諧関係資料)

大東亜戦争国庫債券 壱百円 1点

角田隆茂氏寄贈資料 43点 (丸山教関連ほか)

[寄託資料]

原 正樹氏寄託資料 583点 (宮内村関係古文書)

[購入資料]

小向村文書 101点 (小向村関係古文書)

神道丸山教御寶伝 3冊一括

(3) 民俗担当

[収集方針]

川崎市域に伝えられてきた民俗資料を中心に収集を行っている。

[寄贈資料]

奥原章男氏寄贈資料 25件 (昭和30年頃の写真アルバムほか)

旧細山郷土資料館寄贈資料 2件 (柳田国男葉書、西生田小学校社会科プログラム報告書)

飯塚昭二氏寄贈資料 2件 (女兒祝着)

角田隆茂氏寄贈資料 128件 (御札、梨・桃資料ほか)

(4) 美術・文芸担当

[収集方針]

川崎市にかかわる作家の作品、資料の収集を行っている。

[寄贈作品]

まど・みちお ドローイング作品 1,026点

(5) グラフィック担当

[収集方針]

ポスターと現代版画、および関連資料の収集を行っている。ポスターでは特に、印刷技術の発達により多色刷り・大判のポスター製作が可能になった19世紀から20世紀前半までのフランスを中心とするヨーロッパのポスターと、現代日本の優れたグラフィックデザイナーのポスター収集に力を入れている。版画ではポップ・アートを中心に収集している。

[寄贈作品]

佐藤卓 現代ポスター (「ヒロシマ・アピールズ2015」)
1点

(6) 写真担当

[収集方針]

国内外の重要なドキュメンタリー作品の収集ならびに写真史の上で貴重な作品資料の収集を行っている。

[寄贈作品]

木村伊兵衛写真賞受賞作品 14点

(7) 漫画担当

[収集方針]

日本漫画史を通観できる作品・資料、日本と相互影響関係にある外国漫画資料を収集している。

27年度の収集は行っていない。

(8) 映画担当

[収集方針]

独立プロダクションの作品の収集を基本としている。

27年度の収集は行っていない。

(9) ビデオ担当

[収集方針]

20世紀の記録・表現として時代・社会及び文化を反映する貴重な映像を収集することを基本方針としている。

27年度の収集は行っていない。

2 整理・保存・修復

(1) 考古担当

〔整理〕

調査単位で受け入れてきた資料について、遺跡単位で統合し、データ化を行った。

(2) 歴史担当

〔整理〕

長尾村鈴木家文書の再整理、袋詰め、データ化、小林家寄贈資料の整理、袋詰め、データ化を行なった。上田家文書の目録を統合・整理した。また、新規収集資料の目録作成を行った。

〔保存・修復〕

資料燻蒸 3回

(3) 民俗担当

〔整理〕

平成27年度収集資料の受け入れに伴い、資料のクリーニング、注記、撮影、資料カード作成を実施した。また、民俗資料カードのデータ入力作業ならびに資料写真のデジタル化作業を行った。

〔保存・修復〕

資料燻蒸 4回

(4) 美術・文芸担当

〔整理〕

アートギャラリー展「新収蔵作品展」開催のため、まど・みちお晩年のドローイング作品の整理を行った。また、書籍の整理作業と、作品のデータ化作業を行った。

〔保存・修復〕

渡邊豊重 油彩画 3点

資料燻蒸 2回

(5) グラフィック担当

〔整理〕

収蔵作品のフラットニング・作品カード作成・データ化 689件

〔保存・修復〕

・ルウ・ドーフスマン「CBS社のためのプロモーション映像」の修復

・資料燻蒸 3回

(6) 写真担当

〔整理〕

特になし

〔保存・修復〕

なし

(7) 漫画担当

〔整理〕

故須山計一の寄贈資料(22箱)、明治ポンチ本(110冊)、『東京バック』未整理分(約300冊)を、ストレージボックスに整理するとともに、カード作成(カード化、データ入力、画像処理、画像貼り込み等を含む)を進め、データベースの充実を図った。

〔保存・修復〕

資料燻蒸 3回

(8) 映画担当

〔整理〕

なし

〔保存・修復〕

なし

(9) ビデオ担当

〔整理〕

実相寺昭雄 企画展の展示資料の整理。

〔保存・修復〕

なし

3 収蔵品の貸出・他館への協力

(1) 考古担当

〔資料貸出〕(7件 1,138点)

○黒川No.10 遺跡、下原遺跡、岡上遺跡、宮添遺跡出土品
ほか1,029点(川崎市立柿生中学校)

○南原遺跡出土資料 49点(川崎市立南原小学校)

○東高根遺跡出土土器 一括(東高根森林公園)

○神庭遺跡出土土器 19点(神奈川県立中原養護学校)

○影向寺遺跡出土「无射志国荏原評」銘瓦ほか 2点(横浜市歴史博物館)

○久保台遺跡出土力士埴輪 3点(行田市郷土博物館)

○下原遺跡・宿河原低湿地遺跡出土品 35点(神奈川県埋蔵文化財センター)

〔特別利用 12件 65点〕

< 熟覧・撮影 >

○久保台遺跡出土力士埴輪 2点(行田市郷土博物館)

○川崎市内出土板碑 15点(個人)

- 蟹ヶ谷古墳群出土資料 一括（個人）
- 川崎市内出土縄文土器 12点（個人）
- 宮添遺跡出土瓦塔・影向寺遺跡出土瓦 2点（個人）
- 初山遺跡出土石器 4点（個人）
- 梶ヶ谷神明社上遺跡出土土器 15点（個人）
- < 原版使用 >
- 影向寺遺跡出土「无射志国荏原評」銘瓦ほか 4点（日本大学史学科）
- 弥生の食 1点（光文書院）
- 影向寺遺跡出土「无射志国荏原評」銘瓦 1点（府中市郷土の森博物館）
- 白井坂埴輪窯跡出土品ほか 4点（宮前区役所）
- 影向寺遺跡出土「无射志国荏原評」銘瓦ほか 4点（川崎市教育委員会生涯学習部文化財課）

(2) 歴史担当

- [資料貸出] (5件 16点)
- 池上家文書ほか 3点（横浜市歴史博物館）
- 北条家朱印状 1点（板橋区立郷土資料館）
- 扇島海水浴場 1点（横浜みなと博物館）
- 祐之地震道記 1点（鎌倉国宝館）
- 罹災証明書ほか 10点（川崎市平和館）
- [特別利用] (38件 209点)
- < 熟覧 >
- 宮崎家文書 4点（個人）
- 御幸煉瓦 一括（品川歴史館）
- 池上家文書ほか 3点（横浜市歴史博物館）
- 登戸村亀絵図ほか 6点（川崎市教育委員会地名資料室）
- 増山家文書ほか 17点（個人）
- 鈴木家文書ほか 13点（東高根森林公園）
- 川崎起源史 1点（個人）
- 扇島海水浴場 1点（横浜みなと博物館）
- 鈴木家文書 26点（個人）
- 池上家文書 53点（個人）
- 古筆手鑑 披香殿 1点（個人）
- 平かな絵入り往生要集ほか 3点（富山県立山博物館）
- < 撮影 >
- 川崎宿本陣模型 1点（株式会社ディエヌエイ）
- 川崎宿模型 1点（川崎区役所企画課）
- 奈良茶飯模型ほか 4点（日本テレビ）
- 鈴木家文書ほか 13点（東高根森林公園）
- 大日本職業明細図之内川崎市（川崎区役所） 1点
- < 原版使用 >
- 横浜製糖株式会社写真 1点（株式会社 KADOKAWA）
- 横浜製糖株式会社写真 1点（株式会社 KADOKAWA）
- 祐之地震道記 1点（鎌倉国宝館）

- 二ヶ領用水両取入口絵図ほか 2点（個人）
- 池上家文書ほか 3点（横浜市歴史博物館）
- 大師河原開帳之図ほか 3点（南原小学校）
- 北条家朱印状 1点（板橋区立郷土資料館）
- 池上家文書 2点（個人）
- 池上家文書 3点（個人）
- 後北条氏の虎の印判状 1点（教育出版株式会社）
- 後北条氏の虎の印判状 1点（教育出版株式会社）
- 中原街道絵図 1点（西丸子小学校）
- 扇島海水浴場 1点（横浜みなと博物館）
- 明長寺蔵十王図 10点（個人）
- 古筆手鑑 披香殿 3点（有限会社和泉書院）
- 池上家文書 16点（個人）
- 関東下知状 1点（公益財団法人川崎市文化財団）
- 森家文書 1点（近世古文書の会）
- 高札 1点（株式会社天夢人）
- 池上家文書ほか 7点（横浜開港資料館）
- 後北条氏の虎の印判状 1点（教育出版株式会社）

(3) 民俗担当

- [資料貸出] (6件 47点)
- 「蕪村妖怪絵巻」(複製)ほか 3点（玉川高島屋／東神開発株式会社）
- 鹿島田念仏講道具 25点（鹿島田念仏講中）
- 「化物絵巻」「地獄双紙」ほか 6点（宮崎県総合博物館）
- 『河童図説』ほか 2点（千葉県立中央博物館）
- 「岡上のセエノカミ」「火打石」ほか 3点（神奈川県立歴史博物館）
- 乳母車、絵馬ほか 8点（横浜市歴史博物館）
- [特別利用] (17件 80点)
- < 熟覧 >
- 「水虎之図」「河童図説」2点（八戸市博物館）
- < 原版使用 >
- 「化物絵巻」「地獄双紙」ほか 6点（宮崎県総合博物館）
- 『桃山人夜話』より「二口女」ほか 4点（川崎市立日本民家園）
- 「水虎之図」「河童像」2点（八千代市立郷土博物館）
- 『河童図説』ほか 2点（千葉県立中央博物館）
- 「水虎之図」1点（福井県立こども歴史文化館）
- 「お食い初め膳」ほか 18点（川崎市立日本民家園）
- 「化物絵巻」「絵本百物語」ほか 3点（有限会社ビーアンドエス）
- 昭和30年代の川崎写真 12点（エイエイビー）
- 「水虎之図」「化物絵巻」「絵本百物語」8点（ファミリーマガジン）
- 農具エブリ 2点（神奈川大学常民文化研究所）

- 写真「登戸の渡し」ほか 3点 (川崎市建設緑政局)
- 「岡上のセエノカミ」「火打石」ほか 3点 (神奈川県立歴史博物館)
- 「水虎之図」1点 (株式会社 AWAS)
- 乳母車、絵馬ほか 8点 (横浜市歴史博物館)
- 「水虎之図」1点 (南陽 8mmクラブ)
- < 撮影 >
- 海苔養殖関係資料 2点 (YOU テレビ株式会社)

(4) 美術・文芸担当

- [資料貸出] (5件 43点)
- 岩崎貴広 9点 (DOMANI展 新国立美術館)
- 渡辺豊重 3点 (渡辺豊重展 岩手県立美術館)
- 久保一雄 22点 (東宝スタジオ展 世田谷美術館)
- 安田鞆彦 6点 (大古事記展 奈良県立美術館)
- 安田鞆彦 3点 (遊亀と鞆彦展 岐阜県立美術館、愛媛県立美術館)
- [特別利用] (7件 29点)
- < 原版使用 >
- 岡本かの子 肖像写真など (株式会社テレコムスタッフ)
- 濱田庄司「赤絵丸紋角瓶」(川崎北法人広報誌)
- 濱田庄司「柿釉赤絵角皿」(川崎北法人会広報誌)
- 佐藤惣之助「肖像写真」(株式会社オールアウト)
- 安田鞆彦「谷崎潤一郎氏像」(株式会社平凡社)
- 安田鞆彦「草薙の剣」(吉川弘文館)
- 安田鞆彦「草薙の剣」など (株式会社アートボックス)

(5) グラフィック担当

- [資料貸出] (4件 9点)
- 横山明<燃え落ちる蝶> 1点 (「生誕100年 亀倉雄策展」新潟県立万代島美術館)
- グスタフ・クリムト<第1回ウィーン分離派展> 1点 (「黄金伝説展」国立西洋美術館、宮城県美術館、愛知県美術館)
- ジョルジュ・ムニエ<ノルマンディーとブルターニュへの小旅行> 他 6点 (「旅と芸術一発見・驚異・夢想」埼玉県立近代美術館)
- アルフォンス・ミュシャ<ジスモンダ> 1点 (「ミュシャ展」長崎県美術館)
- [特別利用] (11件 23点)
- < 原版使用 >
- トゥールーズ=ロートレック<ディヴァン・ジャポネ> 他 3点 (エリック・サティとその時代展 アートインプレッション)
- トランキエ=トリアノン<ロワイヤ> 他 4点 (ミュー

- ザ川崎 川崎市文化財団)
- アンディ・ウォーホル<シベリアン・タイガー> 1点 (浜島書店)
- トゥールーズ=ロートレック<ムーラン・ルージュのラ・グーリュ> 1点 (一枚の繪)
- 亀倉雄策<東京オリンピック(バタフライ)> 他 3点 (戦後を語る70のカタチ展 立命館大学国際平和ミュージアム)
- カッサンドル<ノルマンディー号> 1点 (フレア)
- ジョルジュ・ムニエ<ノルマンディーとブルターニュへの小旅行> 他 6点 (旅と芸術一発見・驚異・夢想展 埼玉県立近代美術館)
- トゥールーズ=ロートレック<ジャヌ・アヴリル> 1点 (浜島書店)
- トゥールーズ=ロートレック<ムーラン・ルージュのラ・グーリュ> 1点 (ユニフォトプレスインターナショナル)
- アルフォンス・ミュシャ<ジスモンダ> 1点 (文化企画)
- トゥールーズ=ロートレック<ジャヌ・アヴリル> 1点 (開隆堂出版)

(6) 写真担当

- [資料貸出] (2件 73点)
- 横浜写真他 (江戸東京博物館) 10点
- アジェ写真作品 (ポーラ美術館) 63点
- [特別利用 7件 55点]
- < 原版使用 >
- 昭和30年代から40年代の川崎市内写真 (フォトパブリッシング) 11点
- 昭和30年代から40年代の川崎市内写真 (川崎市環境局) 1点
- 昭和30年代から40年代の川崎市内写真 (川崎市まちづくり局) 28点
- ナダール写真作品 (集英社) 1点
- ダゲレオタイプ (播磨町郷土資料館) 2点
- < 熟覧 >
- 昭和30年代から40年代の川崎市内写真 3294点 (川崎市公文書館)
- < 撮影 >
- 横浜写真他 (江戸東京博物館) 10点
- ダゲレオタイプ (日本大学芸術学部) 2点

(7) 漫画担当

- [資料貸出] (9件 242点)
- 赤本・貸本など資料 48点 (『描く!』マンガ展 大分県立美術館)

- 『今昔百鬼拾遺』2点
（「今昔、日本の妖怪～百鬼夜行からゲゲゲまで」展
宮崎県総合博物館）
- 『トバエ』『滑稽欧亜外交地図』など 5点
（「日本外交のあゆみ」展 茨城県立歴史館）
- 雑誌『フレッシュジャンプ』など資料 8点
（『描く！』マンガ展 大分県立美術館）
- 鯰絵 5点
（「地形・地層・地震一大和周辺の大地の成り立ち」
大和市つる舞の里歴史資料館）
- ビゴー『正月元日』など 3点
（「旅と芸術一発見・驚異・夢想」 埼玉県立近代美術館）
- 赤本・貸本など資料 83点
（『描く！』マンガ展 北九州市漫画ミュージアム）
- 赤本・貸本など資料 83点
（『描く！』マンガ展 高崎市美術館）
- 小林清親「日本萬歳 百撰百笑 露艦の閉口」など5点
（「清親一光線画の向こうに」 町田市立国際版画美術館
〔特別利用〕（43件 196点）
< 原版使用 >
- 『東京パック』より「泥沼にあがく蒋介石」ほか 4点
（株三人社）
- 『東京パック』より須山計一の似顔絵 1点
（株三人社）
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』より「猫また」 1点
（小学館『小学一年生』）
- ビゴー風刺画『トバエ』より「猿まね」ほか 3点
（株ネクサス）
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』より「ぬらりひょん」1点
（株新潮社）
- 鳥山石燕『今昔百鬼拾遺』 2点
（宮崎県総合博物館）
- 歌川国芳「荷宝蔵壁のむだ書き」 1点
（株見聞社）
- ビゴー風刺画『トバエ』より「魚釣り遊び」 1点
（株評価問題研究所）
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』ほか 7点
（株KADOKAWA 文芸・ノンフィクション局）
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』より 4点
（株河出書房新社）
- 『トバエ』『滑稽欧亜外交地図』など 5点
（茨城県立歴史館）
- 「滑稽萬国形勢新地図」 1点
（株朝日新聞出版 生活・文化編集部）
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』より「飛頭蛮」 1点
（株正進社）
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』ほか 30点
（株ファミリーマガジン）
- ビゴー風刺画『トバエ』より「魚釣り遊び」 1点
（株学研教育出版）
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』より 3点
（TBS テレビ）
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』より 1点
（TBS テレビ）
- ビゴー『正月元日』ほか 3点
（埼玉県立近代美術館）
- 鯰絵 5点（大和市教育委員会）
- ビゴー風刺画『トバエ』より「魚釣り遊び」ほか 2点
（株エディット）
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』より 3点
（株ビーアンドエス）
- ビゴー風刺画『トバエ』より「メンザレ号の救助」1点
（株山川出版社）
- 『東京パック』より「軍国主義の風刺画」 1点
（株チューエツ）
- 『東京パック』より「軍国主義の風刺画」 1点
（株ワン・ステップ）
- 『東京パック』より「軍国主義の風刺画」 1点
（一般社団法人 信州教育出版）
- 歌川国芳「化物忠臣蔵」ほか 7点
（株KADOKAWA 文芸・ノンフィクション局）
- 歌川国芳「化物忠臣蔵」ほか 7点〈再利用〉
（株KADOKAWA 文芸・ノンフィクション局）
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』より「雪女」 1点
（株NHK エンタープライズ）
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』より 1点（株花組）
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』より「河童」 1点
（上海博物館）
- ビゴー風刺画『トバエ』より「魚釣り遊び」〈再利用〉
1点（株学研プラス）
- ビゴー風刺画『トバエ』より「魚釣り遊び」〈再利用〉
1点（株学研プラス）
- 『東京パック』より「軍国主義の風刺画」 1点
（株アフロ）
- 小林清親「日本萬歳 百撰百笑 露艦の閉口」など5点
（町田市立国際版画美術館）
- 『東京パック』より「軍国主義の風刺画」 1点〈再利用〉
（株帝国書院）
- 鳥山石燕『画図百鬼夜行』より 3点
（東京都江戸東京博物館）
- ビゴー風刺画『トバエ』より「魚釣り遊び」〈再利用〉
1点（株学研アソシエ）

○鳥山石燕『画図百鬼夜行』ほか 2点
(秋田県立博物館)

< 熟覧 >

○『カリカレ』など 45点 (朝日新聞西埼玉支局)

○『漫画サロン集』ほか 22点 (個人)

○鯰絵 5点 (大和市教育委員会)

○鳥山石燕『画図百鬼夜行』『今昔百鬼拾遺』 3点
(東京都江戸東京博物館)

< 撮影 >

○小林清親「日本萬歳 百撰百笑 露艦の閉口」など5点
(町田市立国際版画美術館)

(8) 映画担当

[資料貸出]

なし

[特別利用]

なし

(9) ビデオ担当

[資料貸出]

なし

[特別利用]

なし

調査研究

1 調査研究

(1) 考古担当

多摩川流域遺跡群研究会との共同研究で、蟹ヶ谷古墳群の発掘調査を5年間で行う事業の第4カ年目の発掘調査を実施した。平成25年度の発掘調査は、第1・2・3号墳の3基の形態や規模を確認した。またこれに伴い、調査成果を市民に還元することを目的とした現地説明会を実施した。

鶴見大学との共同研究で、企画展「古鏡」において、鏡の自然科学的性質を考慮した展示を計画・実施することができた。

(2) 歴史担当

平成25年度に開催した「カワサキ・シティ 日本を牽引する街」展で作成した昭和38年頃の川崎駅前ジオラマの充実に向け、昭和30年代の川崎駅前の写真データの調査を行った。また、平成28年度開催の企画展「旅する人々～東海道五十三次から世界へ～」の開催にあたり、旅に関する記録を調査した。加えて、今年度新たに寄託された原正樹氏寄託資料を基に江戸時代の宮内村について研究を進め、その成果を紀要にまとめた。

(3) 民俗担当

川崎の民具についての調査を実施した。今年度は主として農具に関して地域呼称の調査研究を実施した。また、富士山信仰に関する調査を行った。その他、市域の民俗文化財に関して、教育委員会文化財課と協力して調査を行った。

(4) 美術・文芸担当

企画展「画楽60年渡辺豊重展」開催のための調査研究を行ない、図録を作成した。また収蔵品に新たに加わったまど・みちおの晩年のドローイング作品の調査、研究を行い紀要にまとめた。ほか、川崎ゆかりの作家の調査を行った。

(5) グラフィック担当

アートギャラリー展「一連のものがたり、一枚のモノガタリ」展開催に際し、収蔵ポスターについて調査し、そこに描かれたイメージと物語の関連性、物語のストーリーや関わった作家について調査を行った。

(6) 写真担当

木村伊兵衛写真賞展の開催に伴い、第1回から第40回の受賞作家50名ならびに木村伊兵衛について調査した。また、アートギャラリーの展示に伴い、川崎市幸区にあった村岡秀男写真スタジオについて調査を行った。

(7) 漫画担当

学習院大学との共同研究「川崎市市民ミュージアムにおける漫画関係資料の調査研究」にもとづき、研究会を開催し、次年度以降の研究計画についての協議を行った。

(8) 映画担当

毎月の企画上映において、上映作品に関する調査を行った。特に「終戦70周年記念 戦争の記録と映画・戦争映画の視点」では、所蔵フィルムを中心とした、独立プロ作品の歴史的な位置づけ、監督のトークショーによる制作背景の聞き取り等を行なった。また、「江口寿史 KING OF POP」展の関連上映に際して、江口寿史が携わった映画作品の調査を行なった。

(9) 映像（ビデオ）担当

実相寺昭雄の資料から、1988年に製作された「帝都物語」の製作スケジュールと宣伝、公開までの工程を、当時の記事等と照合し、実相寺監督の書込み脚本とカメラマンの中堀正夫氏の書込み脚本を比較し、カメラ割りと撮影方法について、中堀氏から聞き取り調査を行った。また、美術セット図面（複製）を特殊美術担当の池谷仙克氏に確認してもらい、それらの成果としてアートギャラリーで展示を行った。

2 出版

(1) 『川崎市市民ミュージアム紀要第28集』

川崎市市民ミュージアム紀要は、考古・歴史・民俗・美術文芸・グラフィック・写真・漫画・映画・ビデオ及び施設運営・管理などに関する論文・資料紹介から構成し、ミュージアム職員の日頃の調査研究の成果を発表したものである。

[内 容]

- 資料紹介 新収蔵品 まど・みちお晩年のドローイング—その概要と特質— 吉川貴子
- 鏡と映像についての一考察—「鏡—Reflected Images」展より 山田渉
- 事業報告 川崎市市民ミュージアムにおけるボランティア活動 鈴木恵梨子・八木原美佳（伊勢半本店

紅ミュージアム)

- 「領」の変質と展開—東海道川崎宿助郷運営の有り方から— 佐藤友理

職員の派遣

(1) 博物館

- 5月6日 中原区役所まちづくり推進部「歴史シンポジウム」講師（室長）
- 7月14日 かわさき市民アカデミー「川崎の民俗芸能」講師（民俗担当）
- 7月22日 幸区日吉分館「中原街道の歴史」講師（室長）
- 7月23日 東海道川崎宿「麦藁細工」講師（民俗担当）
- 9月17日 かながわ考古学同好会「考古学講座」講師（考古担当）
- 10月23日 麻生区岡上分館「明治20年代の字限図について」講師（室長）
- 11月1日 多摩市民館「多摩区の民間信仰」講師（民俗担当）
- 11月13日 川崎産業ミュージアム講座「川崎駅周辺の変遷」講師（室長）
- 11月21日 中原区役所まちづくり推進部「川崎の街道」講師（室長）
- 11月28日 草加市教育委員会「草加郷土学 旅人と草加宿」講師（歴史担当）
- 平成28年1月23日 中原区役所まちづくり推進部「川崎市誕生と市域の形成」講師（室長）
- 4月1日～平成28年3月31日 東海道かわさき宿交流館運営委員 委嘱（室長）

(2) 美術館

- 4月1日～3月31日(5回) 川崎市アートセンター アルテリオ上映企画委員会（映画担当）
- 10月9日 なかはらフォトコンテスト審査
- 10月30日 東京国立近代美術館フィルムセンター BDC プロジェクト事業者選定委員会（映画担当）
- 11月7日、12月13日 岡本太郎と中村正義・東京展（川崎市岡本太郎美術館）ギャラリートーク
- 11月14日 なかはらフォトコンテスト表彰式参加ならびに講評
- 12月1日～平成28年3月31日 〈原爆と銀幕〉上映実行委員会（映画担当）
- 12月11日 東京国立近代美術館作品購入等選考委員会
- 12月20日 犬塚勉展（高崎市美術館）での対談
- 12月24日、平成28年2月23日 「映画に関する映像データの長期保存と活用を目的とした自由度の高い持続可能なシステム構築のための調査研究」合同会議（映画担当）
- 平成28年3月5日～6日 〈デジタルシネマ時代における小規模映画の上映形式の研究〉シンポジウム実行委員会（映画担当）

- 平成28年3月10日 多摩市民館市民ギャラリー展示指導
- 平成28年3月28日 東京国立近代美術館収集購入委員会
- 平成28年3月30日～31日 ミュシャ展（長崎県美術館）

教育・普及

1 教育普及

学校や地域との連携を図るとともに、市民ミュージアムを身近に感じ活用してもらえよう事業を展開する。また、子育て支援事業としてのママカフェの実施やボランティア活動の組織化、及びその拡充を図る中でボランティアスタッフと共に事業を推進している。

(1) スクールプログラム

市民ミュージアムの特性を活かし、市内の小・中・高等学校の児童生徒等を対象とし、学校での学習単元や社会体験に沿ったプログラムを学校等の教育機関と市民ミュージアムが協働して実施するプログラムである。

◎社会科教育推進事業

川崎市の公立小学校4年生を対象に、江戸時代に作られた二ヶ領用水の歴史と役割、当時の生活について学ぶプログラムである。各学校への参加希望調査と年間の日程を調整し、学校と市民ミュージアム間の送迎を行った。

日 程：9月2日～平成28年3月1日（43日間）

場 所：ガイダンスルーム、逍遙展示空間、博物館
展示室

講 師：教育普及担当

参加校：70校

参加人数：7,917名（児童7,515名 引率教員402名）

バス借上げ：136台

◎「くらしの道具 いま・むかし」学校見学

市内小学校の3年生を対象に、学校のカリキュラム「昔の道具とくらし」にあわせ、暮らしの道具の移り変わりを学ぶプログラム。企画展に団体で受入れ、解説等を行った。

日 程：平成28年1月26日～3月3日

参加校：17校（1,941名）

◎博物館・美術館・総合学習プログラム

教育普及担当や学芸員の解説をつけた館及びバックヤード見学、民俗・考古・歴史の常設展示・企画展示の見学、アートギャラリー展、企画展の鑑賞、体験プログラム

日 程：通年

場 所：企画展示室1・2、体験学習室、バックヤード、研修室、常設展、アートギャラリー

対 象：小学生～大学生

講 師：教育普及担当、担当学芸員

参加校：24校（607名）

◎出張プログラム

学芸員が学校・学校周辺遺跡等に出向いて、学校の要望に沿ったプログラムを行った。

○「実物資料で学ぶ昔の歴史」

日 程：4月14日

対 象：久地小学校 175名

○「実物資料で学ぶ昔の歴史」

日 程：4月16日

対 象：高津小学校 176名

○「実物資料で学ぶ昔の歴史」

日 程：4月17日

対 象：新城小学校 127名

○「実物資料で学ぶ昔の歴史」

日 程：4月23日

対 象：東高津小学校 159名

○「実物資料で学ぶ昔の歴史」

日 程：4月28日

対 象：大谷戸小学校 213名

○「江戸時代の旅」

日 程：8月25日

対 象：新城小学校 126名

◎職業体験

博物館についてのガイダンス、館内見学、学芸員の仕事などを体験した。

日 程：通年

対 象：主に市内の中学2年生

講 師：教育普及担当、担当学芸員

参加校：27校（114名）

◎学校連携展覧会

○第64回川崎市中学校理科作品展

主 催：川崎市立中学校教育研究会理科部会、川崎市市民ミュージアム

会 期：9月12日～9月20日

場 所：ミュージアムギャラリー

入 場 者：898名

○第58回創造する子ども展

主 催：川崎市教育委員会、川崎市造形教育連合会、川崎市市民ミュージアム

会 期：11月11日～11月17日

場 所：企画展示室2

来 場 者：2,968名

- 第49回川崎市立中学校造形展
主 催：川崎市教育委員会、川崎市立中学校教育研究会美術科部会、川崎市市民ミュージアム
会 期：11月20日～11月26日
場 所：企画展示室2
来 場 者：859名

◎大学連携

大学など専門的な高等教育機関と連携し、学生が活躍する場を提供する。

- アートツールキャラバン
横浜国立大学の教育人間科学部美術教育ゼミナールが開発したアートツールを使用した造形ワークショップを開催した。
日 程：11月14日・11月15日
場 所：逍遥展示空間
講 師：横浜国立大学教育人間科学部A Eゼミ
参加人数：400名
- 渡辺豊重展ワークショップ
「見て・触って・“かたち”を自由に表現しよう」
東海大学課程資格教育センターと連携し、企画展「渡辺豊重展」に合わせたワークショップを開催した。
日 程：4月26日・5月3日・5月4日・5月17日・6月7日・6月21日
場 所：逍遥展示空間
講 師：東海大学課程資格教育センター
参加費：500円
参加人数：135名

◎ABC-アート・ブック・クラブ

中高生を対象とし、市民ミュージアムの収蔵分野の技法を使った、本を制作するワークショップ。平成27年度は、麻生中学校美術部生徒を対象として、写真を題材とした本制作のワークショップを行った。

- 参加者：麻生中学校美術部生徒
参加人数：23名
- 第1回 オリエンテーション
日 程：7月9日
会 場：麻生中学校 美術室
講 師：笹川アツコ（ブックデザイナー）、前沢知子（美術家）
- 第2回 写真ワークショップI
日 程：7月30日
会 場：体験学習室等
講 師：前沢知子（美術家）、担当学芸員
- 第3回 製本ワークショップI

- 日 程：7月31日
会 場：体験学習室等
講 師：笹川アツコ（ブックデザイナー）

- 第4回 製本ワークショップII
日 程：9月29日
会 場：麻生中学校 美術室
講 師：笹川アツコ（ブックデザイナー）
- 第5回 写真ワークショップII
日 程：9月30日
会 場：麻生中学校 美術室
講 師：前沢知子（美術家）

(2) 子育て支援

◎ママカフェ

幼いころから博物館・美術館に足を運び、文化に親しみを持てるような場を提供する。子育て中の親同士が気軽に集まり、情報を提供・収集する場として活用された。

- 日 程：第1・第3木曜日 延べ23日
場 所：ラウンジ
対 象：乳幼児～未就学児25組
参加人数：親子137組 277名
見守りのボランティアスタッフ：14名

◎ベビーカーツアー

乳幼児がいる保護者の来館を促し、幼児が文化芸術に触れる機会を作ることを目的として実施。展示解説と親子で自由見学できるワークシートを用意し実施した。

- 日 程：通年、企画展ごと計7回実施
場 所：企画展示室1・2
対 象：乳幼児～未就学児の親子6組
参加人数：親子33組 70名
見守りのボランティアスタッフ：14名

(3) ミュージアムプログラム

ミュージアムの収蔵品や展示、研究内容を反映した様々なプログラムを実施し、広く市民に還元する普及活動を行った。

◎博物館プログラム

○古文書講座

はじめて古文書を読む人のための4回連続入門講座。古文書を読んで、川崎市の歴史について学んだ。

- 第1回「人別送り状」
日 程：7月2日
- 第2回「六郷の渡し」
日 程：7月9日

第3回「中原街道をめぐる裁判」

日 程：7月16日

第4回「欠落人の相続」

日 程：7月23日

場 所：中原図書館多目的室、第2研修室

講 師：担当学芸員

参加料：1,000円

参加人数：29名 延べ112名

○ミュージアム歴史散策「初山・菅生を歩く」

江戸時代の絵図を片手に、旧・下菅生村（現・宮前区菅生）を歩いた。

日 程：10月24日

講 師：担当学芸員

参加料：500円

参加人数：12名

○ミュージアム遺跡めぐり「武蔵国府と熊野神社古墳を歩く」

府中市の中心街にある武蔵国府の遺跡と終末期古墳として有名な熊野神社古墳をめぐった。

日 程：平成28年2月27日

講 師：担当学芸員

参加料：500円

参加人数：14名

○かわさき歴史点描

「池上幸豊と新田開発」

江戸時代後期に、川崎の沿岸地域の埋め立て新田開発を行った、池上幸豊の業績について紹介した。

日 程：9月20日

講 師：担当学芸員

参加人数：23名

「東海道と川崎宿」

東海道の歴史と川崎宿の様子を紹介した。

日 程：3月19日

講 師：担当学芸員

参加人数：24名

◎美術館プログラム

○アートギャラリー第1期ワークショップ「光学パラ パラ マンガで人を走らせよう さかさまにね！」

プラスチック製フィルムに漫画を描き、スライドプロジェクターで投影することで短いアニメーション制作するワークショップを開催した。

日 程：5月5日

場 所：逍遥展示空間

講 師：松田水緒（イラストレーター）

参加料：300円

参加人数：6名

○アートギャラリー第2期ワークショップ「水面に自分を映してセルフレポートを撮ってみよう」

ゆらめく水面に映る自分の顔を撮影しながら、反射した光を捉えるワークショップを開催した。

日 程：10月24日

場 所：体験学習室

講 師：南條敏之（写真家）

参加人数：6名

○アートギャラリー第3期関連イベント「対話型鑑賞会」

アートギャラリーに展示されている作品などを用い、複数の人と対話をしながら芸術作品の理解を深めていく美術鑑賞会を開催した。

日 程：平成28年3月27日

場 所：アートギャラリー

協 力：アート・コミュニケータ東京

参加人数：17名

◎福祉プログラム

○高齢者福祉プログラム「回想法プログラム」

職員を対象に回想法に用いることのできるツールに関するレクチャーを行った。

日 程：6月25日

場 所：第1研修室

講 師：野村豊子氏（日本福祉大学教授）

参加人数：6名

○高齢者福祉プログラム「地域で元気に暮らす回想法体験講座」

地域の高齢者福祉に関わる方や回想法に関心のある方を対象とし、館収蔵の資料を活用した回想法を行うためのツール開発につながる回想法体験講座（連続講座）を実施した。

第1回 講義「地域における回想法について：何が期待されるのか」、実践「個人回想法」

日 程：平成28年1月27日

第2回 講義「グループ回想法の基本1」、実践「グループ回想法」

日 程：平成28年2月24日

第3回 講義「グループ回想法の基本2」、実践「グループ回想法」

日 程：平成28年3月23日
講 師：野村豊子氏（日本福祉大学教授）
野中恭子氏（介護支援専門員・介護福祉士）
協 力：株式会社ケアネット川崎サービスセンター
場 所：第3研修室、ミュージアムギャラリー
参 加 料：無料
参加人数：延べ94名

○障がい者福祉プログラム「視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ@川崎市市民ミュージアムミュージアム」

視覚に障がいがある人とない人でグループを作り、対話をしながら常設オブジェを鑑賞するプログラムを実施した。

日 程：平成28年3月13日
場 所：第2研修室、アートギャラリー
講 師：視覚障害者とつくる美術鑑賞ワークショップ
参加人数：16名

◎夏休みこどもミュージアム

○ミニ縄文土器づくりワークショップ

本市出土の縄文土器見学後、粘土、竹などを使用して縄文土器を制作した。

日 程：8月1日、8月2日（午前・午後）
場 所：体験学習室
講 師：担当学芸員
参 加 料：500円
参加人数：延べ49名

○水面に映る花火を作ろう！

床に大きく広げた透明のシートを多摩川に見立て、そこに映り込んだ花火を描き、作品を逍遥展示空間に吊るし、展示した。

日 程：8月16日
場 所：逍遥展示空間
講 師：中島崇（現代美術作家）
参 加 料：500円
参加人数：12名

◎ミュージアム講座

ミュージアムの収蔵品や展示、研究内容等をテーマに、学芸員による講座を開催した。

日程・内容・講師：
10月7日 「上映形態の変遷－フィルムとデジタルシネマ」（森宗厚子学芸員）7名
11月22日 「まど・みちおの絵」（深川雅文学芸員）9名

12月12日 「日本近代漫画の成立－明治から大正までの漫画雑誌を中心に」（磯山浩美学芸員）8名

平成28年1月23日 「近現代美術における色彩」吉川貴子学芸員 9名

平成28年2月6日 「『帝国』の中の川崎－地域から見た昭和期日本の経済再編」（北野剛学芸員）9名

平成28年3月12日 「小正月のつくりもの」（村山翠学芸員）10名

場 所：第2研修室

参 加 料：無料

参加人数：延べ52名

◎その他

○学芸員によるミュージアム探検ツアー

普段は一般の方が入ることができないバックヤードを中心に学芸員が解説を行った。

日 程：9月20日・21日・22日・23日

講 師：担当学芸員

参 加 料：無料

参加人数：延べ31名

○手作りメガネで3Dの世界を体験しよう

不思議なオリジナルメガネをつくって、立体の世界を体験するワークショップを実施した。

日 程：9月21日

講 師：教育普及担当

参 加 料：無料

参加人数：42名

◎アトリエ一般開放

版画の普及を目指し、シルクスクリーンとリトグラフで制作活動をしている人を対象に、アトリエを一般開放し、市民活動の場を提供する事業を平成25年度から開始した。一般開放日にはアトリエ指導員が常駐し、利用者のサポートやプレス機・感光機等のメンテナンスを行った。また、指導員は初心者対象講座の講師も務めた。指導員には、制作活動支援を目的に若手版画家を起用し、アトリエを自主制作の場として提供した。年度末には、ミュージアムギャラリーで指導員の成果発表となる展覧会を開催した。

【一般開放】

日 程：4月～平成28年3月の毎週日曜日 計44日／88コマ

午前の部 10:00～13:00、午後の部 13:30～

16:30

場 所：アトリエ

指 導 員：竹内佳奈（リトグラフ）、畠山美樹（シルクスクリーン）

利用料：1コマ1,300円

利用人数：延べ158名

【初心者対象講座】

○「リトグラフ初心者のための2日間連続講座」

日 程：6月20日・21日

場 所：アトリエ

講 師：竹内佳奈

参加料：3,000円

参加人数：9名

○「シルクスクリーン初心者のための2日間連続講座」

日 程：6月27日・28日

場 所：アトリエ

講 師：畠山美樹

参加料：3,000円

参加人数：10名

【成果発表展】

○第3回版画アトリエ一般開放アトリエ指導員2人展

「空想の展望」

会 期：平成28年3月5日～27日

会 場：ミュージアムギャラリー1

観 覧 料：無料

○オープスタジオ&アーティスト・トーク

日 程：平成28年3月26日

会 場：ミュージアムギャラリー1、アトリエ

参加人数：12名

(4) さまざまな団体と新たな連携

◎地域連携事業

川崎市内の市民団体「川崎おやじ連」と市民ミュージアムの連携事業を実施した。（平成27年度は中原区「学びの場を核とした青少年参加型地域コミュニティ創造事業」に位置付け実施した。）

主催：川崎おやじ連

共催：川崎市市民ミュージアム、中原区役所

○おやじ de ミュージアム

各団体が、昔ながらの遊びや工作を体験できるブースを出店し、子どもから大人まで誰でも参加できるイベントを実施した。

日 程：7月18日

場 所：逍遥展示空間

講 師：おやじ考、いたか、しらはた21、ま・いい会、おいでよ会、川崎パパ塾から34名

参加人数：229名

○お正月 de ミュージアム

凧や羽子板作りなどのお正月の遊びや工作を体験できるイベントを実施した。

日 程：平成28年1月10日

場 所：逍遥展示空間他

講 師：おやじ考、いたか、しらはた21、ま・いい会、おいでよ会、川崎パパ塾から29名

参加人数：332名

◎ワンミニットムービー 冒険物語をつくろう

小学生を対象として、タブレット端末を活用した1分間の映画制作ワークショップを一般社団法人日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアムと連携して実施した。

主 催：一般社団法人 日本脚本アーカイブズ推進コンソーシアム

共 催：川崎市市民ミュージアム、株式会社教育と探求社

日 催：8月22日・8月23日・10月12日・平成28年1月17日

会 場：映像ホール、ミニホール、逍遥展示空間

参加人数：各回20名、延べ80名

(5) ボランティア活動

ミュージアムとの協働により、ミュージアムの事業をサポートするとともに、ボランティアが主体となる自主活動を企画し実施した。

◎スクールプログラムサポート

社会科教育推進事業をはじめとした、スクールプログラムで来館する児童の見学時のサポートを行った。

全74回

活動参加人数：124名（登録者数31名）

◎イベントサポート

ミュージアム主催のイベント、ワークショップや講座等のサポートを行った。

全35回

活動参加人数：77名（登録者数34名）

◎チャイルドサポート

ママカフェ、ベビーカーツアーのサポートを行った。ママカフェは毎月第1・3木曜日、ベビーカーツアーは企画展ごとに実施した。

全 31 回

活動参加人数：61 名（登録者数 14 名）

◎展示ガイド（博物館展示室みどころガイド）

博物館展示室の常設の収蔵品についてのガイドを行った。毎月第 2・4 日曜日に実施した。

全 60 回

活動参加人数：60 名（登録者数 18 名）

◎展示ガイド（アートみどころガイド）

常設オブジェとアートギャラリーについてのガイドを行った。毎月第 1・3・5 日曜日に実施した。

全 71 回

活動参加人数：71 名（登録者数 14 名）

◎ワークショップ

ミュージアムの収蔵品や展示に関連したワークショップを館内と川崎市立川崎病院で実施した。

全 13 回

活動参加人数：74 名（登録者数 27 名）

◎企画・運営

ボランティア主体となった企画の提案や運営を行った。

全 12 回

活動参加人数：81 名（登録者数 16 名）

◎ボランティア募集

前年度 3 月から新規ボランティアの募集を行い、27 名が新規に登録した。

ボランティアスタッフ登録人数 80 名（平成 28 年 3 月 31 日現在）

◎研修、その他

○ボランティア研修

「新規ボランティア研修」、「グループ別研修」、「フォローアップ研修」のほか「他館見学研修」を実施した。

○ボランティアデー

展示ガイドやワークショップ等のボランティア活動を 1 日で体験できるイベントを実施した。また、ランチタイムミニコンサートとして、平間中学校、大西学園中学・高等学校吹奏楽部のコンサートを中庭で開催した。

日 程：10月18日

場 所：逍遥展示空間他

参加人数：223 名

ボランティア参加人数：37 名

○ごえん楽市（かわさきボランティア・市民活動フェア）

（公財）かわさき市民活動センター主催のごえん楽市に出展し、パネル展示とワークショップを実施した。

日 程：平成28年1月30日

場 所：中原市民館、かわさき市民活動センター
ボランティア参加人数：11 名

○ボランティア対象内覧会

ミュージアム主催企画展の内覧会を、友の会と合同で実施した。

2 実習生の受け入れ

(1) 博物館担当

◎館内実習

9月1日～9月12日

大正大学 1 名

青山学院大学 1 名

日本大学 1 名

専修大学 1 名

鶴見大学 1 名

国士舘大学 1 名

(2) 美術館担当

◎館内実習

7月28日～8月8日

女子美術大学 1 名

武蔵野美術大学 1 名

東京学芸大学 1 名

立命館大学大学院 1 名

日本女子大学 1 名

多摩美術大学大学院 1 名

3 イベント

逍遥展示空間でのコンサート等、来館者が気軽に参加したり、楽しんだりできるイベントを開催し、市民ミュージアムの活動をより広い層に紹介している。

◎プロムナードコンサート

来館者が展示を鑑賞する合間に気軽に楽しんでもらうコンサート。

○クリスマスコンサート

日 程：12月19日

会場：逍遙展示空間
出演：Les Vents Japonais (レ ヴァン ジャポネ)
林 愛実 / フルート
中島 恵 / オーボエ
川越 あさみ / クラリネット
佐々木 歩美 / ホルン
松尾 純 / ファゴット

参加人数：120 名

4 広報活動

市民ミュージアムの活動を市民の方々に理解していただくため、また、市民ミュージアムで開催される催し物をより多くの人に認知していただき来館していただくための活動を行っている。

(1) 定期刊行物の作成と配布

下記の刊行物を市内の市民館、図書館、文化施設、情報プラザ、学校関係等および市外の類似施設、マスコミ関係等に配布した。

○『ミュージアムニュース 94号・95号・96号』

〔仕様〕A4判 8ページ

〔発行〕年3回 各5,000部発行

○『ミュージアムカレンダー・年間スケジュール』

〔仕様〕524×297mm 6ツ折

〔発行〕カレンダー：年6回 各20,000部発行

年間スケジュール：25,000部発行

(2) マスコミへの情報提供

新聞・雑誌・テレビなどのマスコミで紹介されることによる広報効果は非常に大きく、各種媒体との継続的で良好な関係を維持することは重要である。市民ミュージアムでのさまざまな企画事業を紹介するため300～350社に対して継続的にプレスリリースを行っている。

(3) 企画展等の広報

各種企画事業のうち、企画展や企画上映など規模の大きな事業に関しては、3ヶ月程前から広報計画を立て、各担当者と協力して広報活動を行っている。

ポスター、チラシの配布先も事業の内容に合わせて、その都度調整している。それぞれの事業に関しては、各種媒体に掲載された記事を整理し、報告書を作成し、以後の事業の展開および効果的な広報活動の実施に役立て

ている。

その他に、川崎市と連携した広報活動や、館内外の広報掲示板の管理を行う等、地域に根ざした広報を心がけている。

(4) ホームページ・SNSの運用

ホームページ・SNSを利用し、展覧会・イベント情報等を迅速に情報発信している。

また、ホームページについてはイベント申し込みにも活用するなど、利用者にとってより使い易いものとなるような運用を行っている。

5 友の会

友の会は、市民ミュージアムの事業に協力し、地域の文化・芸術の振興を図る団体で、総務部、企画部、広報部の3つの部と4つの学習部会で構成されている。

友の会役員と市民ミュージアム職員による連絡会を毎月1回開催し、課題や今後のあり方について検討を重ねた。

正会員78名、賛助会員1名（平成28年3月31日現在）

(1) 会議

◎総会

日 程：5月16日

場 所：ガイダンスルーム

議 案：平成26年度活動報告、平成26年度決算報告及び会計監査報告、平成27年度活動計画並びに平成27年度予算など

◎役員会

例 会：毎月第4土曜日

場 所：活動普及室

出席者：会長、副会長、会計、会計監査並びに総務部、企画部、広報部及び学習部会（古文書講読・写真・映像・版画）の代表者

(2) 活動報告

◎総務部

発送業務、ミュージアム主催のビデオ上映会への協力、会費納入管理、会員の募集・PR業務、会員に対する諸通知の管理などの庶務事項一般を担当した。

◎企画部

企画展への参加呼びかけ、他館見学、歩いて学ぶ会を企画・実施した。

○他館見学

日 程：8月28日

内 容：横浜開港資料館見学

日 程：平成28年2月6日

内 容：柿生郷土資料館見学

○歩いて学ぶ会

日 程：11月13日

内 容：上野恩賜公園史跡散策

◎広報部

会報「友の会」を年2回及び月刊「友の会だより」を発行した。また、友の会WEB（ホームページ）を運営した。

(3) 学習部会

◎歴史部会（古文書を読む会）

例会日：毎月第4水曜日

会 場：市民活動センター他

会員数：8名

内 容：当地の地方古文書等を購読し、会員相互で議論を行った。

◎写真部会

例会日：毎月第3日曜日

会 場：活動普及室他

会員数：5名

内 容：会員が撮影した作品の鑑賞、情報交換、写真展見学、撮影会を開催した。

◎映像部会

例会日：毎月第3木曜日

会 場：ミニホール

会員数：6名

内 容：「映像で学ぶ日本の歴史と文化」を主題としたビデオ観賞会の企画・開催と意見交換を行った。

◎版画部会

例会日：毎月第1土曜日、第2・4金曜日、第3水曜日

会 場：アトリエ

会員数：7名

内 容：シルクスクリーン版画と銅版画の制作を行った。

資料

川崎市市民ミュージアム条例

昭和62年12月22日
条例第45号

(目的及び設置)

第1条 考古、歴史、民俗、美術、映像等に関する資料及び作品について収集、展示、調査研究等を行うこと等により、市民の観覧、学習、研究等に資するとともに市民相互の交流を推進し、もって市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、川崎市市民ミュージアム(以下「市民ミュージアム」という。)を設置する。

(位置)

第2条 市民ミュージアムの位置は、川崎市中原区等々力1番2号とする。

(事業)

- 第3条 市民ミュージアムは、おおむね次の事業を行う。
- (1) 考古、歴史、民俗、絵画、工芸、漫画、写真、ポスター、映像等に係る実物、複製、模型等の資料及び作品(以下「資料等」という。)の収集、保管、展示等を行うこと。
 - (2) 資料等に関する講座、講演会、映写会、研究会等を開催すること。
 - (3) 資料等に関する説明及び助言を行うこと。
 - (4) 市民の文化活動の助長、奨励及び指導を行うこと。
 - (5) 資料等に関する専門的及び技術的な調査研究並びに解説書、目録、年報、調査研究報告書等の作成及び頒布を行うこと。
 - (6) 博物館、図書館、学校、研究所その他の関係機関と協力し、刊行物及び情報の交換、資料等の相互貸借等を行うこと。
 - (7) 施設及び設備(以下「施設等」という。)を利用に供すること。

(職員)

第4条 市民ミュージアムに館長その他必要な職員を置く。

(利用時間及び休館日)

第5条 市民ミュージアムの利用時間及び休館日は、次のとおりとする。ただし、市長は、必要と認めるときは、利用時間を変更し、又は臨時に開館し、若しくは休館することができる。

利用時間	午前9時30分から午後5時まで
休館日	(1) 月曜日(国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「休日」という。)を除く。) (2) 休日の翌日(土曜日、日曜日及び休日を除く。) (3) 12月29日から翌年の1月3日までの日(前2号に掲げる日を除く。)

(観覧料)

第6条 市民ミュージアムが行う企画展(以下「企画展」という。)の展示会場へ入場しようとする者は、別表第1

に定める観覧料を納付しなければならない。

(特別利用)

- 第7条 資料等について熟覧、模写、模造、拓本、撮影及び原板使用(以下「特別利用」という。)をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。
- 2 前項の許可を受けた者は、別表第2に定める区分に応じ同表に定める特別利用料を納付しなければならない。
 - 3 前項の特別利用料は、許可と同時に納付しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。
 - 4 市長は、第1項の許可を受けた者がその条件に違反したとき、又は違反するおそれがあるとき、その他市長が管理上支障があると認めるときは、当該許可を取り消し、又は特別利用を制限し、若しくは停止することができる。

(施設等の利用許可)

第8条 別表第3に掲げる市民ミュージアムの施設等を利用しようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

(施設等の使用料)

- 第9条 前条の許可を受けた者(以下「施設等利用者」という。)は、別表第3に定める使用料を納付しなければならない。
- 2 前項の使用料は、前納とする。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(施設等の利用許可の制限)

第10条 市長は、管理上支障があるとき、その他施設等の利用を不適当であると認めるときは、第8条の許可をしない。

(施設等の利用許可の取消し等)

- 第11条 市長は、施設等利用者が次の各号のいずれかに該当すると認める場合は、第8条の許可を取り消し、又は施設等の利用を制限し、若しくは停止することができる。
- (1) 利用の目的に反したとき。
 - (2) 秩序を乱し、他人の迷惑となる行為をしたとき。
 - (3) 偽りその他不正な行為により許可を受けたとき。
 - (4) 災害その他の事故により利用できなくなったとき。
 - (5) 工事その他市の事業の執行上やむを得ない理由により利用できなくなったとき。
 - (6) 前各号に定めるもののほか、この条例又はこれに基づく規則に違反したとき。

(施設等の変更禁止)

第12条 施設等利用者は、施設等を利用する場合において、これを模様替えし、又はこれに特別の設備を付設してはならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

(施設等の利用権の譲渡等の禁止)

第13条 施設等利用者は、施設等を利用する権利を第三者に譲渡し、又は転貸してはならない。

(原状回復)

第14条 施設等利用者は、施設等の利用を終了し、又は第8条の許可を取り消され、若しくは施設等の利用を制限さ

れ、若しくは停止されたときは、直ちにその施設等を原状に回復し、又は返還しなければならない。

(取消し等による損害の責任)

第15条 市は、第11条第5号に該当する場合を除き、第8条の許可の取消し又は施設等の利用の制限若しくは停止によって、施設等利用者に生じた損害については、その責めを負わない。

(受講料及び入場料)

第16条 市長は、第3条第2号に規定する事業を行うに当たっては、受講料及び入場料を徴収することができる。
2 前項の受講料及び入場料の額は、市長がその都度定める。

(観覧料等の減免)

第17条 市長は、特に必要があると認めるときは、第6条に規定する観覧料、第7条第2項に規定する特別利用料及び第9条第1項に規定する使用料(以下「観覧料等」という。)を減額し、又は免除することができる。

(観覧料等の還付)

第18条 既納の観覧料等は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(入館等の制限)

第19条 市長は、他人の迷惑となるおそれのある者その他管理上支障があると認められる者については、入館を断り、又は退館させることができる。

(損害の賠償)

第20条 資料等又は施設等を損傷し、又は滅失させた者は、市長の指示に従いこれらを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(協議会)

第21条 市民ミュージアムの円滑な運営を図るため、市民ミュージアムに川崎市市民ミュージアム協議会(以下「協議会」という。)を置く。

- 2 協議会は、市民ミュージアムの運営に関し館長の諮問に応ずるとともに、館長に対して意見を述べるものとする。
- 3 協議会は、委員10人以内をもって組織する。
- 4 委員は、学校教育及び社会教育の関係者、学識経験を有する者並びに市民のうちから、市長が委嘱し、又は任命する。
- 5 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 6 委員は、再任されることができる。
- 7 前各項に定めるもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、市長が定める。

(委任)

第22条 この条例の施行について必要な事項は、規則で定める。
附 則

この条例の施行期日は、市長が定める。(昭和63年10月7日規則第85号で昭和63年11月1日から施行)

附 則 (平成6年10月7日条例第30号)

この条例は、平成6年10月17日から施行する。

附 則 (平成12年12月21日条例第78号)

この条例は、平成13年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年9月30日条例第87号)

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則 (平成18年6月28日条例第53号)

この条例は、平成18年10月1日から施行する。ただし、第5条及び別表第1の改正規定並びに別表第2の次に1表を加える改正規定(展示室及び逍遥展示空間に係る部分に限る。)は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平成21年12月24日条例第47号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成22年4月1日から施行する。

(川崎市スポーツ振興審議会条例等の一部改正に伴う経過措置)

12 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前に教育委員会が行った処分その他の行為で、施行日においてこの条例の附則の規定による改正後の次に掲げる条例の規定により当該行為を行うべきものが市長となるものは、施行日以後においては、市長が行った処分その他の行為とみなす。

(1) 川崎市スポーツ振興審議会条例

(2) 川崎市とどろきアリーナ条例

(3) 川崎市体育館条例

(4) 川崎市スポーツセンター条例

(5) 川崎市武道館条例

(6) 川崎市市民ミュージアム条例

(7) 川崎市岡本太郎美術館条例

(8) 川崎市大山街道ふるさと館条例

別表第1(第6条関係)

1 普通観覧料

企画展の観覧料は、1人につき2,000円の範囲内で市長が企画展ごとに定める。

2 共通利用券

種別	金額
100円券12枚つづり	1,000円
100円券25枚つづり	2,000円

備考 共通利用券は、次に掲げる施設の入場等に利用することができる。ただし、当該各施設への団体(20人以上をいう。)の入場等については、この限りでない。

(1) 市民ミュージアムにおいて市民ミュージアムが行う企画展の展示会場への入場

(2) 川崎市岡本太郎美術館条例(平成11年川崎市条例第25号)に規定する川崎市岡本太郎美術館の常設展又は企画展の展示会場への入場

(3) 川崎市青少年科学館条例(昭和46年川崎市条例第24号)に規定する川崎市青少年科学館のプラネタリウムの一般投影又は特別投影の観覧

(4) 川崎市立日本民家園条例(昭和42年川崎市条例第19号)に規定する川崎市立日本民家園への入園

3 特別入場券

市長は、7,000 円の範囲内で定期券その他の特別入場券を発行することができる。

別表第 2（第 7 条関係）

区 分	単 位	特別利用料
熟 覧	1 点 1 日	200 円
模 写		1,000 円
模 造		1,000 円
拓 本		1,000 円
撮 影	1 点	300 円
原板使用	1 枚	2,000 円

別表第 3（第 8 条、第 9 条関係）

1 施設使用料

種 別	金 額			
	午前 9 時 30 分から午後 0 時 30 分まで	午後 1 時 30 分から午後 5 時まで	午前 9 時 30 分から午後 5 時まで	
ホー ル	映像ホール	7,800 円	9,100 円	16,900 円
	ミニホール	3,000 円	3,500 円	6,500 円
研 修 室	研修室 1	1,200 円	1,400 円	2,600 円
	研修室 2	1,200 円	1,400 円	2,600 円
	研修室 3	1,200 円	1,400 円	2,600 円
展 示 室	企画展示室 1			46,500 円
	企画展示室 2			45,000 円
	アートギャラリー			75,000 円
	多目的ギャラリー 1			9,000 円
	多目的ギャラリー 2			7,500 円
逍遥展示空間		30 分につき		2,300 円

備考

- 土曜日、日曜日及び休日に利用する場合の施設使用料の額は、規定使用料の 2 割増相当額とする。
- ホール、展示室又は逍遥展示空間の利用について入場料を徴収する場合の施設使用料の額は、次の表の入場料金の区分に従い、規定使用料（前項の規定を適用する場合は、同項の規定により算出して得た額）に増額の割合を乗じて得た額とする。

入場料金	増額の割合
1,000 円未満	15 割
1,000 円以上 3,000 円未満	20 割
3,000 円以上	30 割

- 第 5 条ただし書の規定により同条の表に定める利用時間の変更がされた場合で当該変更に係る時間（午後 5 時から午前 9 時 30 分までの時間に限る。）に利用するときの施設使用料の額は、当該利用の許可に係る時間 30 分につき、ホール又は研修室を利用する場合にあっては利用日の午後 1 時 30 分から午後 5 時までの利用時間の区分（以下「午後の区分」という。）の規定使用料（前 2 項の規定を適用する場合は、これらの規定により算出して得た額。以下この項に

おいて同じ。）の 30 分当たりの額の 2 割増相当額（10 円未満の端数は、切り捨てる。）、展示室を利用する場合にあっては利用日の午前 9 時 30 分から午後 5 時までの利用時間の区分の規定使用料の 30 分当たりの額の 2 割増相当額（10 円未満の端数は、切り捨てる。）、逍遥展示空間を利用する場合にあっては規定使用料の 2 割増相当額（10 円未満の端数は、切り捨てる。）とする。

- 午後 0 時 30 分から午後 1 時 30 分までの時間（以下「中間時間」という。）においてホール又は研修室を利用する場合（午前 9 時 30 分から午後 0 時 30 分までの利用時間の区分（以下「午前の区分」という。）又は午後の区分を利用する場合に限る。）の施設使用料の額は、当該利用の許可に係る時間 30 分につき、午前の区分の規定使用料（第 1 項又は第 2 項の規定を適用する場合は、これらの規定により算出して得た額）の 30 分当たりの額とする。ただし、午前の区分と午後の区分の当該 2 区分を引き続き利用する場合の中間時間の施設使用料は、無料とする。

- 設備使用料については、市長が別に定める。

川崎市市民ミュージアム条例施行規則

平成22年3月31日

規則第36号

(趣旨)

第1条 この規則は、川崎市市民ミュージアム条例（昭和62年川崎市条例第45号。以下「条例」という。）の施行について必要な事項を定めるものとする。

(事務の委任)

第2条 次に掲げる事務は、川崎市市民ミュージアム館長（以下「館長」という。）に委任する。

- (1) 条例第7条に規定する特別利用（以下「特別利用」という。）の許可、許可の取消し等に関する事。
- (2) 条例第8条の規定による施設等（条例第3条第7号に規定する施設等をいう。以下同じ。）の利用の許可（以下「利用許可」という。）に関する事。
- (3) 条例第10条の規定による施設等の利用許可の制限に関する事。
- (4) 条例第11条の規定による施設等の利用許可の取消し等に関する事。
- (5) 条例第17条に規定する観覧料等（以下「観覧料等」という。）の減額又は免除に関する事。
- (6) 条例第18条の規定による観覧料等の還付に関する事。
- (7) 条例第19条の規定による入館等の制限に関する事。

(観覧券等の交付)

第3条 館長は、条例第6条の規定による観覧料の納付と引換えに観覧券、共通利用券又は特別入場券を交付するものとする。

(特別入場券)

第4条 市長は、条例別表第1の3の規定により次の特別入場券を発行することができる。

- (1) 定期券
 - (2) 共通入館券
 - (3) 優待券
 - (4) 前売券
- 2 前項の特別入場券を発行する場合及びその額は、その都度市長が定める。

(特別利用の申請等)

第5条 条例第7条第1項の規定により特別利用をしようとする者は、特別利用許可申請書（第1号様式）をあらかじめ館長に提出しなければならない。

- 2 館長は、特別利用を許可したときは、当該申請をした者に特別利用許可書（第2号様式）を交付するものとする。
- 3 館長は、特別利用を許可するときは、次に掲げる条件を付することができる。

- (1) 条例第3条第1号に規定する資料等（以下「資料等」という。）の模写、模造、拓本、撮影若しくは原板使用によって得たもの（以下「模写資料等」という。）を展示し、又は出版物等に掲載するときは、川崎市市民ミュージアム（以下「市民ミュージアム」という。）の所蔵に係るものであることを適切な方法で表示すること。

- (2) 無断で模写資料等の再複製、出版物等への掲載、上映、放送又はこれらに類する行為をしないこと。
- (3) 資料等を撮影したときは当該撮影によって得たフィルム等を、模写資料等を出版物等へ掲載したときは当該出版物等を本市に提供すること。
- (4) その他館長が必要と認める事項

(特別利用の不許可)

第6条 館長は、次に掲げる資料等については、特別利用を許可しない。

- (1) 特別利用によって資料等の保存に影響を及ぼすおそれがあると認めるもの
 - (2) 寄託された資料等で寄託者の同意を得ていないもの
 - (3) 著作権が存する資料等で著作権者等の同意を得ていないもの
 - (4) その他館長が特別利用することを不適当と認めるもの
- 2 特別利用は、館長の指示に従って行わなければならない。

(施設等の利用許可の申請)

第7条 条例第8条の規定により施設等の利用許可を受けようとする者は、施設等利用許可申請書（第3号様式）を館長に提出しなければならない。

(施設等の利用許可の申請期間)

第8条 施設等の利用許可の申請期間は、次に定めるところによる。ただし、館長が特に必要があると認めるときは、この限りでない。

- (1) 企画展示室又はアートギャラリーを利用する場合にあっては、利用日又は利用開始日（連続して利用しようとする場合の最初の日をいう。以下同じ。）の属する年度の前年度の4月1日から利用日の1月前まで申請することができる。
- (2) 映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間を利用する場合にあっては、利用日又は利用開始日の属する月の6月前の月の初日から利用日の14日前まで申請することができる。
- (3) 研修室を利用する場合にあっては、利用日の属する月の6月前の月の初日から利用日の3日前まで申請することができる。
- (4) 前2号の規定にかかわらず、企画展示室又はアートギャラリーの利用と併せて映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー、逍遥展示空間又は研修室を利用する場合にあっては、第1号の規定を準用する。
- (5) 第3号の規定にかかわらず、映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間の利用と併せて研修室を利用する場合にあっては、第2号の規定を準用する。

(施設等利用許可書の交付)

第9条 館長は、施設等の利用許可をしたときは、当該申請をした者に施設等利用許可書（第4号様式）を交付するものとする。

(施設等使用料の納付)

第10条 条例別表第3の1に規定する施設使用料及び同表の2に規定する設備使用料（以下「施設等使用料」という。）は、館長が指定する日までに納付しなければならない。

2 前項の施設等使用料の納付方法は、川崎市金銭会計規則（昭和39年川崎市規則第31号）の定めるところによる。

（設備使用料）

第11条 条例別表第3の2の規定に基づき、市長が定める設備使用料は、別表のとおりとする。

（特別の設備の付設等）

第12条 条例第12条ただし書の規定により施設等を模様替えし、又は特別の設備を付設しようとする者は、特別設備等許可申請書（第5号様式）を市長に提出し、その許可を受けなければならない。

2 前項の申請書は、施設等利用許可申請書と同時に提出しなければならない。

3 施設等の利用許可を受けた者（以下「施設等利用者」という。）が、第1項の許可を受けて施設等を模様替えし、又は特別の設備を付設したときは、利用後直ちに自己の負担においてこれを原状に回復し、又は撤去しなければならない。

（施設等利用中止の届出）

第13条 施設等利用者が、その利用を中止しようとするときは、施設等利用中止届出書（第6号様式）を館長に提出しなければならない。

（利用期間等の制限）

第14条 館長は、施設等の利用の公平を図るため必要があると認めるときは、同一利用者が1月以内に施設等を利用する期間又は回数を制限することができる。

（観覧料等の減免）

第15条 条例第17条の規定により館長が観覧料等を減額し、又は免除することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

（1）観覧料

ア 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校その他これらに準ずる教育施設が教育課程に基づく教育活動として観覧を行う場合 全額

イ 児童福祉法（昭和22年法律第164号）第7条第1項に規定する児童福祉施設が当該施設の活動として観覧を行う場合 全額

ウ 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定による身体障害者手帳、戦傷病者特別援護法（昭和38年法律第168号）第4条第1項又は第2項の規定による戦傷病者手帳、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律（平成6年法律第117号）第2条第3項の規定による被爆者健康手帳、療育手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害と判定された者に対して支給される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定による精神障害者保健福祉手帳等（以下「身体障害者手帳等」という。）の交付を受けている者（これらの者の介護者を含む。）が観覧を行う場合 全額

エ その他館長が特に必要があると認める場合 その都度館長が定める額

（2）特別利用料

ア 市又は国若しくは他の地方公共団体がその事業の用途に供することを目的とする場合 全額

イ 私立の博物館、美術館、図書館、学校、研究所等がその事業の用途に供することを目的とする場合 全額

ウ 専ら学術研究の用途に供することを目的とする場合 全額

エ その他館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が定める額

（3）施設等使用料

ア 市又は国若しくは他の地方公共団体がその事業のために利用する場合 5割相当額

イ 市が構成員となっている協議会、研究会等が主催する行事等のために利用する場合 5割相当額

ウ その他館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が定める額

2 前項第1号の規定による観覧料の減額又は免除を受けようとする場合にあっては観覧料減免申請書（第7号様式）を、前項第2号の規定による特別利用料の減額又は免除を受けようとする場合にあっては特別利用料減免申請書（第8号様式）を、前項第3号の規定による施設等使用料の減額又は免除を受けようとする場合にあっては施設等使用料減免申請書（第9号様式）を、あらかじめ館長に提出しなければならない。ただし、前項第1号ウの場合にあっては、身体障害者手帳等の提示をもって、当該申請書の提出に代えることができる。

（観覧料等の還付）

第16条 条例第18条ただし書の規定により観覧料等を還付することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

（1）災害その他の事故により観覧又は特別利用ができない場合 観覧料又は特別利用料の全額

（2）管理上の必要から入場を禁止し、若しくは制限し、又は特別利用の許可を取り消した場合 観覧料又は特別利用料の全額

（3）条例第11条第4号又は第5号の規定により、館長が利用許可を取り消した場合 施設等使用料の全額

（4）企画展示室又はアートギャラリーの利用者が利用日の6月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額

（5）企画展示室又はアートギャラリーの利用者が利用日の3月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の5割相当額

（6）企画展示室又はアートギャラリーと併せて利用しない場合の映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間の利用者が利用日の1月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額

（7）企画展示室又はアートギャラリーと併せて利用しない場合の映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間の利用者が利用日の14日前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の5割相当額

- (8) 企画展示室、アートギャラリー、映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間と併せて利用しない場合の研修室の利用者が利用日の3日前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額
- (9) 企画展示室又はアートギャラリーと併せて利用する場合の映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー、逍遥展示空間又は研修室の利用者が利用日の6月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額
- (10) 企画展示室又はアートギャラリーと併せて利用する場合の映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー、逍遥展示空間又は研修室の利用者が利用日の3月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の5割相当額
- (11) 映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間と併せて利用する場合の研修室の利用者が利用日の1月前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の全額
- (12) 映像ホール、ミニホール、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間と併せて利用する場合の研修室の利用者が利用日の14日前までに利用中止を届け出た場合 施設等使用料の5割相当額
- (13) 前各号に定めるもののほか、館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が定める額

(遵守事項)

第17条 市民ミュージアムを利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 建物、附属設備又は資料等を汚損若しくは損傷し、又はそれらのおそれのある行為をしないこと。
- (2) 他人に迷惑をかけ、又はそのおそれのある行為をしないこと。
- (3) 展示会場において許可を受けずに、撮影、模写等を行わないこと。
- (4) 所定の場所以外で飲食又は喫煙をしないこと。
- (5) 施設等利用者は、定員を超えて入場させないこと。
- (6) 利用許可された以外の施設等を利用しないこと。
- (7) 所定の場所以外で火気を使用しないこと。
- (8) 危険物又は不潔物を持ち込まないこと。
- (9) 許可を受けずに物品の販売又は飲食の提供をしないこと。
- (10) 前各号に定めるもののほか、館長が指定する事項

(整理員の配置)

第18条 施設等利用者は、市民ミュージアムの利用に際し、市民ミュージアム内外の秩序維持のため必要な整理員を置かなければならない。ただし、館長が必要がないと認める場合は、この限りでない。

(管理上の入室)

第19条 施設等利用者は、管理のために立ち入る係員の入室を拒むことができない。

(損傷等の届出)

第20条 施設等利用者は、施設等を損傷し、又は滅失したときは、文書により速やかに館長に届け出なければならない。

(利用後の点検)

第21条 施設等利用者は、施設等の利用を終了したときは、係

員に報告し、その点検を受けなければならない。

(協議会の会長及び副会長)

第22条 条例第21条の規定に基づく川崎市市民ミュージアム協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長を置く。

- 2 会長及び副会長は、委員の互選とする。
- 3 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。
- 4 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(協議会の会議)

第23条 協議会の会議は、会長が必要に応じて招集する。

- 2 会議は、委員の半数以上の出席がなければ開くことができない。
- 3 議事は、出席委員の過半数で決し、可否同数のときは、会長の決するところによる。
- 4 協議会は、会長が必要であると認めるときは、関係者又は専門的事項について学識経験を有する者の出席を求め、その説明又は意見を聴くことができる。

(委員の委嘱又は任命)

第24条 条例第21条第4項の委員は、次に掲げる者のうちから委嘱し、又は任命する。

- (1) 本市の区域内に設置された学校の教育職員
- (2) 本市の区域内の社会教育関係団体等から推薦された者
- (3) 本市の区域内に住所を有する考古、歴史、民俗、美術、映像等に関する知識及び経験を有する市民
- (4) 学識経験者
 - 2 前項第3号の市民のうちから委嘱される委員は、公募によるものとする。

(協議会の庶務)

第25条 協議会の庶務は、市民ミュージアムにおいて処理する。

(委任)

第26条 この規則の施行について必要な事項は、市民・こども局長が定める。

附 則

(施行期日)

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 川崎市市民ミュージアム協議会規則(平成18年川崎市教育委員会規則第9号)の規定により委嘱され、又は任命された委員で、この規則の施行の際現に在任する委員は、その任期が終了するまでの間、この規則の規定に基づき委嘱され、又は任命されたものとみなす。

別表(第11条関係)

1 映像ホール設備使用料

品名	金額	単位	備考
音響・調光設備	7,000円	1回 1式	操作室内ワイヤレスマイクロホンを除く。
ワイヤレスマイクロホン	1,000円	1回 1本	
アップライトピアノ	2,000円	1回 1台	
16mm映写機	1,000円	1回 1台	固定式、映写室内
映画用スクリーン	500円	1回 1張	

2 逍遥展示空間設備使用料

品名	金額	単位		備考
音響設備	3,000円	1回	1式	ワイヤレスマイクロホンを除く。
ワイヤレスマイクロホン	1,000円	1回	1本	
照明設備	5,000円	1回	1式	ピンスポットライトを除く。
ピンスポットライト	1,000円	1回	1台	
ピアノ	10,000円	1回	1台	ベーゼンドルファー（調律別）
金屏風	1,000円	1回	1双	
山台	200円	1回	1台	
幕類	1,000円	1回	1張	

3 共通設備使用料

品名	金額	単位		備考
レクチャーテーブル	500円	1回	1台	
オーバーヘッドプロジェクター	500円	1回	1台	
16mm映写機	500円	1回	1台	移動式
液晶プロジェクター	500円	1回	1台	
持込器具	100円	1回	1キロワット	

備考

- 本表においては、映像ホール、ミニホール又は研修室の利用にあつては午前9時30分から午後0時30分までの利用時間の区分（以下「午前の区分」という。）、午後1時30分から午後5時までの利用時間の区分（以下「午後の区分」という。）をそれぞれ1回として、企画展示室、アートギャラリー、多目的ギャラリー又は逍遥展示空間の利用にあつては4時間までごとに1回として扱う。
- 映像ホール、ミニホール又は研修室を午後5時から午前9時30分までの時間に利用する場合の設備使用料の額は、4時間までごとに1回として扱う。
- 映像ホール、ミニホール又は研修室を午後0時30分から午後1時30分までの時間（以下「中間時間」という。）において利用する場合の設備使用料の額は、30分につき、午前の区分を単位として利用した場合の規定使用料の30分当たりの額（10円未満の端数は、切り捨てる。）とする。ただし、午前の区分と午後の区分の当該2区分を引き続き利用する場合の中間時間の設備使用料は、無料とする。

企画展一覧（開館～平成26年度）

昭和63年度

- モンパルナスの大冒険 1988.11.1～12.1
- 子ども風土記 12.17～1989.1.16
- グラフィック・パワー展 1.21～2.12
- 岡本かの子の世界展 2.18～3.19
- 写真家・濱谷浩展 3.25～4.23

平成元年度

- リュブリアナ国際ビエンナーレ日本展 4.2～6.11
- 笑いの世界・世界の漫画展 7.8～8.13
- 閻魔登場 8.22～9.24
- TREND'89 現代写真の動向展 9.30～10.22
- アガム展 10.28～12.17
- 写真展 記憶の記念日（よみうり写真大賞10年の歩みから）
1990.1.4～2.12
- 藤ノ木古墳とその時代展 2.27～4.5

平成2年度

- 女性のまなざし－日本とドイツの女性写真家たち－
4.10～4.22
- 昭和のマンガ展 4.28～6.10
- 円鋸勝三 彫刻展 6.20～7.22
- ミュージアムコレクション展 8.4～9.16
- 木簡－古代からのメッセージ－ 10.9～11.12
- －佐藤惣之助生誕百年記念－多彩な惣之助展 11.21～12.24
- 近代芸術の諸相 PART I 1991.1.19～2.24
- 近代芸術の諸相 PART II 3.1～4.14

平成3年度

- 岡本太郎展 4.27～6.23
- 縄文文化の交流展 7.13～8.25
- 道祖神の源流 9.7～10.20
- 色相の詩学展－現代絵画・平面からのメッセージ－
11.2～12.15
- '92ミュージアムコレクション展 1992.1.4～2.23
- アン・リベルテ－現代フランスの写真展－ 3.6～3.29

平成4年度

- 棟方志功展 4.18～6.14
- ネイチャーワールド 動物写真家・岩合光昭の世界展
7.4～8.16
- 版画にみるポップアートとその周辺 8.22～9.27
- 写真展 ルイス・ボルツ法則 10.10～11.23
- オキナワ展 1993.1.10～2.14
- 原田泰治アメリカに行く 3.2～3.28

平成5年度

- TARO萬華鏡 4.24～7.4
- 妖怪展－現代に蘇る百鬼夜行 7.24～8.29

35. ルーアン美術館展 フランス絵画-黄金の19世紀
10.16 ~ 11.14
36. 鳥山明の世界 12.4 ~ 1994.1.30
37. バウハウス-芸術教育の革命と実験- 2.12 ~ 3.27

平成6年度

38. 東海道-東と西の交歓- 4.16 ~ 5.29
39. 岩下哲士 美の世界 6.25 ~ 8.5
40. 「川崎の文化財」展 8.27 ~ 10.10
41. 生誕100年記念 濱田庄司展 10.29 ~ 12.11
42. 「弥生の食」展 1995.1.21 ~ 3.12

平成7年度

43. 安野光雄の世界展 4.22 ~ 6.11
44. 映画生誕100年記念展-シネマの世紀- 7.22 ~ 9.17
45. 海と人生-川崎で海苔が採れた頃- 10.3 ~ 11.12
46. 現代写真の動向1995 ANOTHER REALITY
11.21 ~ 1996.1.28
47. 愛する人々への熱いメッセージ シャガールの傑作版画展
2.10 ~ 4.7

平成8年度

48. アジアの民族造形-衣・食・住・祈り・学び・芸能・遊び-
4.27 ~ 6.16
49. 日本の漫画300年 -日本最大の漫画コレクション- 拳公開-
7.20 ~ 9.8
50. 弘法大師信仰展 10.5 ~ 11.10
51. ドイツ現代写真展 遠・近ベッヒャーの地平
11.24 ~ 1997.1.26
52. マリー・ローランサン展 3.18 ~ 4.15

平成9年度

53. 没後20年 中村正義展 4.26 ~ 6.1
54. 怪獣ミュージアム 開田裕治の世界 [KAIJU ~ガンダム]
7.19 ~ 8.31
55. -現代マンガのパイオニア-没後50年岡本一平展
9.20 ~ 11.3
56. バウハウスの写真 11.20 ~ 1998.2.1
57. 世紀末芸術の華
オーブリー・ピアズリー展 2.21 ~ 4.5

平成10年度

58. -写生・下絵を中心とした- 安田靉彦展 4.11 ~ 5.24
59. 少女まんがの世界展-女性作家8人のまなざしと表現-
8.15 ~ 9.27
60. ミュージアムコレクション展 I メディアと大衆
10.3 ~ 11.15
61. ミュージアムコレクション展 II 博物館の眼
11.21 ~ 12.20
62. 大ザビエル展-その生涯と南蛮文化の遺宝-
1999.1.15 ~ 3.14

平成11年度

63. ミュージアムコレクション展 III
芸術都市へ・かわさき 4.24 ~ 6.6
64. 木村伊兵衛写真賞の軌跡 6.20 ~ 8.1
65. ホイッスラーからウォーホールまで
-版画に見るアメリカ美術の100年- 8.14 ~ 9.19
66. アンセル・アダムスの世界 10.26 ~ 12.12
67. 大江戸マルチ人物伝
-池上太郎左衛門幸豊- 2000.2.26 ~ 4.9

平成12年度

68. グラフィック・デザインの本物展
-20世紀・機械時代のグラフィック革命- 4.22 ~ 6.11
69. アニメ黄金時代 7.15 ~ 8.31
70. 縄文の華 9.9 ~ 10.22
71. 陰翳礼賛 フランスの現代写真
-ジャン=クロード・ルマニーの視点- 11.3 ~ 12.17
72. -都市と社会の100年・私たちの暮らし
-新世紀元年1901 / 2001 2001.1.27 ~ 3.25

平成13年度

73. 呪いと占い 4.28 ~ 6.10
74. 偶然の振れ幅 amplitude of chance -
「出来事の成り立ち」を記述する美術- 7.20 ~ 8.26
75. 東海道宿駅制度400年記念
東海道-日本橋、そして川崎宿へ- 9.15 ~ 10.21
76. outer ⇔ inter 現代写真の動向 11.3 ~ 12.24
77. 明治の版画
-岡コレクションを中心に- 2002.2.9 ~ 3.31

平成14年度

78. 森村泰昌写真展 「女優家Mの物語」
~M式ジオラマ(25m)付き~ 4.27 ~ 7.7
79. 明治の面影・フランス人画家ピゴーの世界展 9.7 ~ 10.27
80. 夢幻巡礼 映画美術監督・木村威夫の世界展
11.23 ~ 2003.1.19
81. ポスターのユートピア
ロシア構成主義のグラフィックデザイン 2.15 ~ 4.6

平成15年度

82. 古代を考える I -郡の役所と寺院- 4.19 ~ 6.15
83. フランスコミック・アート展 7.5 ~ 8.31
84. 光の狩人 森山大道1965 - 2003 9.13 ~ 11.3

平成16年度

85. 街角に咲いた芸術
~世紀末フランスの華麗なポスター~ 4.3 ~ 5.30
86. 日本の幻獣-未確認生物出現録- 7.3 ~ 9.5
87. 21世紀の本居宣長-学問・交流・情報- 9.18 ~ 11.7
88. CLAMP 四(Su) MANGAアートは時空(とき)を超える
2005.1.22 ~ 4.10

平成 17 年度

89. 時代を切り開くまなざし－木村伊兵衛写真賞の 30 年
－ 1975 - 2005 4.23 ~ 6.19
90. ロシア民族学博物館アイヌ資料展
－ロシアが見た島国の人びと－ 7.2 ~ 8.28
91. アメリカ展帰国記念 川崎・砂子の里資料館所蔵
浮世絵名品展 9.17 ~ 10.16
92. 大 OH! 水木しげる展 11.19 ~ 2006.1.9
93. メイド・イン・カワサキ展
第 1 部「川崎モノづくり物語」 1.21 ~ 2.26
第 2 部「都市・川崎を創造する－メイド・イン・
カワサキ現代美術賞展－」 3.11 ~ 4.2

平成 18 年度

94. 「弥生・古墳・飛鳥を考える
－古墳の出現とその展開－」 4.29 ~ 6.25
95. 名取洋之助と日本工房 1931 - 1945 7.8 ~ 9.3
96. レイモン・サヴィニャック展 9.16 ~ 11.5
97. 「横山光輝の世界展」 11.18 ~ 2007.1.8
98. みんなのドラえもん展－魅力のひみつ－1.20 ~ 2.25

平成 19 年度

99. 昭和ブギウギ 1945-64 4.21 ~ 6.3
100. 安彦良和原画展「勇者ライディーン」から
「機動戦士ガンダム THE ORIGIN」へ6.16 ~ 8.19
101. こどもの毎日
－みんなこうして大きくなった－ 7.14 ~ 8.19
102. 産業都市・カワサキのあゆみ 100 年 9.1 ~ 10.14
103. 「つわもの」どもの光と影
－稲毛三郎とその時代－ 10.27 ~ 12.9
104. みんなのデザイン
－グッドデザインと私たちの生活－ 10.24 ~ 12.16
105. 斎藤寿一展 青・風・宙の版画 12.23 ~ 2008.1.27
106. 川崎が生んだ世界の人形作家
与勇輝－神様のすみか展 2008.1.12 ~ 2.3
107. 昔の暮らし・今の暮らし 2.9 ~ 3.30
108. 少女マンガパワー！
－つよく・やさしく・うつくしく－ 2.16 ~ 3.30

平成 20 年度

109. オキナワ／カワサキ
－二つの地をつなぐ人と文化－ 4.26 ~ 6.8
110. ブルーノ・ムナーリのアートとあそぼう！
～みてさわってたのしんで～ 7.12 ~ 8.31
111. くらしと着物展 7.19 ~ 8.31
112. 開館 20 周年記念
「人間国宝 濱田庄司」展 10.4 ~ 11.30
113. 開館 20 周年記念「ともに生きる－欲望・矛盾・創造
－都市・自然・人・食・メディア」展 10.23 ~ 12.7
114. 広重「名所江戸百景」の世界
－江戸の人たちの名所感覚－展 12.13 ~ 2009.1.12
115. 複々製に進路をとれ

- 粟津潔 60 年の軌跡 1.24 ~ 3.29
116. 昔の暮らし・今の暮らし 2009 1.27 ~ 4.5
117. 川崎ぐるっと博物館 2008.5.15 ~ 12.7

平成 21 年度

118. 横浜開港 150 周年
幕末明治期の川崎とニッポン 4.18 ~ 6.7
119. 星野富弘展－一枝の花とはいえ－ 6.6 ~ 6.28
120. ハービー山口写真展 ポートレイツ・オブホープ
～この一瞬を永遠に～ 6.20 ~ 8.16
121. サンデー・マガジンの DNA 展 7.18 ~ 9.13
122. 川崎・縄文・1 万年
－大地に刻まれた生活と温暖化－ 8.29 ~ 10.12
123. 灯りの情景展－灯りと人の物語－ 10.24 ~ 2010.1.11
124. 2009 川崎フロンターレ 12.12 ~ 2010.1.11
125. 昔の暮らし今の暮らし 2010
－くらしの道具のうつりかわり－展 1.19 ~ 4.4
126. 第 43 回かわさき市美術展 2.5 ~ 2.27
127. 安田毅彦展－歴史画誕生の軌跡－ 3.13 ~ 4.18

平成 22 年度

128. 横山裕一 ネオ漫画の全記録：
「わたしは時間を描いている」 4.24 ~ 6.20
129. 絵図でめぐる川崎
失われた景観をさぐる展 7.17 ~ 9.5
130. まど・みちお え てん－ある詩人の 100 年の軌跡、
童謡・抽象画・詩－展 8.21 ~ 10.3
131. アイヌ－美を求める心展
AINU - In pursuit of beauty 9.18 ~ 11.7
132. 木村伊兵衛写真賞 35 周年記念展 11.13 ~ 2011.1.10
133. 2010 川崎フロンターレ展 12.11 ~ 2011.1.10
134. 昔の暮らし今の暮らし 2011 1.22 ~ 4.3
135. 第 44 回かわさき市美術展 2.5 ~ 2.26
136. かわさきガラス WORLD2011 3.5 ~ 3.27

平成 23 年度

137. 岩合光昭どうぶつ写真展 4.16 ~ 6.26
138. 実相寺昭雄展－ウルトラマンからオペラ
「魔笛」まで－ 7.16 ~ 9.4
139. ニヶ領用水ものがたり展 7.23 ~ 9.11
140. ユーモアのすすめ 福田繁雄大回顧展 9.17 ~ 11.6
141. 2011 川崎フロンターレ展「挑」 12.10 ~ 2012.1.9
142. 昔の暮らし今暮らし 2012 1.24 ~ 4.1
143. 第 45 回かわさき市美術展 2.18 ~ 3.3
144. 画の道八十年をたどる 結城天童回顧展 3.10 ~ 3.25

平成 24 年度

145. 林忠彦賞 20 回記念写真展 6.2 ~ 6.24
146. 郷土・川崎を掘る
川崎考古学研究所の活動の軌跡 6.30 ~ 8.26
147. 川崎市市民ミュージアム・美術館名品展
“都市と人間のポリフォニー” 7.28 ~ 9.9

148. 中村正義の《顔》展 9.15 ~ 10.14
 149. さわって、ふんで、声かけて！映像神話の現在形
 スタジオ・アッズーロ展—KATARIBE— 9.22 ~ 11.4
 150. 2012 川崎フロンターレ展 “一体感” 12.8 ~ 2013.1.14
 151. 昔の暮らし今の暮らし 2013 1.26 ~ 4.1
 152. 第 46 回かわさき市美術展 2.9 ~ 2.23
 153. 与勇輝展—物語のなかに— 3.2 ~ 3.24

平成 25 年度

154. 受け継がれた文化財「川崎大師の寺宝と信仰」
 「文化財は語る…」 4.20 ~ 6.2
 155. 新世代アーティスト展 in Kawasaki
 セカイがハンテンし、テイク 7.20 ~ 9.29
 156. マンガ・アニメ祭り
 Part1. マンガ+プラス展 7.13 ~ 8.25
 Part2. 夏休みアニメ祭り 7.13 ~ 8.25
 Part3. -アニメ化 40 周年- ルパン三世展 9.7 ~ 11.10
 157. カワサキ・シティ 日本を牽引する街 10.12 ~ 12.15
 158. 2013 川崎フロンターレ展 “Wing” 12.14 ~ 2014.1.13
 159. 昔の暮らし今の暮らし 2014 1.25 ~ 3.30
 160. 第 47 回かわさき市美術展 2.8 ~ 2.22

平成 26 年度

161. 市制 90 周年記念 近代川崎人物伝 6.7 ~ 8.24
 162. 横尾忠則 肖像図鑑 HUMAN ICONS
 6.28 ~ 9.23
 163. いろいろ、そうそう—田中 岑 9.6 ~ 11.3
 164. 日清・日露戦争とメディア 10.4 ~ 11.24
 165. 魔法の美術館 ひかりのたまてばこ
 12.4 ~ 2015.1.12
 166. 第 48 回かわさき市美術展 12.20 ~ 2015.1.11
 167. 2014 川崎フロンターレ展 12.20 ~ 2015.1.12

ギャラリー展示一覧

グラフィックギャラリー（開館～平成 17 年度）

1. アール・ヌーボーとアール・デコのポスター展
 1988.11.1 ~ 1990.3.18
 2. 現代日本のグラフィックデザイナー展 Part I
 3.21 ~ 9.
 3. 現代日本のグラフィックデザイナー展 Part II
 9.12 ~ 1991.3.17
 4. ヨーゼフ・ボイス・ポスター・コレクション
 —造形空間と政治空間—展 3.20 ~ 6.23
 5. 現代日本のグラフィックデザイナー展 Part III
 6.25 ~ 10.27
 6. 色相の詩学展 11.2 ~ 12.15
 7. ホックニー展 12.17 ~ 1992.4.29
 8. アニメーション映画 s 原画展 5.2 ~ 5.31
 9. オリンピックポスター展 6.2 ~ 8.2
 10. クレス・オルデンバーク

- 『手持ちのノート』—展 8.4 ~ 11.29
 11. 色彩・共鳴展 12.1 ~ 1993.2.28
 12. 現代日本のグラフィックデザイナー展 Part IV
 3.2 ~ 8.8
 13. 描かれた時の人 —マリリン、スターリン、
 サラ・ベルナル、そして…
 前期： 8.10 ~ 10.11
 後期： 11.17 ~ 1994.2.6
 14. 粟津 潔展 2.12 ~ 4.10
 15. 田名網敬一〔版画の仕事〕1967-1994 4.15 ~ 6.19
 16. 夏の思い出—Some Views of Summer 展 6.23 ~ 9.11
 17. 世紀末バリの街角展 11.3 ~ 1995.2.12
 18. 旅への誘い—ポスターに見る 100 年間の旅展 2.14 ~ 4.23
 19. HEAR TAND ART・ポップのまなざし
 —ポップ・アートの版画展— 4.25 ~ 7.16
 20. シネマとギャラリー 戦後映画ポスター展示 7.22 ~ 9.17
 21. 芸術の楽しみ—世紀末とアール・デコ時代の展覧会
 ポスターを中心に 9.22 ~ 1996.1.7
 22. 詩によせる想い—3 人の画家と文学 1.9 ~ 4.29
 23. 現代版画の比較鑑賞 抑制と放縦 5.1 ~ 8.18
 24. 劇場への招待—ポスターの中のドラマ— 8.21 ~ 11.17
 25. 向秀男の広告美学（前期・後期） 11.19 ~ 1997.6.8
 26. 無垢なる魂 アトリエ・エレマン・プレザンの作家たち
 8.30 ~ 11.30
 27. オリンピック・ポスター展 12.2 ~ 1998.3.15
 28. 街は紫煙に包まれ…
 世紀末の嗜好品ポスター 3.17 ~ 6.14
 29. コレクション・コレクション 1
 現代版画名品展 6.16 ~ 9.13
 30. コレクション・コレクション 2
 19 世紀ポスター名品展 9.15 ~ 12.20
 31. コレクション・コレクション 3
 20 世紀ポスター名品展 12.22 ~ 1999.4.4
 32. コレクション・コレクション 4
 現代日本のポスター展 4.6 ~ 7.4
 33. アメリカ版画名品展 7.6 ~ 10.17
 34. アール・ヌーヴォーの女性たち 10.19 ~ 2000.1.23
 35. 時代のシンボルマーク 1.25 ~ 4.9
 36. ミュージアムコレクションによる
 「グラフィックデザインのモダニズム」展 4.11 ~ 7.9
 37. 楽しいポスターミュージアム 7.11 ~ 10.22
 38. 木村恒久原画展 10.25 ~ 12.24
 39. コレクションによるホックニーの版画展 2001.1.5 ~ 4.15
 40. 博覧会の時代 4.17 ~ 7.15
 41. 特別企画 没後 100 年記念 ミュージアムコレクション
 に見るロートレックとその時代 7.17 ~ 10.28
 42. カッサンドルとサヴィニャック 10.30 ~ 2002.2.24
 43. デザインの教室
 現代ポスターの表現と効果 2.26 ~ 6.2
 44. 折元立身 グラフィック・アート+オブジェ 6.8 ~ 9.1
 45. 詩によせる想い —ベン・シャーン、コールフィールド、
 ホックニーの挿絵の世界 9.3 ~ 11.17
 46. 夢幻彷徨 木村威夫のイメージ画 11.23 ~ 2003.1.19

47.	革命期のロシア・ポスター	2.7 ~ 4.27	17.	写真展ザ・スタア〜憧れと思ひで〜	2.18 ~ 4.25
48.	色彩の魅力・版画の魅力	5.1 ~ 8.31	18.	街と人の物語	4.28 ~ 7.18
49.	楽しいポスター・ショッピング	9.2 ~ 12.21	19.	自然のイメージ	7.21 ~ 9.26
50.	劇場への招待	12.23 ~ 2004.4.4	20.	都市の歴史空間	9.29 ~ 11.28
51.	街角に咲いた芸術・アメリカとヨーロッパ諸国	4.6 ~ 7.4	21.	同時代の視覚（Ⅰ）田村彰英展	1994.1.19 ~ 4.10
52.	現代日本デザイン 100 選 Japanese Design Today	7.10 ~ 8.1	22.	ヒューマン・リレーションズ	4.16 ~ 6.19
53.	スポーツの祭・展 「オリンピックのポスター展」	8.6 ~ 2005.1.16	23.	ヒューマン・ドキュメント アメリカ 1930~40年代	7.28 ~ 9.11
54.	-シリーズ写真展：現代写真の母型 2005 - サイト・グラフィックス—風景写真の変貌—展	1.20 ~ 4.10	24.	川崎市市制 70 周年記念プロジェクト カワサキ・モニュメント	11.3 ~ 1995.1.16
55.	川崎の美術—川崎を描く／川崎で描く—	2.7 ~ 5.7	25.	濱谷浩の世界（Ⅰ）	1.15 ~ 4.23
56.	つたえる美術—ポスター、写真、マンガの はじめて物語—	7.5 ~ 11.13	26.	パリの記憶	4.26 ~ 7.16
57.	スイス・コミック・アート展	9.16 ~ 12.25	27.	シネマとギャラリー—スタアの肖像展示	7.22 ~ 10.15
58.	毎日国際マンガグランプリ 2005 受賞作品展	2006.1.3 ~ 2.12	28.	満州・シベリア 江成常夫+新正卓 二人展 -戦後50年、二人の写真家があらためて問いかける戦争と日本人の歴史-	10.17 ~ 1996.1.15
59.	第 27 回読売国際	2.18 ~ 4.23	29.	風土往来	1.24 ~ 4.21
60.	WRITING Line LIGHTING Line : 筆跡と光跡	7.11 ~ 2006.1.29	30.	戦後女性写真の展開	4.24 ~ 7.21
			31.	こどもの情景	7.24 ~ 10.27
			32.	写真のタイポロジー -その発現と展開-	10.30 ~ 1997.2.11
			33.	濱谷浩の世界（Ⅱ）	2.19 ~ 6.8
			34.	写真の楽しみⅠ	8.27 ~ 1998.1.11
			35.	写真の楽しみⅡ	1.13 ~ 4.5
			36.	現代英国写真：カラム・コルヴィン作品展 七つの大罪と四終	5.12 ~ 6.28
			37.	写真の楽しみⅢ アメリカの光と影 1930年代~1940年代	7.15 ~ 9.23
			38.	川崎物語 -昭和 30~50年代の川崎	9.30 ~ 1999.3.14
			39.	写真の楽しみⅣ 風土再見	3.27 ~ 5.23
			40.	現代写真の母型 MATRIX OF PHOTOGRAPHY1999 Ⅰ. 金村修	6.1 ~ 7.11
			41.	現代写真の母型 MATRIX OF PHOTOGRAPHY1999 Ⅱ. unit2000/視力	7.20 ~ 8.22
			42.	現代写真の母型 MATRIX OF PHOTOGRAPHY1999 Ⅲ. LIGHT/SPACE -朝岡あかね・安彦さちえ・ハイナー・シリング-	8.31 ~ 10.11
			43.	風景写真の相貌	10.19 ~ 2000.1.16
			44.	現代写真の母型 MATRIX OF PHOTOGRAPHY1999 Ⅳ. 鈴木理策/吉村朗	1.25 ~ 4.9
			45.	ミュージアムコレクションによる 「グラフィック・デザインのモダニズム」展	4.11 ~ 7.9
			46.	こどもの情景	7.12 ~ 10.1
			47.	白岡順写真展「秋の日」	10.11 ~ 2001.2.4
			48.	デジタルプリントでよみがえる笠倉家の乾板写真	2.7 ~ 5.13
			49.	こどもの情景	5.23 ~ 9.30
			50.	PORTRAITS：北島敬三写真展（現代写真家シリーズ： 同時代のまなざしⅢ）	10.23 ~ 2002.2.3
			51.	ヒューマン・イメージ	2.20 ~ 7.17
			52.	新寄贈作品 資料展	2.20 ~ 7.17
			53.	こどもの情景	7.20 ~ 10.14
			54.	宮本隆司写真展 AFTER1995-2002	11.1 ~ 2003.1.19

写真ギャラリー（開館～平成 17 年度）

1.	戦後日本写真の展開（1945 - 1980）	1988.11.3 ~ 1989.5.1
2.	写真発明 150 年記念企画写真と人間Ⅰ （1850 - 1930）	5.3 ~ 8.27
3.	写真発明 150 年記念企画写真と人間Ⅱ （1930 - 1970）	8.30 ~ 1990.2.28
4.	都市の視点—写真と都市・その交感の軌跡—	3.3 ~ 6.22
5.	風土往来	6.26 ~ 9.30
6.	ヒューマン・ドキュメント —アメリカ：1930's—1940's	10.2 ~ 1991.2.3
7.	濱谷浩の地平	2.6 ~ 4.21
8.	特別企画 アデュー、エルスケン展	4.24 ~ 6.30
9.	かたちとイメージ —写真における造形と表現	7.3 ~ 9.29
10.	Matrix of Photography —現代写真の母型 PartⅠ 柴田敏雄展	10.2 ~ 11.17
11.	Matrix of Photography —現代写真の母型 PartⅡ 安田千絵展	11.20 ~ 1992.1.12
12.	Matrix of Photography —現代写真の母型 PartⅢ 伊奈英次・小林のりお・畠山直哉	1.15 ~ 3.1
13.	Matrix of Photography —現代写真の母型 PartⅣ 白岡順展	3.3 ~ 4.12
14.	くらしのフォークロア —日々のドキュメント再訪—	4.15 ~ 7.5
15.	こどもの情景	7.7 ~ 9.6
16.	写真を見る～より深く、より豊かに～展	9.8 ~ 1993.2.14
17.	写真展ザ・スタア〜憧れと思ひで〜	2.18 ~ 4.25
18.	街と人の物語	4.28 ~ 7.18
19.	自然のイメージ	7.21 ~ 9.26
20.	都市の歴史空間	9.29 ~ 11.28
21.	同時代の視覚（Ⅰ）田村彰英展	1994.1.19 ~ 4.10
22.	ヒューマン・リレーションズ	4.16 ~ 6.19
23.	ヒューマン・ドキュメント アメリカ 1930~40年代	7.28 ~ 9.11
24.	川崎市市制 70 周年記念プロジェクト カワサキ・モニュメント	11.3 ~ 1995.1.16
25.	濱谷浩の世界（Ⅰ）	1.15 ~ 4.23
26.	パリの記憶	4.26 ~ 7.16
27.	シネマとギャラリー—スタアの肖像展示	7.22 ~ 10.15
28.	満州・シベリア 江成常夫+新正卓 二人展 -戦後50年、二人の写真家があらためて問いかける戦争と日本人の歴史-	10.17 ~ 1996.1.15
29.	風土往来	1.24 ~ 4.21
30.	戦後女性写真の展開	4.24 ~ 7.21
31.	こどもの情景	7.24 ~ 10.27
32.	写真のタイポロジー -その発現と展開-	10.30 ~ 1997.2.11
33.	濱谷浩の世界（Ⅱ）	2.19 ~ 6.8
34.	写真の楽しみⅠ	8.27 ~ 1998.1.11
35.	写真の楽しみⅡ	1.13 ~ 4.5
36.	現代英国写真：カラム・コルヴィン作品展 七つの大罪と四終	5.12 ~ 6.28
37.	写真の楽しみⅢ アメリカの光と影 1930年代~1940年代	7.15 ~ 9.23
38.	川崎物語 -昭和 30~50年代の川崎	9.30 ~ 1999.3.14
39.	写真の楽しみⅣ 風土再見	3.27 ~ 5.23
40.	現代写真の母型 MATRIX OF PHOTOGRAPHY1999 Ⅰ. 金村修	6.1 ~ 7.11
41.	現代写真の母型 MATRIX OF PHOTOGRAPHY1999 Ⅱ. unit2000/視力	7.20 ~ 8.22
42.	現代写真の母型 MATRIX OF PHOTOGRAPHY1999 Ⅲ. LIGHT/SPACE -朝岡あかね・安彦さちえ・ハイナー・シリング-	8.31 ~ 10.11
43.	風景写真の相貌	10.19 ~ 2000.1.16
44.	現代写真の母型 MATRIX OF PHOTOGRAPHY1999 Ⅳ. 鈴木理策/吉村朗	1.25 ~ 4.9
45.	ミュージアムコレクションによる 「グラフィック・デザインのモダニズム」展	4.11 ~ 7.9
46.	こどもの情景	7.12 ~ 10.1
47.	白岡順写真展「秋の日」	10.11 ~ 2001.2.4
48.	デジタルプリントでよみがえる笠倉家の乾板写真	2.7 ~ 5.13
49.	こどもの情景	5.23 ~ 9.30
50.	PORTRAITS：北島敬三写真展（現代写真家シリーズ： 同時代のまなざしⅢ）	10.23 ~ 2002.2.3
51.	ヒューマン・イメージ	2.20 ~ 7.17
52.	新寄贈作品 資料展	2.20 ~ 7.17
53.	こどもの情景	7.20 ~ 10.14
54.	宮本隆司写真展 AFTER1995-2002	11.1 ~ 2003.1.19

- | | | |
|--|-----------------|----------------|
| 55. ロシア：1905年×1917年 | 2.7～5.11 | 12.2～1998.3.29 |
| 56. 風土往来 | 5.21～8.17 | |
| 57. 南仏写真記録プロジェクト
ニュー・パースペクティブー若き6人の写真家による
南仏風景へ向けられた新たなまなざしー | 8.29～11.24 | |
| 58. 川崎物語ー昭和20年代から40年代の川崎区ー | 12.4～2004.3.31 | |
| 59. パリの記憶 | 4.13～6.13 | |
| 60. 谷岡ヤスジの世界展ー天才キャラクターだもんね！ | 6.15～9.26 | |
| 61. 第10回ロサンゼルス・オリンピック
(1932年)の記録 | 9.30～2005.1.16 | |
| 62. ーシリーズ写真展：現代写真の母型2005
ーサイト・グラフィックスー風景写真の変貌ー展 | 1.20～4.10 | |
| 29. 第19回読売国際漫画大賞展〔一般の部・大賞ー入選の作品〕 | 4.3～5.31 | |
| 30. 第19回読売国際漫画大賞展〔一般の部・佳作、ジュニアの部〕 | 6.5～8.2 | |
| 31. 出版資料に見る少女まんが展 | 8.7～10.11 | |
| 32. いい仕事してますねェ・・・
ーヒトコマ漫画・職人づくしー | 10.13～1999.2.28 | |
| 33. 第20回読売国際漫画大賞展〔前半〕 | 3.2～5.5 | |
| 34. 第20回読売国際漫画大賞展〔後半〕 | 5.7～7.4 | |
| 35. 太平洋戦争前夜の漫画雑誌展 | 7.6～10.31 | |
| 36. 明治ポンチ本の世界展 | 11.2～2000.2.27 | |
| 37. 第21回読売国際漫画大賞展〔前半〕 | 2.29～4.30 | |
| 38. 第21回読売国際漫画大賞展〔後半〕 | 5.2～7.2 | |
| 39. アニメになったマンガ作品 | 7.4～10.9 | |
| 40. 『滑稽新聞』の風刺漫画 | 10.11～2001.2.25 | |
| 41. 第22回読売国際漫画大賞展 | 2.27～5.27 | |
| 42. 楠勝平・つりたくにこ／2人の軌跡
ー新しいマンガ表現にかけた青春ー | 5.29～9.2 | |
| 43. 19世紀フランス人漫画家
ロビタが描いた未来 | 9.4～12.2 | |
| 44. アジアINコミック
ー私たちはどこへ行くのか？ー | 12.4～2002.2.3 | |
| 45. 第23回読売国際漫画大賞展 | 2.5～8.18 | |
| 46. 『ジャパン・パンチ』創刊140年記念
ワーグマンの描いた幕末・明治 | 8.20～10.27 | |
| 47. 上村一夫の世界展 | 10.2～2003.1.26 | |
| 48. 第24回読売国際漫画大賞展 | 2.7～7.13 | |
| 49. 出版資料に見る日仏コミック交流史展 | 7.15～9.7 | |
| 50. 漫画に描かれた日露戦争前夜
ー政治・外交・社会ー | 9.9～2004.2.1 | |
| 51. 第25回読売国際漫画大賞展 | 2.3～4.11 | |
| 52. 19世紀フランスの諷刺とユーモア | 4.13～6.13 | |
| 53. 谷岡ヤスジの世界展
ー天才キャラクターだもんね！ | 6.15～9.26 | |
| 54. 漫画に見る日本のスポーツ史 | 9.30～12.26 | |
| 55. 毎日国際マンガグランプリ2004
受賞作品展 | 2005.1.5～2.6 | |
| 56. 第26回読売国際漫画大賞受賞作品展 | 2.8～4.10 | |

漫画ギャラリー（開館～平成17年度）

- 特別展 手塚治虫の世界 1988.11.1～1989.4.23
- 特別展 藤子不二雄の世界 4.25～9.3
- 現代風俗をえぐった異色の漫画家
富田英三展 9.5～12.3
- はがき漫画展 12.5～1990.1.28
- 似顔絵漫画展 1.30～5.13
- 团团珍聞（まるまるちんぶん）展 5.15～9.16
- 小島功展 9.18～1991.1.20
- ー告発の漫画家ーまるやまふみお展 1.22～5.19
- 近藤日出造展 5.21～9.29
- 『パンチ』に描かれた日本像展 10.1～1992.3.1
- やなせたかしの世界展 3.3～8.30
- 漫画集団60年史展 9.1～1993.3.21
- 明治の風刺画家・田口米作展 3.23～8.15
- 漫画に記録された関東大震災展 8.17～1994.2.27
- 子供漫画の開拓者 新関健之助展 3.1～9.11
- ガロ30（サーティー）
ー伝説を創り続ける漫画雑誌の30年ー 9.15～10.30
- 読売国際漫画大賞傑作選展 11.3～1995.4.23
- 読売国際漫画大賞傑作選展パートII 4.25～7.16
- シネマとギャラリーー映画と漫画展示 7.22～9.17
- 漫画にみる1945年 9.20～1996.2.18
- 漫画にみる1946年 2.20～7.14
- 漫画に記録された東京裁判展
ー清水昆の原画を中心にー 7.20～10.20
- 読売国際漫画大賞傑作選 東アジアの漫画I・中国編
10.22～1997.2.23
- 第18回読売国際漫画大賞受賞作品展覧会 2.25～3.23
- 読売国際漫画大賞受賞作品展覧会 諸国めぐり 3.25～6.8
- 漫画作家 畑中純の挑戦ー豊かな大地と水と人間とー
6.14～8.24
- 一平が育てた弟子たち 8.30～11.30
- 漫画動物園「まったくZOOZOOしいやつらだ」

アートギャラリー（平成18年度～26年度）

- シリーズ・日本のグラフィックデザイナー
亀倉雄策のポスター展 2006.4.25～6.25
- つたえる美術2
見るこども・見られるこども 2006.5.13～9.3
- 第1回「名取洋之助写真賞」受賞作品展
ー清水哲朗「路上少年」・伊原美代子「海女」 7.8～9.3
- 眩暈の装置 松本俊夫をめぐる
インターメディアの鉅脈 9.16～11.26
- 川崎フロンターレ10周年記念展
ーchallenge the futureー 12.9～2007.1.8

- | | | | | | |
|-----|---|-----------------------|-----|---|------------------|
| 6. | individuals - 交差する 4 人 | 1.23 ~ 2.25 | 36. | 幕末明治の浮世絵 | 4.16 ~ 7.3 |
| 7. | 第 27 回読売国際漫画大賞 受賞作品展 | 2.18 ~ 4.23 | 37. | シリーズ・日本のグラフィックデザイナー
福田繁雄と川崎市市民ミュージアム | 7.9 ~ 10.10 |
| 8. | オフ・ストライプス / OFF STRIPES:
縞模様の繊細なる瞬き | 4.21 ~ 7.8 | 38. | 世界初の写真技法ダゲレオタイプ
- 修復と表現 - | 7.9 ~ 10.10 |
| 9. | 「星と宇宙のファンタジー」 | 7.21 ~ 9.24 | 39. | シリーズ・川崎の美術 川崎の 7 人 | 7.9 ~ 10.10 |
| 10. | 映像の現在形 2007
「映像の創出 - イメージと装置」、
「これはこれを撮影するカメラである」、
「私が見ようようにあなたは私を見る」、
「シーイング / ヒアリング / スピーキング」、
「アイ・アム・(ナット)・シーン」 | 10.6 ~ 12.24 | 40. | 岡本太郎生誕 100 年記念 パパは漫画家
- 岡本一平とその芸術 - | 10.15 ~ 2012.1.9 |
| 11. | シリーズ写真展：現代写真の母型 2008
「写真ゲーム - 11 人の新たな写真表現の可能性 -」展 | 2008.1.26 ~ 3.30 | 41. | 岡本太郎生誕 100 年記念 岡本家と大貫晶川
~ 芸術一家のはじまり ~ | 10.15 ~ 2012.1.9 |
| 12. | シリーズ・日本のグラフィックデザイナー
田中一光の華展 | 2007.10.6 ~ 12.2 | 42. | 中田和昭写真展
- 工都川崎と昭和のこどもたち - | 10.15 ~ 2012.1.9 |
| 13. | 川崎フロンターレ展 2007 One for goal! Goal for one! | 12.8 ~ 2008.1.14 | 43. | ラク描キセヨークリエイティヴユニット トーチカの軌跡 | 2.4 ~ 4.1 |
| 14. | [シリーズ写真展：現代写真の母型 2008] 写真ゲーム
- 11 人の新たな写真表現の可能性 - | 2008.1.26 ~ 3.30 | 44. | アール・デコの女性と装飾 | 2.4 ~ 4.1 |
| 15. | 「コレクション・ピックアップ」
学芸員が選ぶ収蔵作品展 | 4.12 ~ 7.13 | 45. | 19 世紀末 ~ 20 世紀前半アメリカ漫画資料展 | 5.29 ~ 7.29 |
| 16. | 「顔」 | 7.19 ~ 11.24 | 46. | ブラウン管時代のビデオアート ~ ネット時代のビデオ | 5.29 ~ 7.29 |
| 17. | 川崎フロンターレ展 2008 With Supporters | 12.7 ~ 2009.1.12 | 47. | シリーズ川崎の美術
田中岑 91 層の色彩 | 5.29 ~ 7.29 |
| 18. | 「戦後の作家たち」 | 1.20 ~ 4.12 | 48. | 日活創立 100 年記念資料展
- 煌めきのかなたに | 8.4 ~ 12.4 |
| 19. | 幕末明治の諸相 - 岡コレクションより - | 4.16 ~ 6.28 | 49. | 濱谷浩写真展：「こども風土記」「地の貌」
「American America」を中心に | 8.4 ~ 12.4 |
| 20. | リトグラフと画家
- ポスターの印刷技術展 | 4.16 ~ 6.28 | 50. | シリーズ・日本のグラフィック・デザイナー：
中村誠のポスター展 | 12.4 ~ 2013.3.31 |
| 21. | 「熊切圭介写真展 60 年代の光と影」 | 7.2 ~ 10.4 | 51. | いととかたちの実験：ヨーゼフ・アルバース
『フォーミュレーション：アーティキュレーション』展 | 12.4 ~ 2013.3.31 |
| 22. | 「女性を撮る」 | 7.2 ~ 10.4 | 52. | 素描とスケッチの愉しみ | 12.4 ~ 2013.3.31 |
| 23. | 「変革の渦 - Graphic Design in 60's - 70's」 | 7.2 ~ 10.4 | 53. | シリーズ・川崎の美術 響きあうアート | 4.6 ~ 6.30 |
| 24. | 「メディアとアート歪んだ瞬間 - 未来派、構成主義、
バウハウス、現代作品から探る -」 | 10.10 ~ 2010.1.17 | 54. | カワサキ・ドキュメント | 4.6 ~ 6.30 |
| 25. | 「カメラ毎日」の時代平成 21 年度 寄贈資料を中心に | 2009.12.1 ~ 2010.4.11 | 55. | 夜が明ける頃 | 7.6 ~ 9.29 |
| 26. | 「岡本かの子 その母性と母性像」 | 1.21 ~ 4.11 | 56. | 1980 年代の大衆文化 | 10.5 ~ 12.28 |
| 27. | 「シリーズ・日本のグラフィックデザイナー
グラフィック' 55 の作家たち」 | 1.21 ~ 4.11 | 57. | タベルことにまつわること | 2014.1.11 ~ 3.30 |
| 28. | 木村伊兵衛写真賞 35 周年記念展
第 1 期 | 4.17 ~ 6.27 | 58. | 顔 | 6.3 ~ 8.3 |
| | 第 2 期 | 7.3 ~ 10.3 | 59. | ナツ・アニメ・マンガ in KAWASAKI
トムス・エンタテインメント アニメと歩んだ 50 年展 | 8.9 ~ 10.5 |
| | 第 3 期 | 10.9 ~ 2011.1.16 | 60. | ナツ・アニメ・マンガ in KAWASAKI
水野英子展 わたしのマンガの描き方 | 8.9 ~ 10.5 |
| | 第 4 期 | 1.22 ~ 4.10 | 61. | ナツ・アニメ・マンガ in KAWASAKI
下川凹天と日本近代漫画の系譜 | 8.9 ~ 10.5 |
| 29. | 「マガジカバーの世界展 ~ ロートレック、ミュシャ、
ビアズリー ~」展 | 4.17 ~ 6.27 | 62. | 日本のグラフィックデザイナー
勝井三雄：色光のゆらぎ | 10.11 ~ 12.7 |
| 30. | 詩人 佐藤惣之助 | 7.3 ~ 10.3 | 63. | のぞき ⇄ のぞかれ | 10.11 ~ 12.7 |
| 31. | 「漫画収蔵品」展 - 漫画をコレクションし、
展示するとは? - | 7.3 ~ 10.3 | 64. | 本の美術 | 10.11 ~ 12.7 |
| 32. | 「メディアとアート 明晰な幻」展 | 10.9 ~ 2011.1.16 | | | |
| 33. | 映画美術監督 久保一雄の仕事 | 1.22 ~ 4.10 | | | |
| 34. | 「シリーズ・日本のグラフィックデザイナー
宇野亜喜良のポスター」展 | 1.22 ~ 4.10 | | | |
| 35. | 岩合光昭どうぶつ写真展
関連企画「いきもの写真展」 | 4.16 ~ 6.26 | | | |

特別資料室展示一覧（開館～平成 18 年度）

1. 川崎のむかし展 1992.7.1～1993.8.31
2. 石に刻まれた中世－収蔵板碑を中心に－
1993.9.7～1994.8.31
3. 川崎の民具展 9.27～1995.8.31
4. 掘り出された川崎 9.3～1996.9.1
5. かわさき歴史探検 1－中原区の巻－9.3～1997.8.31
6. かわさき歴史探検 2－多摩区・麻生区の巻－
9.9～1998.2.28
7. かわさき歴史探検 3－川崎区・幸区の巻－
3.17～8.30
8. かわさき歴史探検 4－高津区・宮前区の巻－
9.15～1999.2.28
9. 新収蔵資料展 3.16～8.29
10. 丘陵－人々とくらし－ 9.14～2000.2.27
11. むかしの川崎 3.14～9.10
12. 出土品が語る川崎の歴史 9.23～2001.2.25
13. かわさきの近代 3.13～9.9
14. ヒトとモノの動き展 9.29～2002.2.24
15. 収蔵資料展－岡コレクション－ 3.9～5.12
16. 特別公開 川崎市重要歴史記念物指定
古筆手鑑と指定文化財 4.6～5.12
17. むかしの暮らし モノのうつりかわり 5.28～9.1
18. 中原街道と中原区の文化財 9.14～12.15
19. ベリー来航 150 年黒船がやって来た！！
2003.1.5～4.6
20. 大むかしの川崎 4.27～8.31
21. なりわい－生産と道具－ 9.13～11.30
22. 昔のくらし今のくらしⅡ 12.13～2004.4.11
23. 川崎の歴史Ⅰ「先人の社会と文化」 4.27～6.6
24. 川崎の歴史Ⅱ「都市川崎の形成と発展」6.22～9.20
25. 近世出版文化と在村の知識人 10.2～12.5
26. あかりの情景展 2005.3.26～9.25
27. 資料が語る川崎の歴史 10.8～2006.1.29
28. 新収蔵考古資料展 2.11～7.2
29. くらしをはかる－いろいろな単位－ 7.22～10.22
30. 昔のくらし、今のくらし
－道具に見るくらしのうつり変わり 11.23～2007.2.18

企画上映一覧（映画）

昭和 63 年度

1. 映画における川崎の情景 1988.11.1・2
2. 人間賛歌～ミュージアム・フィルムコレクションから
11.3～11.13
3. ルネ・クレール巴里好日 11.19・20
4. 美空ひばりと歌謡スターたちの系譜 12.3～12.18
5. サイレント映画大全 1989.1.7～2.26
6. 幻想の魔術師
イジイ・トルンカアニメーションフェア 3.25～4.5

平成元年度

7. イジイ・バルタの映像世界 5.13・14
8. 笑いのフィルモロジー：
日本映画に見るコメディイの系譜 6.17～8.6
9. アニメあ・ら・かると公開イベント 10.22
10. 独立プロダクションの系譜 9.15～9.24
11. 企画展「TREND' 89」
併催企画「ロバート・フランク作品上映」
12. ドラマの中の昭和
ミュージアム・フィルムコレクションから
1990.2.3～2.18
13. ディレクターズ・カンパニーの監督たち 3.24～4.5

平成 2 年度

14. 映画における女性のまなざし 4.14～4.29
15. 監督による告白的女優論 7.7～7.29
16. ヤン・ベシエックとポーランド芸術の冒険 9.1
17. 8ミリ映画の黄金時代 9.7～9.19、1991.3.15～3.17
18. ヤン・シュワンクマイエル映画祭 1990.10.2～10.14
19. 日本映画のお婆ちゃん／北林谷栄 1991.1.19～1.27

平成 3 年度

20. 御隠居日記／東野英治郎の歩み 6.22～6.30
21. ATG 映画の 30 年 6.7～6.23
22. プロデューサー三浦朗の軌跡 10.10～10.13
23. オーストリア映画 1991 /
マンスール・マダヴィ特集 11.3～11.24
24. ノン・フィクションの物語論 1992.1.25～2.11

平成 4 年度

25. 近代映画協会の 40 年 4.4～4.26
26. ドイツの新しいアニメーション 5.2～5.31
27. レンフィルム祭 7.4～8.2
28. もう一つの東宝映画／新東宝の世界 11.21～11.29
29. 監督・中村登／大船調の冒険 1993.3.6～3.28

平成 5 年度

30. サタジット・レイ映画祭 6.12～7.4
31. 妖怪映画特集 8.7・8
32. マノエル・デ・オリヴェイラとポルトガル映画の諸相
11.6～11.28
33. 狂った太陽の季節 /
日活ルネサンス 1956 - 1971 1994.3.2～3.30

平成 6 年度

34. 英国アニメーション 4.23・24
35. 田名網敬一／記憶のイメージ 6.4・5
36. ハリウッド・ニンフェット /
メアリー・ピッグフォードとその時代 7.16～7.31
37. 叙情とシュール／ガロ 30 [映画篇] 9.23・24
38. まなざしの力／ケン・ローチ回顧展 11.12～12.4

平成7年度

39. 映画生誕100年記念・映画対談シリーズ5.14～9.10
40. デコールの前衛とリアリズム／
美術監督・久保一雄 7.22～9.9
41. 戦後ポーランド映画の系譜 10.21～11.1
42. 残雪プレミア上映 11.23
43. 神代辰巳1周忌・エレジー／虚無とざわめき 1996.2.24・25

平成8年度

44. 岩波映画出身者の監督たち 7.6～8.4
45. 韓国映画祭～知られざる映画大国～
第一期戦後の黄金期 10.19～11.7
46. 青春映画と70年代 1997.2.8～3.16

平成9年度

47. 中村正義展記念上映
48. 韓国映画祭～知られざる映画大国～
第二期 新しい波 6.1～7.5
49. 韓国映画の現在形 7.6～7.12
50. 怪獣映画祭 7.21～8.10
51. レトロスペクティブ／
ジョルジュ・ド・ポールガール 10.18～11.16
52. メガホンを持った俳優たち 1998.3.7～3.22

平成10年度

53. 10周年コレクション上映 自由という地平1
戦後独立プロの多面性 7.4～7.20
54. 自由という地平2
「日本ニュース」とその時代 8.1～8.16
55. 自由という地平3
撮影監督・宮島義勇と独立プロ運動 8.29～9.13
56. 自由という地平4
まなごしの力／ケン・ローチ・レトロスペクティブ
9.19～10.11
57. かながわ・ゆめ国体公開競技スポーツ芸術
スポーツ映画フェスティバル 10.20～10.29
58. 自由という地平5
撮る者と撮られる者の対話 11.7～11.22
59. 自由という地平6
アラヴィンタン映画展 11.28～12.20
60. キリスト教伝来と日本人 1999.1.15～2.28
61. マノエル・デ・オリヴェイラ映画祭 2.11～2.20
62. チェコ・アニメーションの世界 3.6～3.21

平成11年度

63. 「自由」への旅－1970年代以降のレンフィルム
5.15～6.20
64. 映画における〈沖繩〉 8.7～9.5
65. 1970年代のATG映画 11.6～12.12
66. 具流八郎の世界 2.5～2.27

平成12年度

67. 「今井正」の軌跡－映画の中の日本 6.3～7.16
68. 戦後日本のセル・アニメーション 7.22～8.20
69. 記録映画の作劇術 11.18～12.10
70. 1980年代のATG映画 2.10～3.20

平成13年度

71. 〈映画〉を聴く 真鍋理一郎の映画音楽 7.7～8.12
72. インド芸術映画の巨匠
ゴーヴィンダン・アラヴィンダン映画展 10.13・14
73. アルゴプロジェクトの挑戦 2002.2.2～3.21

平成14年度

74. 脚本家・井手雅人の仕事 6.22～8.11
75. 夢幻礼賛 映画美術監督 木村威夫の世界
11.23～2003.1.19

平成15年度

76. 映画ドラえもん大集合 6.21～7.27
77. 開館15周年記念「映画の中の子供たち」 11.1～11.3
78. 銀幕を彩る女優たち 11.15～12.14
79. アルゴ2ニュー・エンタテインメントのゆくえ
2004.2.7～2.22

平成16年度

80. 独立プロダクションの映画作家たちⅠ・Ⅱ
今井正・山本薩夫 4.17～2005.3.6
81. 「街角に咲いた芸術」展関連上映バリ、世紀末。
5.1・2
82. 嵐を呼ぶ！映画クレヨンしんちゃん祭り 6.26～7.11
83. 独立プロダクションの映画作家たちⅢ・Ⅳ
勅使河原宏・家城巳代治 9.18～11.21
84. 日本のネオ・ホラーフィルム 7.24～8.8
85. 「谷岡ヤスジの世界展」関連上映 幻のアニメ
「やっちまえ!!Doit!」復活上映 9.20
86. 映画を聴く vol.2 録音技師・久保田幸雄
ドキュメンタリーの音、劇映画の音 10.9～10.31
87. 新潟中越地震 山古志災害復興支援上映会
「掘るまいか」 11.27・28
88. 独立プロダクションの映画作家たちⅤ・Ⅵ
新藤兼人・吉村公三郎 12.18～2005.1.16
89. CLAMP映画祭 1.29～3.12
90. 独立プロダクションの映画作家たちⅦ・Ⅷ
大島渚・吉田喜重 2.26～3.6

平成17年度（毎週土日および祝祭日に定期上映）

91. CLAMP映画祭再上映 4.10
92. シリーズ「魅惑の韓国映画」Ⅰ
韓国映画のスターたち カン・スヨン 4.16・17
93. シネマテーク・コレクション
演じることと演出すること 4.23・24

94. 「小川美潮ライブ」関連上映 初期の市川準 4.29 ~ 5.1
 95. シネマテーク・コレクション
 ヌーヴェル・ヴァーグの先導者岡本喜八と増村保造 5.3 ~ 5.5
 96. シネマテーク・コレクション
 ゴーヴィンダン・アラヴィンダン特集 5.7・8
 97. シネマテーク・コレクション
 ドキュメントとフィクションの狭間で 5.14・15
 98. シリーズ「魅惑の韓国映画」II
 韓国映画のスターたち アン・ソンギ 5.21・22
 99. 市川雷蔵の「若親分」 5.28 ~ 6.5
 100. シネマテーク・コレクション
 東宝争議の主役たち1 6.11・12
 101. シリーズ「魅惑の韓国映画」III
 6・25 動乱（朝鮮戦争）を考える 6.18・19
 102. デジモン、犬夜叉、名探偵コナン
 人気アニメーション大集合 6.25 ~ 7.17
 103. 「ロシア民族学博物館アイヌ資料展」関連上映
 アイヌと記録映画作家・姫田忠義 7.18 ~ 8.21
 104. われらサラリーマン -
 東宝のサラリーマン映画 7.18 ~ 9.4
 105. 戦後 60 年特別上映
 「平和記念都市ひろしま」 8.6 ~ 8.14
 106. 今村昌平の世界 9.10 ~ 10.2
 107. 牛山純一と日本映像カルチャーセンター
 10.8 ~ 10.10
 108. シリーズ「魅惑の韓国映画」IV
 韓国映画のスターたち イ・ボヒとハ・ミョンジュン
 10.15・16
 109. 江利チエミの「サザエさん」 10.22 ~ 11.3
 110. レンフィルムの監督たち 11.5 ~ 11.13
 111. シリーズ「魅惑の韓国映画」V
 韓国映画の監督たち ヴェテランたちの活躍 11.19・20
 112. 「大水木しげる」展関連上映
 妖怪たちがやってくる！！ 11.26・27
 113. シネマテーク・コレクション ジュルジュ・ド・
 ボールガール：ヌーヴェル・ヴァーグのプロデューサー
 12.3 ~ 12.11
 114. シリーズ「魅惑の韓国映画」VI
 韓国映画の監督たち キム・ウンチョン 12.17・18
 115. シネマテーク・コレクション
 今井正の魅力 12.23 ~ 12.25
 116. シネマテーク・コレクション
 東宝争議の主役たち2 山本薩夫 2006.1.7 ~ 1.9
 117. シリーズ「魅惑の韓国映画」VII
 自由と独立を求めて 1.14・15
 118. 「伴淳三郎」物語 1.21 ~ 1.29
 119. 関川秀雄の世界 2.4 ~ 2.12
 120. シリーズ「魅惑の韓国映画」VIII 韓国映画の監督たち
 イム・グォンテクとペ・チャンホ 2.18・19
 121. シネマテーク・コレクション
 独立プロダクションの映画作家たち
 舞台演出家、脚本家の視線 2.25・26
 122. シネマテーク・コレクション
 につぼん風土記 3.4 ~ 3.12
 123. シリーズ「魅惑の韓国映画」IX
 韓国映画の監督たち 21 世紀への胎動 3.18・19
 124. シネマテーク・コレクション 東宝争議の主役たち3
 撮影監督・宮島義勇 3.21 ~ 3.26
- 平成 18 年度**
125. 藤純子 - 任侠の華
 126. シリーズ「魅惑の韓国映画」X 王朝時代の女性たち
 127. 高林陽一の京都
 128. 赤木圭一郎利那の輝き、永遠(とわ)の伝説。
 129. 土本典昭の水俣
 130. シリーズ「魅惑の韓国映画」XI 結婚の行方
 131. 寺山修司非日常のすすめ
 132. 「弥生・古墳・飛鳥を考える」展関連上映
 133. 熊井啓黒い霧の正体に迫る
 134. シリーズ「魅惑の韓国映画」XII 現代家族考
 135. 仮面ライダーとスーパー戦隊シリーズ
 136. 円谷英二と空想科学映画の世界
 137. シネマテーク・コレクション
 戦争がもたらしたものは何か
 138. シネマテーク・コレクション
 小川紳介、三里塚から牧野村へ。
 139. 昼下りのメロドラマ
 140. シネマテーク・コレクション
 松本俊夫：「映像」の変革
 141. シンポジウム「50 - 60 年代の芸術状況と松本俊夫」
 松本俊夫 + 湯浅譲二（音楽家）
 142. 対談「松本俊夫の実験映画を巡って」
 松本俊夫 + 西村智弘（美術評論家・映像作家）
 143. 対談「アヴァンギャルディスムの未来」
 松本俊夫 + 西嶋憲生（映像研究者）
 144. 現代ドキュメンタリー映画の潮流
 145. シリーズ「魅惑の韓国映画」XIII
 現代社会考男の場合、女の場合
 146. 「横山光輝の世界」展関連上映
 147. インディペンデント映画の挑戦
 148. かわさきデジタルショートフィルムフェスティバル
 149. シリーズ「魅惑の韓国映画」XIV
 1970 年代セレクション
 150. シネマテーク・コレクション
 独立プロダクションの映画作家たち
 151. シネマテーク・コレクション
 柳町光男と橋浦方人
 152. オムニバス映画の魅力
 153. フランキー堺の『与太郎戦記』
 154. 東南アジアの風 福岡市総合図書館
 フィルム・アーカイヴ・コレクションから
 155. シリーズ「魅惑の韓国映画」XVI
 1990 年代セレクション
 156. 加東大介の『大番』

157. シネマテーク・コレクション 山本薩夫の仕事

平成 19 年度

158. シネマテーク・コレクション 勅使河原宏の仕事
159. シネマテーク・コレクション
レンフィルム・コレクション
160. 大森一樹と“アイドル”映画
161. ハナ肇と山田洋次
162. 「昭和ブギウギ1945 - 64」展関連上映スターの時代
163. シネマテーク・コレクション
小川紳介、三里塚への道。
164. 梶芽衣子の「さそり」
165. 人情派バンザイ！ 映画監督・久松静児
166. 没後 10 年・勝新太郎と「兵隊やくざ」の世界
167. 「OFF STRIPES 縞模様の繊細なる瞬き」展
関連上映 しましまえいが
168. シネマテーク・コレクション
記録映画作家・姫田忠義
169. 小林旭の銀座旋風児
170. 「安彦良和原画展」関連上映
伝説の勇者たち綺羅星のごとく
171. シネマテーク・コレクション
インディペンデントというスタイル
172. 大映京都の怪談
173. 川崎ゆかりの映画人たち・坂本九の巻
174. 「星と宇宙のファンタジー」展関連上映
175. キャメラマンは国境を越える永田鉄男と栗田豊通
176. 国際合作の可能性
177. 今東光のと“河内”の世界
178. シネマテーク・コレクション
独立プロダクションの映画作家たち
179. シネマテーク・コレクション
これが女の生きる道！ - ATG の軌跡 -
180. 「産業都市・カワサキのあゆみ 100 年
- 進化しつづけるモノづくりの街 -」展関連上映
181. シネマテーク・コレクション 今井正と家城巳代治
182. 映像の現在形 2007 「映像の創出イメージと装置」展
関連上映 飯村隆彦の世界
183. 田宮次郎のアクション映画
184. “一番星”と“やもめのジョナサン”
『トラック野郎』の世界
185. シネマテーク・コレクション 記録映画選集
186. “必殺”の世界
187. 五味川純平と「人間の條件」
188. 高橋英樹剣客と侠客
189. シネマテーク・コレクション ジョルジュ・ド・ボー
ルガール：ヌーヴェル・ヴァーグとプロデューサー
190. 映画監督谷口千吉
191. 亀井文夫の戦後
192. 「少女マンガパワー！」展関連上映
193. 春休みはポケモン！

平成 20 年度

194. シネマテーク・コレクション
小説の快樂、映画の愉楽
195. 艶姿七変化特集・長谷川一夫
196. 「オキナワ／カワサキ」展関連上映
太陽の国オキナワ
197. シネマテーク・コレクション
アンチ・ヒロイズムー敗者の美学ー
198. 特集石原裕次郎
199. 幼子の祈りーかつて子供だったおとなたちのために
200. 一投一打のドラマ野球映画特集
201. 「くらしと着物」展関連上映
所作ごと麗し、きもの粋
202. メタモルフォーゼ変身する人間
203. ふるさとのくらし記録映画
204. 記憶と祈り映画のなかの“公害”
205. 「ジャパン ブラジルクリエイティブアートセッション」
関連上映 ブラジル映画特集
206. Lupin the Movie カワサキより愛をこめて
207. ロシア映画特集 アラノヴィッチとソクーロフ
208. 「ともに生きる」展関連上映
209. 特集・新藤兼人
210. 脚本家荒井晴彦
211. 風刺と諧謔コメディの地平
212. 「てなもんや」シリーズと「沓掛時次郎」
213. 粟津潔展関連上映「知りすぎていた男粟津潔」
214. 戦後の作家展関連上映映画監督・大島渚
215. SLC ファクトリーアニメーション・ワークショップ
216. 無垢なる詩人 G. アラヴィンダン
217. 生誕百年記念松本清張第一弾
218. 「昔のくらし今のくらし」展関連上映

平成 21 年度

219. 特集上映今井正
220. 「幕末・明治期の川崎とニッポン」展関連上映
221. 生誕 100 年記念松本清張第 2 弾
222. 特集上映オタル・イオセリアーニ
223. 生誕 100 年記念松本清張特集第 3 弾
224. 郷土を知る - 川崎の伝統と行事 -
225. 元祖・クールビューティ！江波杏子の「女賭博師」
226. 「サンデー・マガジンの DNA」展関連上映
タイムスリップ僕らの時代
227. 山本薩夫監督特集演出のダイナミズム
228. シネマテーク・コレクション 家族へのまなざし
229. わが街・昭和の風景
230. シネマテーク・コレクション
映画監督・神山征二郎
231. ドキュメンタリー選集
232. 川崎ゆかりの映画人たち
実相寺昭雄の巻大回顧展プレ・イベント
233. シネマテーク・コレクション
アルゴプロジェクト 20 年目の傑作選

- 234. 特別上映長篇記録映画『セレベス』
- 235. 映画監督・岡本喜八、戦争を"啜う"
- 236. 第64回毎日映画コンクール表彰式川崎開催記念
ドキュメンタリー映画賞特集
- 237. シネマテーク・コレクション
レンフィルムへの誘い
- 238. インディペンデントというカタチ
- 239. 映画監督・家城巳代治の流儀
- 240. スピンオフ映画のプロトタイプ
熊虎親分とピラニア軍団

平成 22 年度

- 241. シネマテーク・コレクション
アラヴィンダン悲哀とユーモアのなかで
- 242. シネマテーク・コレクション
勅使河原宏リアルへの向こう側
- 243. 吉村公三郎 名匠が捉えた男の魅力
- 244. 超・サラリーマン東映編
- 245. シネマテーク・コレクション 54年目の水俣病事件
- 246. 映画監督・熊井啓の視座
- 247. シネマテーク・コレクション
三島由紀夫と立松和平
- 248. シネマテーク・コレクション 記録を超えて
- 249. 泉鏡花悲恋の系図
- 250. 川崎ゆかりの映画人たち 女優・川崎弘子
- 251. シネマテーク・コレクション
自主制作のシルエット
- 252. シネマテーク・ドキュメンタリー・セレクション
4つの視線
- 253. シネマテーク・コレクション
思想の自由を求めて 今井正と中尾駿一郎
- 254. ザッツ・ジャパニーズ・ホラー
山本迪夫監督作品から
- 255. シネマテーク・コレクション
思想の自由を求めて新藤兼人と黒田清己
- 256. アンコール上映長篇記録映画「セレベス」
- 257. シネマテーク・コレクション 1980年代の息吹
- 258. 「詩人佐藤惣之助」展関連上映
昭和歌謡のヒット・メーカー佐藤惣之助
- 259. 蘇る登戸研究所
- 260. シネマテーク・コレクション
記録映画作家・姫田忠義「日本文化のふるさと」
- 261. シネマテーク・コレクション 山内久の「若者たち」
- 262. 生誕100年映画監督・山本薩夫
- 263. 1980年代のレンフィルム
- 264. 「アイヌー美を求める心」展関連上映
記録映画作家・姫田忠義「アイヌの暮らし」
- 265. シネマテーク・コレクション 映画音楽〈武満徹〉
- 266. 有吉佐和子百花繚乱
- 267. クロード・シャブロール追悼
プロデューサー ジョルジュ・ド・ボールガール
- 268. 追悼上映 人形アニメーション作家 川本喜八郎

- 269. シネマテーク・コレクション ATG 特集
第1弾－ニッポンの最も熱い日々－
- 270. 特集上映 脚本家馬場当
- 271. 新春特集向田邦子と久世光彦
- 272. シネマテーク・コレクション ATG 特集
第2弾「変貌の時代」
- 273. 「映画美術監督久保一雄の仕事」展関連上映
- 274. 毎日映画コンクール表彰式川崎開催記念
過去受賞作品アンコール上映
「歴代受賞作品特集 (1970年代)」
- 275. シネマテーク・コレクション 映画監督中川信男
- 276. シネマテーク・コレクション
パペット・アニメーション!
- 277. 日本映画大学設立記念 日本映画学校卒業生作品
選

平成 23 年度

- 278. シネマテーク・コレクション青春の物語
- 279. インドの映像詩人G・アラヴィンダン
- 280. 司馬遼太郎 vs 吉川英治
- 281. アニメーション 特集東映動画
- 282. シネマテーク・コレクション 石井隆特集
- 283. シネマテーク・コレクション
ドキュメンタリー傑作選 vol.1
- 284. 映像の魔術師フェデリコ・フェリーニ
- 285. シネマテーク・コレクション
レン・フィルムの輝き
- 286. シネマテーク・コレクション
カメラの前と後ろで
- 287. 太郎の愛した映画たち
- 288. 特集上映 奇才・実相寺昭雄
- 289. 日活創立100年記念イベント
特集・日活サスペンス&「事件記者」
- 290. 川崎の祭り日本の伝統文化
- 291. シネマテーク・コレクション ATGの挑戦
- 292. 親子上映会 第1部 シネマテーク・コレクション
- 293. 親子上映会
第2部 CON - CAN MOVIE FESTIVAL 提供
ショートムービー傑作選
- 294. 育児とクリエイティブ
- 295. 坂本九生誕70年記念 映画の中の九ちゃん
- 296. 川崎の物語
- 297. 川崎ゆかりの映画人 今村昌平
- 298. 新春特集 お正月映画
- 299. 「昔の暮らし 今の暮らし」展関連上映
日本のおばあちゃん
- 300. ロシア映画特集
カネフスキー3部作+レンフィルム
- 301. 毎日映画コンクール表彰式川崎開催記念
過去受賞作品アンコール上映「歴代受賞作品特集」
- 302. 「キカイ デミルコト
－日本のビデオアートの先駆者たち－」

- 303. シネマテーク・プロジェクト
第4弾 フレデリック・ワイズマン選集
- 304. 活動弁士の語りによる無声映画鑑賞会

平成 24 年度

- 305. 生誕 100 年・新藤兼人
- 306. いのちということ
- 307. シネマテーク・コレクション
G. アラヴィンダン特集
- 308. 「郷土・川崎を掘る」展関連イベント 16 ミリ上映会
- 309. アニメーション特集
川崎市市民ミュージアム×CALF
- 310. 美術館名品展 関連上映
- 311. プロモーション特別上映
「父をめぐる旅-異才の日本画家 中村正義の生涯」
- 312. 日活 100 周年記念上映 日活アクションの世界
- 313. 脚本家・田村孟
- 314. 『ベイビーズ』上映会
- 315. サッカー映画上映会
- 316. 坂本九顕彰事業 九ちゃんの夢
- 317. 毎日映画コンクール表彰式開催記念
過去受賞作品アンコール上映「歴代受賞作品特集」
- 318. 「与勇輝展-物語のなかに-」関連上映
- 319. 「昔のくらし今のくらし 2013」関連上映
- 320. ポルトガル映画界の新鋭

平成 25 年度

- 321. シネマテーク・コレクション 戦後の風景
- 322. 生誕 100 年・森繁久彌
- 323. 追悼特集 大島渚のドキュメンタリー
- 324. シネマテーク・コレクション
境界を越える ATG 映画
- 325. 親子上映会-「かぞく」そして「いのち」を想う-
- 326. 夏休みアニメ祭り edge of the animation
実写とアニメの境界を
- 327. 夏休みアニメ祭り
- 328. 「-アニメ化 40 周年- ルパン三世展」関連上映
- 329. シネマテーク・コレクション
アルゴの仕事~ 90 年代、独立プロの行方~
- 330. 洋画特集-憧れの欧州-
- 331. 「1980 年代の大衆文化」関連上映 back to 1988
- 332. 開館 25 周年記念フェスティバル
「~食とアートと音楽と」関連上映
- 333. 「カワサキ・シティ 日本を牽引する街」関連上映
- 334. 脚色術-原作と脚本の関係
- 335. 追悼 小説家・山崎豊子
- 336. 蘇ったフィルムたち~
東京国立近代美術館フィルムセンター復元作品特集
- 337. 毎日映画コンクール表彰式川崎開催記念
過去受賞作品アンコール上映「歴代受賞作品特集」
- 338. 「タベルことにまつわること」、「昔のくらし
今のくらし 2014」関連上映 タベルこと、イキルこと

平成 26 年度

- 339. シネマテーク・コレクション
インドの映像詩人 G. アラヴィンダン特集
- 340. 「横尾忠則 肖像図鑑 HUMAN ICONS」関連上映
横尾忠則 映画曼荼羅
- 341. トムス・エンタテインメント
アニメと歩んだ 50 年
- 342. 日本のドキュメンタリーの系譜 vol.1
- 343. シネマテーク・コレクション
日本のドキュメンタリーの系譜 vol.2
- 344. 特集上映 脚本家 笠原和夫
- 345. 映画上映+現代アート 藤村豪&内野清香
ふたりの喧嘩は三人目の愉しみ
- 346. シネマテークコレクション
レンフィルム-ペレストロイカ以前/以後-
- 347. 親子上映会 童話アニメーション

平成 27 年度 市民ミュージアム 利用者統計表

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
常設展		8,040	9,716	7,229	7,797	7,634	9,631	9,414	10,124	8,943	12,104	5,910	7,794	104,335
企画展	有料	141	217	499	950	2,378	2,559	962	883	2,657	5,575	0	0	16,821
	無料	359	496	651	334	771	1,139	870	6,374	3,016	6,105	4,076	4,952	29,143
映像ホール	有料	296	321	0	713	446	525	132	587	342	152	0	0	3,514
	無料	79	371	274	713	508	93	513	419	636	28	0	0	3,634
ミニホール		71	92	94	181	111	94	93	35	87	87	130	72	1,147
館内イベント・講座等		345	242	284	491	329	505	387	835	534	1,202	339	206	5,699
ミュージアムライブラリー（映像）		194	270	258	343	375	324	306	228	196	259	296	319	3,368
ミュージアムライブラリー（図書）		494	520	446	724	848	617	521	446	385	550	541	563	6,655
研修室等利用者		15	98	100	141	36	24	16	9	57	40	55	85	676
ミュージアムギャラリー1		0	0	0	0	0	898	0	0	0	0	0	81	979
ミュージアムギャラリー2		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
館外展示入館・出張プログラム等		822	0	0	91	126	58	67	9	0	0	31	0	1,204
合計		10,856	12,343	9,835	12,478	13,562	16,467	13,281	19,949	16,853	26,102	11,378	14,072	177,176
利用者累計			23,199	33,034	45,512	59,074	75,541	88,822	108,771	125,624	151,726	163,104	177,176	
開館日数		25	27	25	27	26	27	27	24	23	24	23	27	305
1日平均利用者数		434	457	393	462	522	610	492	831	733	1,088	495	521	581

展示室別内訳

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
企画展示室1	有料	94	148	375	950	2,378	2,559	962	883	2,657	5,575	0	0	16,581
	一般	50	93	191	762	1,798	1,849	536	543	2,473	5,129	0	0	13,424
	シニア	34	39	170	68	267	243	384	268	34	47	0	0	1,554
	高校・大学生	5	10	9	88	222	263	29	35	130	292	0	0	1,083
	小人	0	1	2	0	0	0	0	0	0	62	0	0	65
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般（団体）	5	5	3	29	90	122	11	13	19	42	0	0	339
	シニア（団体）	0	0	0	1	1	1	1	22	0	0	0	0	26
	高・大生（団体）	0	0	0	2	0	81	1	1	1	3	0	0	89
	その他（団体）	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	無料	200	235	403	334	771	1,139	870	1,208	793	1,285	0	2,181	9,419
	招待券	79	129	334	94	321	443	186	329	183	554	0	0	2,652
	障がい者等	43	34	33	51	123	106	57	60	123	210	0	0	840
	友の会	4	6	3	9	3	5	12	3	11	5	0	0	61
	小・幼児	41	41	26	149	290	531	561	764	440	482	0	0	3,325
	取材	2	3	0	0	3	0	2	0	5	1	0	0	16
その他	31	22	7	31	31	54	52	52	31	33	0	2,181	2,525	
企画展示室2	有料	47	69	124	0	0	0	0	0	0	0	0	0	240
	一般	32	47	66	0	0	0	0	0	0	0	0	0	145
	シニア	13	12	46	0	0	0	0	0	0	0	0	0	71
	高校・大学生	2	5	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	15
	小人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	一般（団体）	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
	シニア（団体）	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	高・大生（団体）	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	その他（団体）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	無料	159	261	248	0	0	0	0	5,166	0	2,242	4,076	2,771	14,923
	招待券	46	89	113	0	0	0	0	0	0	0	0	0	248
	障がい者等	37	21	33	0	0	0	0	0	0	0	0	0	91
	友の会	2	6	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10
	小・幼児	44	38	25	0	0	0	0	2,124	0	892	1,983	909	6,015
	取材	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
その他	27	107	75	0	0	0	0	3,042	0	1,350	2,093	1,862	8,556	
アートギャラリー（フロンタール展）										2,223	2,578	0		4,801
映像ホール	有料	296	321	0	713	446	525	132	587	342	152	0	0	3,514
	一般	133	167	0	293	191	309	57	295	230	113	0	0	1,788
	優待割引	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
	学生	11	13	0	9	7	17	0	15	30	13	0	0	115
	シニア	64	65	0	315	166	170	45	128	27	8	0	0	988
	小中学生	2	0	0	3	8	0	0	3	3	3	0	0	22
	友の会	5	3	0	15	6	8	3	11	4	2	0	0	57
	スカラチケット	80	71	0	77	68	21	27	135	48	13	0	0	540
	無料	79	371	274	713	508	93	513	419	636	28	0	0	3,634
	招待券	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	3
	障がい者等	79	58	0	88	69	66	36	198	84	27	0	0	705
	幼児	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	5
モニター	0	313	274	625	434	27	474	221	552	1	0	0	2,921	

平成 27 年度歳出予算

単位：千円

事業名等		予算	備考
市民ミュージアム予算合計		479,739	
市民ミュージアム運営管理事業費		409,992	
市民ミュージアム非常勤職員経費		22,631	
01	報酬	17,141	非常勤職員報酬
04	共済費	5,450	非常勤職員共済費
09	旅費	40	
市民ミュージアム運営管理事業費		347,628	
04	共済費	482	
07	賃金	3,888	臨時職員賃金
08	報償費	378	収集委員・評価委員等謝礼
11	需用費	44,292	光熱水費・消耗品・印刷製本費等
		(40,686)	電気料・水道料
12	役務費	1,110	電話料・郵便料等
13	委託料	292,546	総合管理委託・学芸業務委託等
		(161,212)	学芸業務委託
		(117,207)	総合管理委託
14	使用料及び賃借料	527	事務機器・賃借料等
16	原材料費	39	塗料等
18	備品購入費	4,131	資料作品購入・研究用図書購入等
		(4,000)	資料作品購入
19	負担金補助及び交付金	235	博物館協会会費等
市民ミュージアム企画広報事業費		25,292	
08	報償費	680	
11	需用費	491	
12	役務費	5,951	
13	委託料	18,000	広報物作成等
14	使用料及び賃借料	170	
市民ミュージアム教育普及事業費		14,441	
08	報償費	1,710	
11	需用費	833	
12	役務費	99	
13	委託料	11,786	
		(10,540)	社会科教育推進事業費
14	使用料及び賃借料	13	
市民ミュージアム運営協議会経費		242	
市民ミュージアム運営協議会経費		242	
01	報酬	242	委員報酬
市民ミュージアム施設整備事業費		69,505	
市民ミュージアム施設整備事業費		64,505	
13	委託料	7,697	
15	工事請負費	56,808	映像ホール等デジタル対応設備工事
市民ミュージアム維持補修事業費		5,000	
15	工事請負費	5,000	緊急対応補修工事

() は内数

川崎市市民ミュージアム協議会

1. 設置主旨

川崎市市民ミュージアムの円滑な運営を図るため、専門家や学校教育・社会教育機関の代表、公募による一般市民が委員になり、館長の諮問に応じ、運営に関する意見を述べる。

※根拠条例 川崎市市民ミュージアム条例第21条

2. 委員構成

学校教育関係 2名

社会教育関係 1名

市民 2名

学識経験者 4名

3. 開催経過

○第1回川崎市市民ミュージアム協議会

日 時 平成27年8月21日

場 所 川崎市市民ミュージアム会議室

議 事 平成26年度評価結果及び事業評価について
平成27年度事業計画について
評価対象事業について

○第2回川崎市市民ミュージアム協議会

日 時 平成27年10月27日

場 所 川崎市市民ミュージアム会議室

議 事 平成27年度実施済事業について
評価対象事業について

○第3回川崎市市民ミュージアム協議会

日 時 平成28年3月9日

場 所 川崎市市民ミュージアム会議室

議 事 第2回以降の実施済み事業について
市民ミュージアム評価について
平成28年度実施予定事業について

川崎市市民ミュージアム資料等収集委員会

1. 設置趣旨

川崎市市民ミュージアムにおいて資料及び作品の適正かつ公正な収集を図るため、学識経験者をもって審議する。

2. 委員構成

平成25年9月より、開催の都度、審議が必要な収集予定資料に応じた専門的知識を有する人材を複数人委員として委嘱することで、複数の専門家の意見を踏まえた収集資料の審議を行う。

3. 開催経過

平成27年度の会議の開催はなし。

川崎市市民ミュージアム資料等評価委員

1. 設置趣旨

川崎市市民ミュージアムが収集し、及び寄贈又は寄託を受けようとする資料及び作品の適正かつ公正な収集を図るため、収集を予定している資料等の真贋の鑑定及び購入価格の評価等を行う。

2. 開催

平成 27 年度の会議の開催はなし。

かわさき市美術展運営委員会

1. 設置趣旨

かわさき市美術展の開催にあたり、専門的な知識や視点に基づき、市民ミュージアムの文化芸術の向上及び円滑な事業の運営を目的に設置する。

2. 委員構成

美術作家または美術評論家	(2名)
学識経験者	(3名)
川崎市文化団体関係者	(1名) 他

3. 開催

○第 49 回かわさき市美術展第 1 回運営委員会

日 時：5月20日

会 場：川崎市市民ミュージアム会議室

議 題：第 49 回かわさき市美術展募集内容
について
審査委員について

○第 49 回かわさき市美術展第 2 回運営委員会

日 時：平成28年3月20日

会 場：川崎市市民ミュージアム会議室

議 題：第 49 回かわさき市美術展審査結果報告に
ついて
表彰式について
第 50 回かわさき市美術展にむけて

施設概要

敷地面積	25,358㎡
建築面積	8,386㎡
延床面積	19,542㎡
常設展示室	2,551㎡
博物館展示室	1,491㎡
アートギャラリー	1,060㎡
企画展示室	1,334㎡
企画展示室 1	597㎡
企画展示室 2	590㎡
ミュージアムギャラリー1・2	147㎡ (82㎡ + 65㎡)
逍遥展示空間	747㎡
映像ホール	342㎡ 266席
ミニホール	57㎡ 40名
(椅子席・ビデオのみ)	
研修室 1	70㎡ 24名
(机・椅子固定)	
研修室 2	60㎡ 30名
研修室 3	56㎡ 36名
収蔵庫	2,433㎡ (9室、前室を含む)
その他	12,083㎡
ミュージアムショップ	40㎡
ラウンジ	62席
身障者設備	
トイレ	5ヶ所
車いす	4台
乳幼児設備	
ベビーベッド	2台
授乳室	1室
ベビーカー	3台

設計

建築設計者 (株)計画連合 (担当 菊竹 清訓)
 展示設計者 (株)トータルメディア開発研究所

当時の総工費

建築工事費 88億円
 展示工事 23億円
 資料収集 21億円
 運営費 10億円
 合計で約 150億円

収蔵品

平成 27 年度分
 購入作品・資料 2件 (102点)

寄 贈 13件
 寄 託 1件 (新規のみ 583点)

総点数 約 213,070点 (平成 28年 3月 31日)

考 古 約 72,000点
 歴 史 約 29,200点
 民 俗 約 12,800点
 美術文芸 約 10,070点
 グラフィック 約 8,600点
 写 真 約 20,200点
 漫 画 約 36,000点
 映 画 約 12,200点
 ビデオ 約 12,000点

指定文化財

神奈川県指定 1件

鰐口 1口

川崎市指定 21件

紙本墨画淡彩仙女図 2幅

青銅製鰐口 1口

古筆手鑑「披香殿」 1帖

後北条氏の虎の印判状 (永禄元年) 1通

後北条氏の虎の印判状 (天正 7年) 1通

後北条氏の虎の印判状 (天正 15年) 1通

関東下知状 附 極札 1枚 1通

板碑 1基

有馬古墓群後谷戸グループ古墓出土火葬骨蔵器

附 坏 19箇 3組 3箇

有馬古墓群台坂上グループ古墓出土火葬骨蔵器

附 簪状骨製品 1本 3組 7箇

生田古墓群生田 8601 番地古墓出土火葬骨蔵器

附 鹿角製刀子柄 1本 2組 4箇

生田古墓群鴛鴦沼古墓出土火葬骨蔵器

附 鉄板状製品 1枚 1組 2箇

菅生古墓群長沢 1822 番地古墓出土火葬骨蔵器 2組 4箇

野川古墓群野川南耕地 A 地点古墓出土火葬骨蔵器

附 鉄板状製品 1枚 鉄釘 13本 1組 2箇

稗原古墓群 A 地点古墓出土火葬骨蔵器

附 和銅開寶 1枚 1組 2箇

无射志国荏原評銘文字瓦 1点

万福寺遺跡群縄文時代草創期出土品 一括

宿河原縄文時代低地遺跡出土品 一括

下原遺跡縄文時代後・晩期出土品 一括

梶ヶ谷神明社上遺跡出土品 一括

獅子頭 3頭

大師河原の漁撈具 一括

職 員

(平成 27 年 4 月から平成 28 年 3 月まで)

川崎市市民・子ども局

川崎市市民ミュージアム

館 長	澤村 正彦
副館長	大野 秀人
担当課長	豊村 和弘
担当課長	馬場 良幸
課長補佐	河野 正伸
課長補佐	小松 史尚
担当係長	朝倉 千亜希
担当係長	御簾納 誠
職 員	岩村 史紀
職 員	穴戸 望
	武田 智子 (嘱託)
	澤口 恭子 (嘱託)
	後藤 愛美 (嘱託)
	藤垣 円 (嘱託)
	門 あすか (嘱託)
	鈴木 恵梨子 (嘱託)
	菅井 薫 (嘱託)
	真砂 恵美 (嘱託)

公益財団法人川崎市生涯学習財団

学芸室長	望月 一樹
学芸総務課長	中田 秀逸
課長補佐	深川 雅文
課長補佐	高橋 典子
主 査	濱崎 好治
主 任	林 司
主 任	平井 直子
	新井 悟
主 任	森宗 厚子 (嘱託)
	北野 剛 (嘱託・5 月から)
	佐藤 美子 (嘱託)
	村山 翠 (嘱託・7 月から)
	佐藤 友理 (嘱託)
	山田 涉 (嘱託)
	磯山 浩美 (嘱託)
	吉川 貴子 (嘱託)
	吉村 麗 (嘱託)
	市村 千晶 (嘱託)

平成 27 年度
川崎市市民ミュージアム年報
2015 年 4 月～2016 年 3 月

平成 28 年 5 月発行
編集・発行／川崎市市民ミュージアム
川崎市中原区等々力 1-2
電話 044-754-4500
印刷／株式会社ホクシン



KAWASAKI
CITY
MUSEUM